令和７年度安曇野市
市民意識調査報告書

令和８年７月

安曇野市

目次

第1章　調査の概要 1

１．調査の目的 1

２．調査の概要 1

第2章　調査結果 2

１．あなたやご家族のことについて 2

２．安曇野市での暮らしについて 11

３．安曇野市の行政に関すること 25

（１）全般的な施策について 25

（２）　自然環境について 50

（３）　医療・福祉・人権について 51

（４）　子育て支援について 56

（５）　スポーツについて 58

（６）　文化・芸術について 60

（７）　防災・防犯について 62

（８）　都市基盤について 69

（９）　農林水産業について 70

（10）　経済活動について 73

（11）　地域ブランドについて 75

（12）　デジタル社会・行政サービスについて 76

（13）　安曇野市の未来について 80

参考資料 118

第1章　調査の概要

１．調査の目的

本調査は、第 3 次安曇野市総合計画の策定に向けて、現状での市政に対する評価および住民ニーズの把握のために実施した。

２．調査の概要

（１）　調査対象

・　市内 18 歳以上の住民 2,000 人を対象に無作為抽出

（２）　調査期間

・　令和 8 年 1 月 30 日(金)～2 月 27 日(金)

（３）　調査方法

・　配布方法:郵送による配布
・　回収方法:郵送または WEB による回答

（４）　回収状況

・　回答者数　　756 人(うち WEB による回答者 176 人)
・　回収率　　37.8%

（５）　その他

①　過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査および調査概要は以下の通り。

令和 4 年度「第 2 次安曇野市総合計画後期基本計画市民意識調査」【過去調査(R4)】

調査対象	： 安曇野市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)
調査期間	： 令和 4 年 4 月 4 日(月)～5 月 6 日(金)
調査方法	： 郵送配布･郵送回収または WEB による回答
回収状況	： 回答者数　659 人
	回 収 率　33.0%

②　その他の注意事項

・　四捨五入の関係から、構成比の合計が 100%にならない箇所がある。

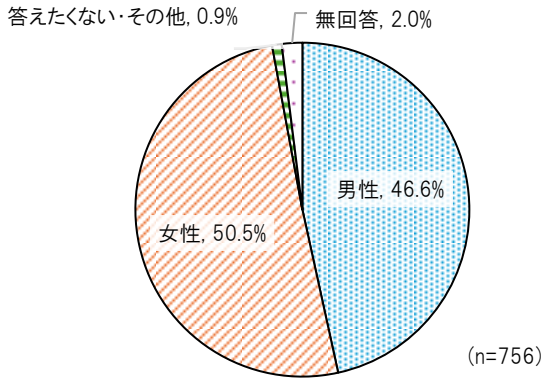
第2章　調査結果

１．あなたやご家族のことについて

問　1.　あなたご自身についてお答えください。

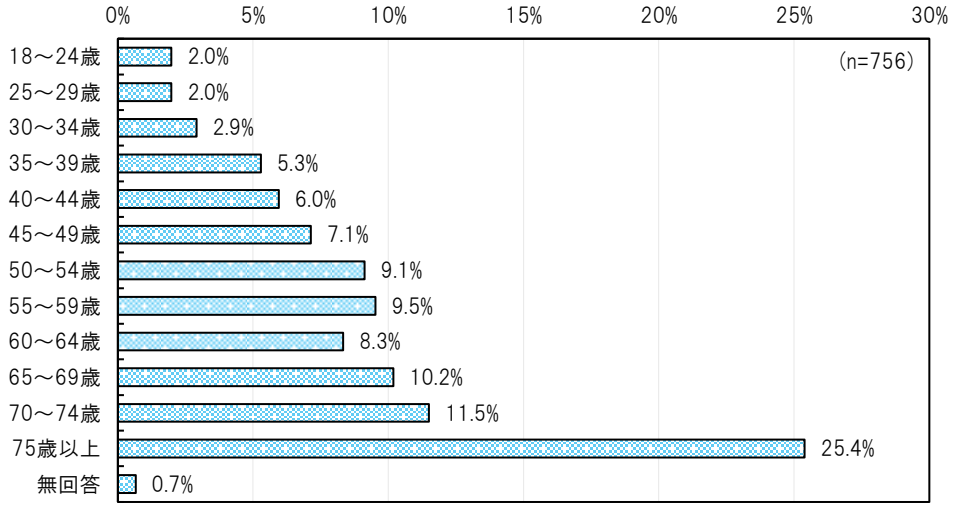
（１）　あなたの性別をお答えください。（１つに○）

図表 1　性別

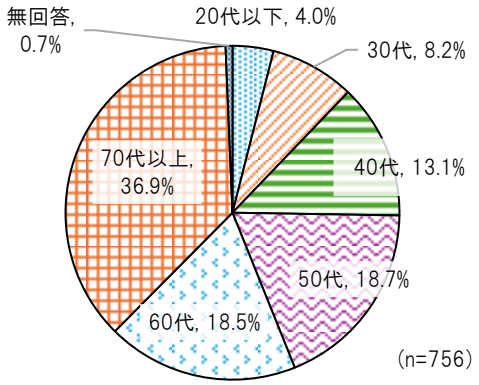


（２）　あなたの年齢をお答えください。（１つに○）

図表 2　年齢

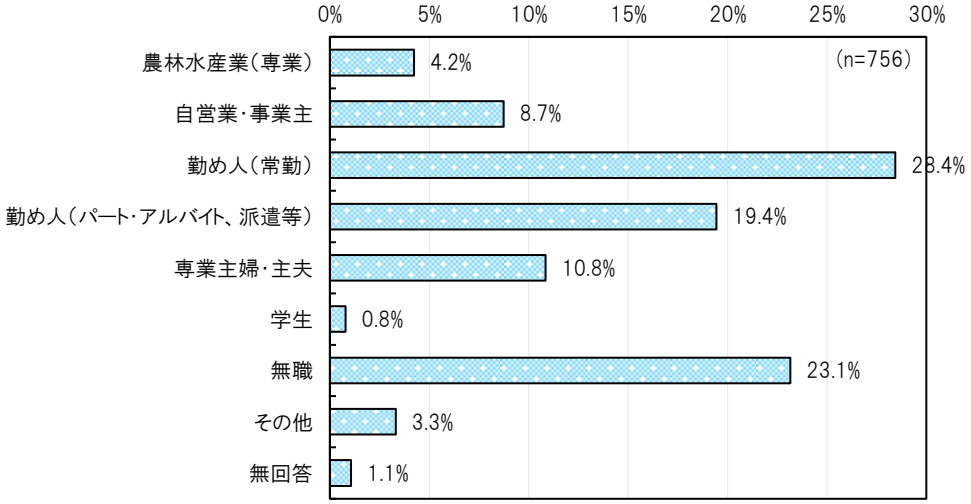


図表 3 年代



（３） 主に従事している職業等をお答えください。（１つに○）

図表 4 職業等

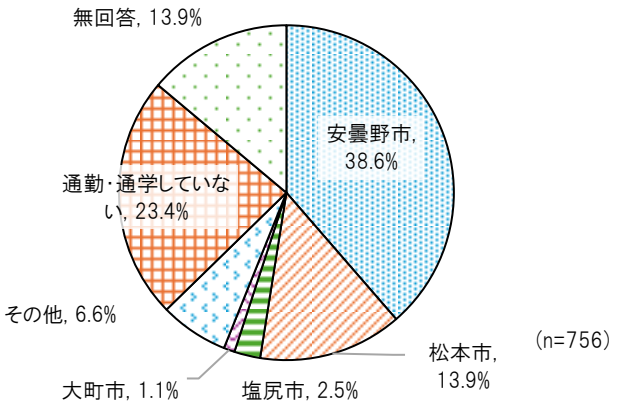


問1(3) 主に従事している職業等 その他の内容

- シルバー人材センター
- フリーランス
- フリーランス作曲家
- 育休中
- 家事、農作業等
- 家事労働従事者
- 兼業農家
- 公務員
- 広報配布
- 自営(農業)
- 週二日事務
- 食品製造手伝い
- 設計･組立調整技術者
- 年金暮らし
- 訪問ヘルパー
- 浪人生

（４） 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。（１つに○）

図表 5 通勤先、通学先

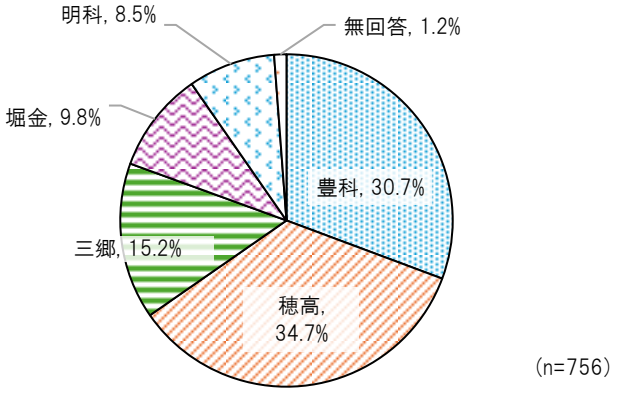


問1(4) 通勤先、通学先の市町村 その他の内容

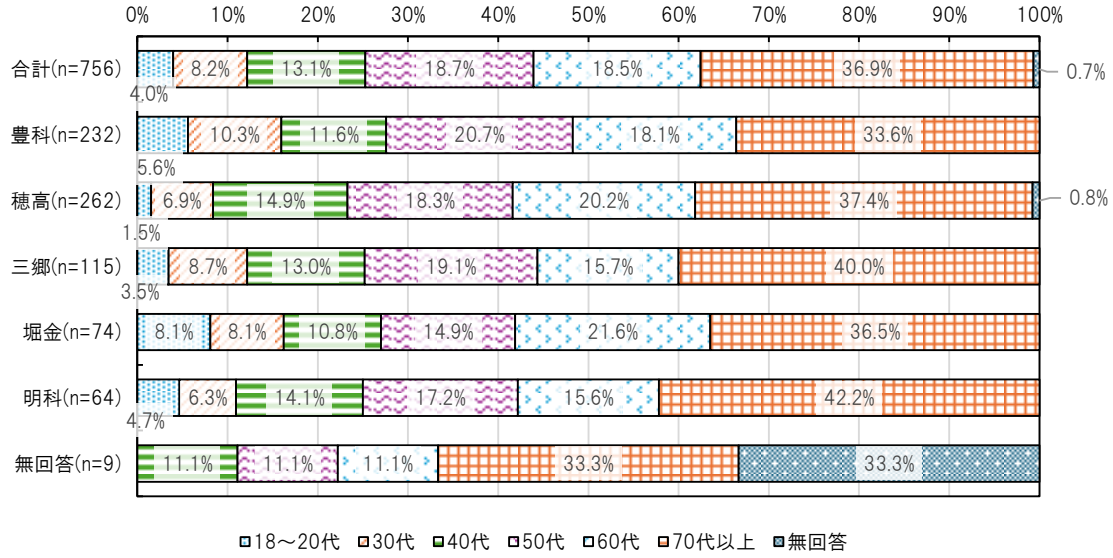
- 長野市
- 松本市
- 岡谷市
- 諏訪市
- 茅野市
- 富士見町
- 辰野町
- 箕輪町
- 生坂村
- 筑北村
- 池田町
- 松川村
- 東京都
- 横浜市
- 南アルプス市
- 名古屋市
- 県外
- 東京と長野県内
- 現場による
- 療養による休職中

（５）　お住まいの地区をお答えください。（１つに〇）

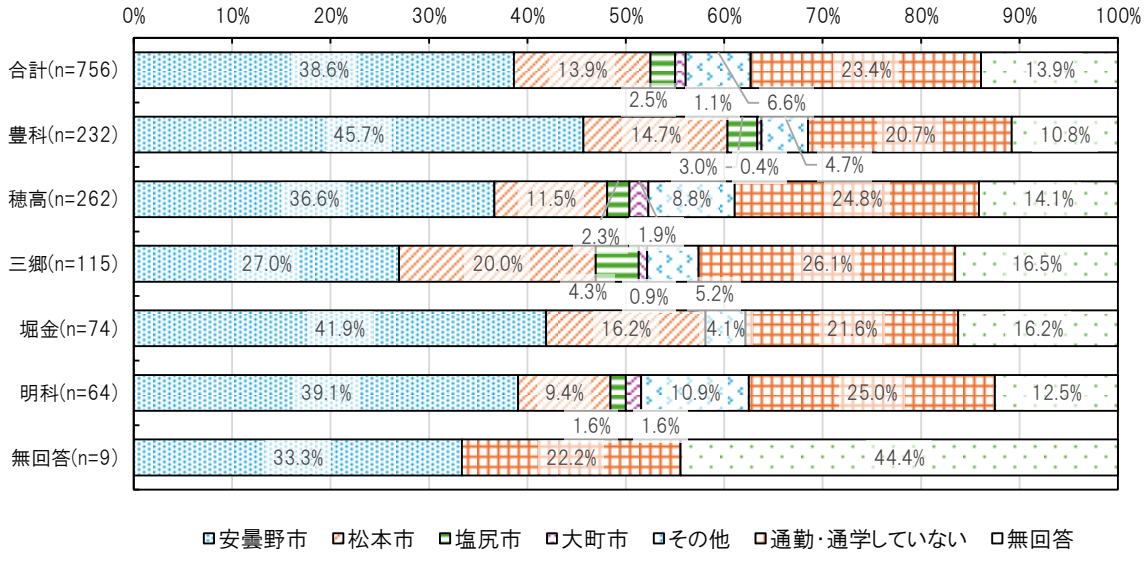
図表 6 居住地区



図表 7 【地域別】年代



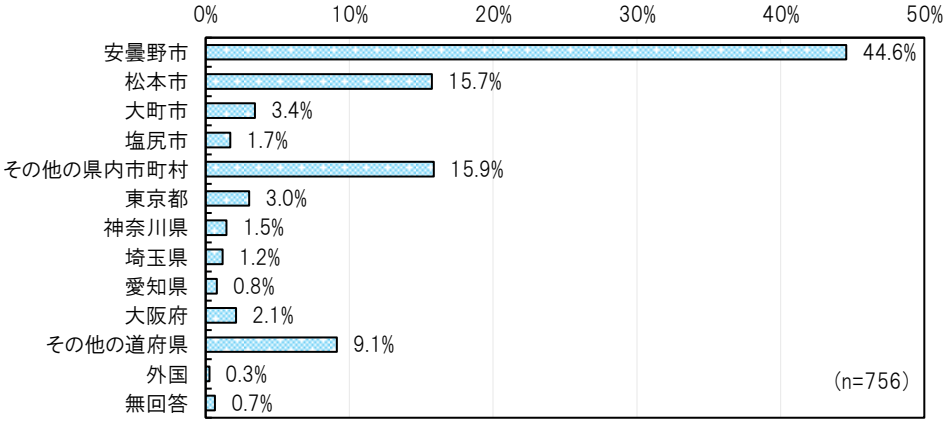
図表 8 【地域別】通勤先、通学先



（６） あなたの「出身地※」についてお答えください。（１つに○）

※15 歳までの期間に最も長く居住した場所

図表 9 出身地



図表 10 【地域別】出身地

	合計 (n=756)	豊科 (n=232)	穂高 (n=262)	三郷 (n=115)	堀金 (n=74)	明科 (n=64)	無回答 (n=9)
安曇野市	44.6%	47.8%	42.4%	34.8%	48.6%	56.3%	33.3%
松本市	15.7%	14.7%	10.3%	31.3%	17.6%	12.5%	11.1%
大町市	3.4%	3.9%	6.1%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
塩尻市	1.7%	2.2%	1.1%	1.7%	0.0%	4.7%	0.0%
その他の県内市町村	15.9%	16.4%	13.7%	20.9%	17.6%	12.5%	11.1%
東京都	3.0%	3.4%	3.1%	5.2%	1.4%	0.0%	0.0%
神奈川県	1.5%	1.3%	2.3%	0.9%	0.0%	1.6%	0.0%
埼玉県	1.2%	1.3%	1.1%	0.9%	2.7%	0.0%	0.0%
愛知県	0.8%	0.9%	0.8%	0.0%	1.4%	0.0%	11.1%
大阪府	2.1%	1.7%	3.8%	0.9%	1.4%	0.0%	0.0%
その他の道府県	9.1%	6.5%	14.1%	3.5%	8.1%	10.9%	0.0%
外国	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
無回答	0.7%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

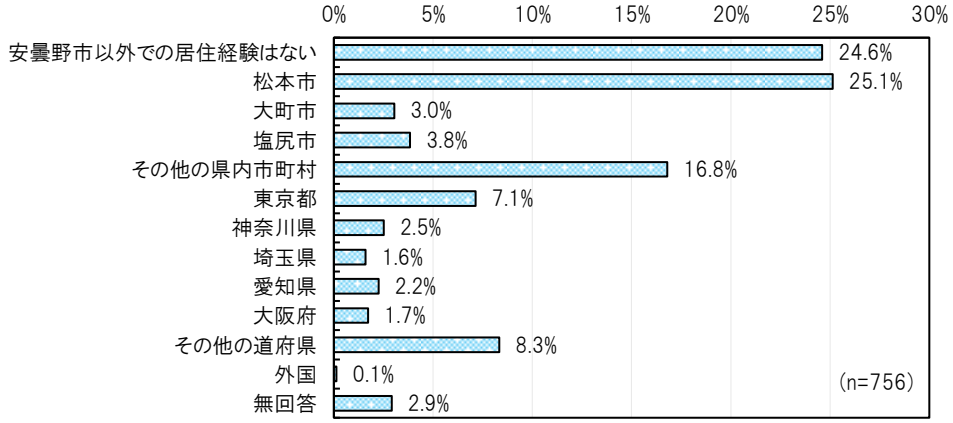
問1(6) 出身地 その他の内容

- 長野市
- 松本市
- 上田市
- 岡谷市
- 飯田市
- 諏訪市
- 須坂市
- 小諸市
- 伊那市
- 駒ヶ根市
- 中野市
- 大町市
- 茅野市
- 佐久市
- 千曲市
- 東御市
- 安曇野市
- 辰野町
- 箕輪町
- 中川村
- 下諏訪町
- 南木曽町
- 大桑村
- 木曽町

- 下条村
- 麻績村
- 生坂村
- 山形村
- 朝日村
- 筑北村
- 池田町
- 松川村
- 白馬村
- 小谷村
- 小布施町
- 坂城町
- 山ノ内町
- 北海道
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 千葉県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 山梨県
- 岐阜県
- 静岡県
- 滋賀県
- 京都府
- 京都市
- 兵庫県
- 奈良県
- 鳥取県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 香川県
- 福岡県
- 熊本県
- 大分県
- 鹿児島県
- インドネシア
- 台湾

（７） 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。（１つに○）

図表 11 安曇野市への転居前に居住していた地域



図表 12 【地域別】安曇野市への転居前に居住していた地域

	合計 (n=756)	豊科 (n=232)	穂高 (n=262)	三郷 (n=115)	堀金 (n=74)	明科 (n=64)	無回答 (n=9)
安曇野市	24.6%	27.2%	22.9%	17.4%	29.7%	26.6%	44.4%
松本市	25.1%	25.9%	21.0%	44.3%	18.9%	12.5%	22.2%
大町市	3.0%	2.2%	5.3%	0.9%	2.7%	1.6%	0.0%
塩尻市	3.8%	3.9%	2.7%	4.3%	4.1%	7.8%	0.0%
その他の県内市町村	16.8%	17.7%	16.8%	14.8%	17.6%	18.8%	0.0%
東京都	7.1%	7.3%	8.4%	3.5%	2.7%	14.1%	0.0%
神奈川県	2.5%	2.2%	2.7%	2.6%	1.4%	4.7%	0.0%
埼玉県	1.6%	1.7%	1.1%	2.6%	1.4%	1.6%	0.0%
愛知県	2.2%	1.7%	3.1%	0.0%	2.7%	4.7%	0.0%
大阪府	1.7%	0.9%	2.7%	1.7%	2.7%	0.0%	0.0%
その他の道府県	8.3%	6.9%	10.3%	7.8%	9.5%	6.3%	0.0%
外国	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.9%	2.6%	2.7%	0.0%	6.8%	1.6%	33.3%

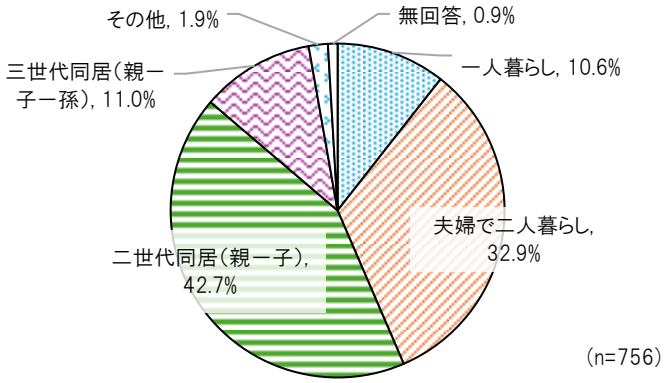
問1(7) 安曇野市での居住を始める前に居住していた都道府県･市町村 その他の内容

- 長野市
- 松本市
- 上田市
- 岡谷市
- 飯田市
- 諏訪市
- 伊那市
- 大町市
- 茅野市
- 佐久市
- 千曲市
- 東御市
- 安曇野市
- 御代田町
- 下諏訪町
- 富士見町
- 辰野町
- 箕輪町

- 中川村
- 天龍村
- 木曽町
- 生坂村
- 山形村
- 朝日村
- 筑北村
- 池田町
- 松川村
- 白馬村
- 小谷村
- 北海道
- 札幌市
- 帯広市
- 秋田県
- 山形県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 山梨県
- 岐阜県
- 静岡県
- 三重県
- 四日市市
- 滋賀県
- 京都府
- 京都市
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 岡山県
- 福岡県
- 沖縄県
- オーストラリア

問 2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 13 世帯状況



図表 14 【地域別】世帯状況

	合計 (n=756)	豊科 (n=232)	穂高 (n=262)	三郷 (n=115)	堀金 (n=74)	明科 (n=64)	無回答 (n=9)
一人暮らし	10.6%	10.8%	9.9%	9.6%	9.5%	15.6%	11.1%
夫婦で二人暮らし	32.9%	32.8%	35.5%	33.9%	28.4%	29.7%	11.1%
二世代同居 (親－子)	42.7%	42.2%	44.3%	46.1%	43.2%	34.4%	22.2%
三世代同居 (親－子－孫)	11.0%	11.6%	9.2%	7.8%	14.9%	14.1%	33.3%
その他	1.9%	2.2%	0.8%	1.7%	4.1%	3.1%	0.0%
無回答	0.9%	0.4%	0.4%	0.9%	0.0%	3.1%	22.2%

問2 世帯状況 その他の内容

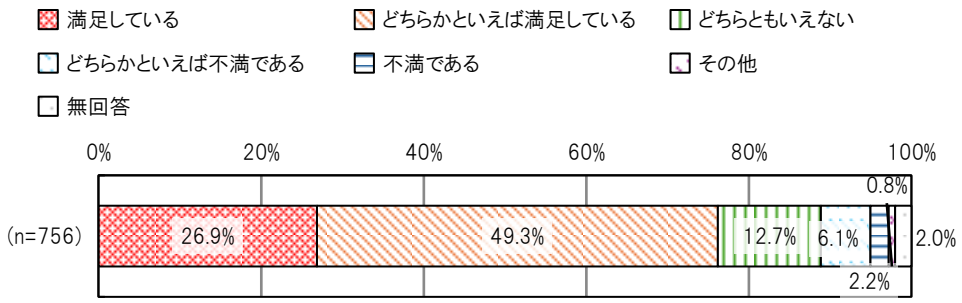
- シェアハウス二人暮らし
- 義父母、夫婦
- 三世代同居と夫の兄弟
- 姉妹
- 実妹、実妹夫婦、めい 1 人
- 同居人 1 人
- 夫婦、義母
- 夫婦と子供二人
- 有料老人ホーム

2．安曇野市での暮らしについて

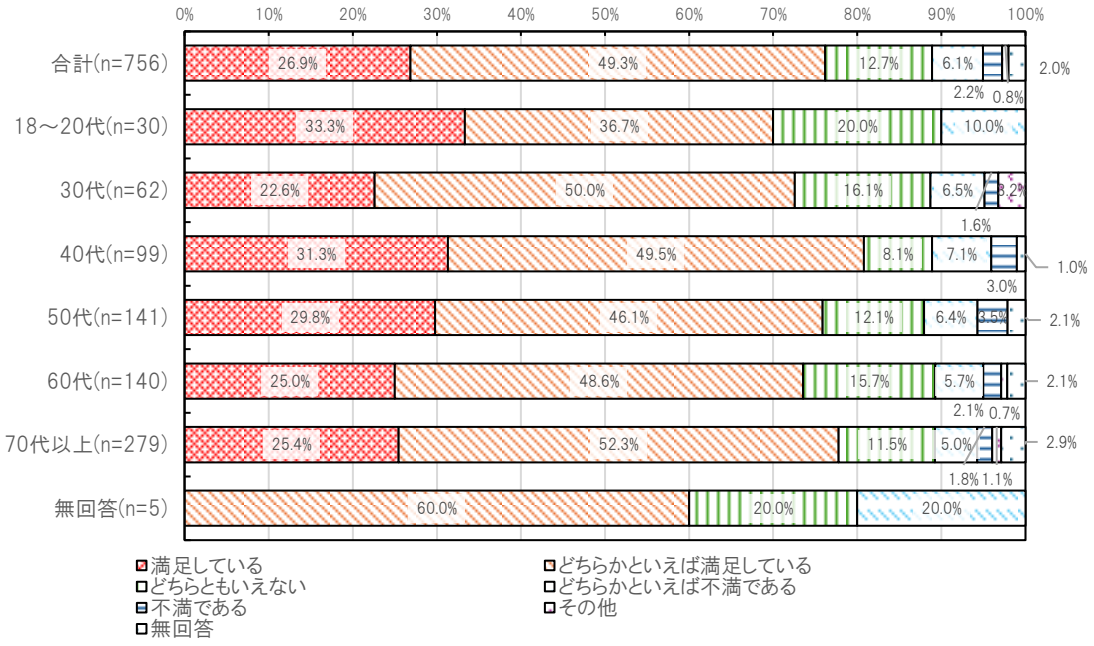
問　3.　あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。（1つに○）

- 生活の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合算した回答割合は76.2%となっており、「どちらかといえば不満」と「不満である」を合算した回答割合 8.3%を 67.9 ポイント上回っている。
- 年代別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合算した回答割合は、40 代が80.8%で最も高い。一方で「不満である」と「どちらかといえば不満」を合算した回答割合についても 40 代が 10.1%で最も高くなっている。

図表 15　安曇野市での生活の満足度

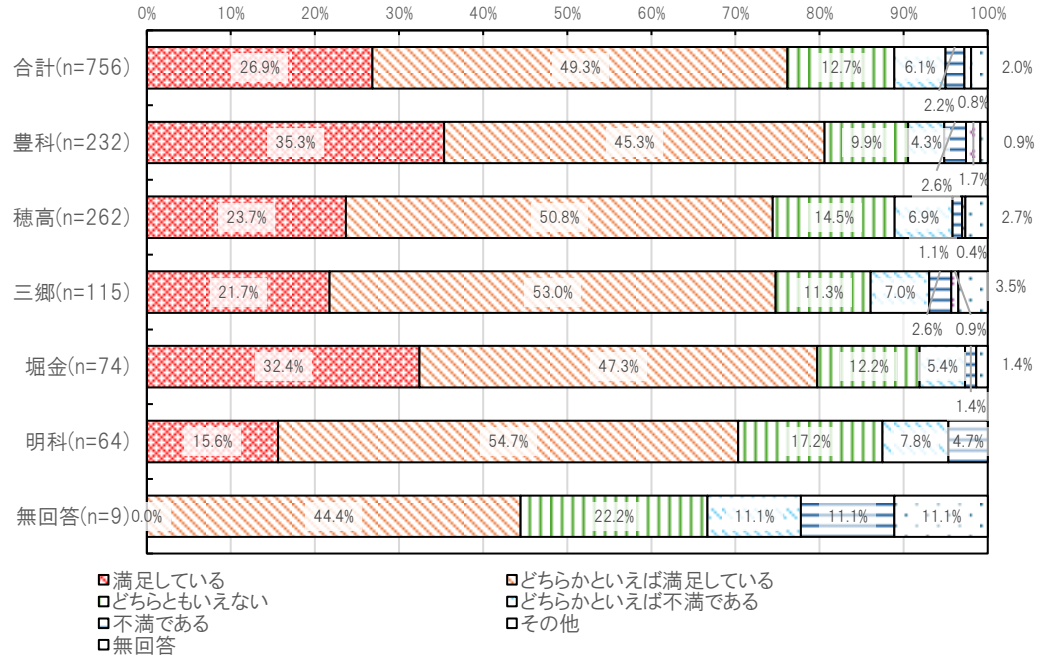


図表 16 【年代別】安曇野市での生活の満足度



・ 地域別で比較すると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合算した回答割合は豊科地域が80.6%で最も高い。一方で、「不満である」と「どちらかといえば不満」を合算した回答割合については、明科地域が 12.5%で最も高くなっている。

図表 17 【地域別】安曇野市での生活の満足度



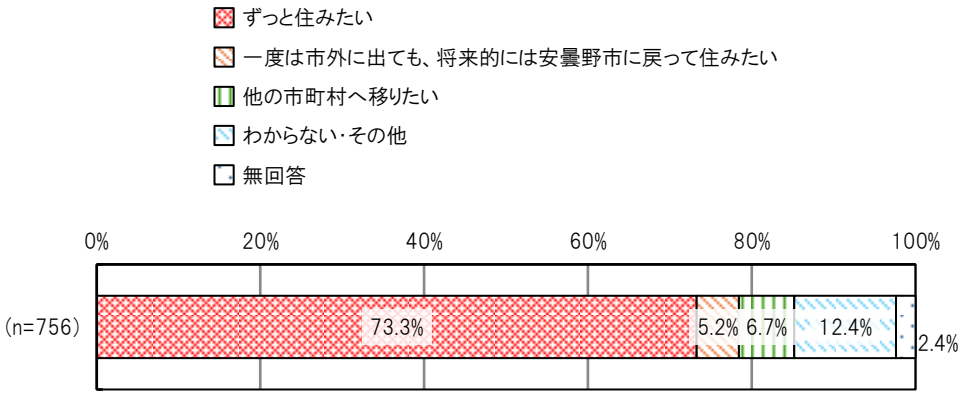
問3 あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。 その他の内容

- 安曇野は好きだが、地域の役員制度には賛同できない点が多い。
- 考えたことがない
- 地形や環境は良いが環境?
- 買物に行く時の交通が不便

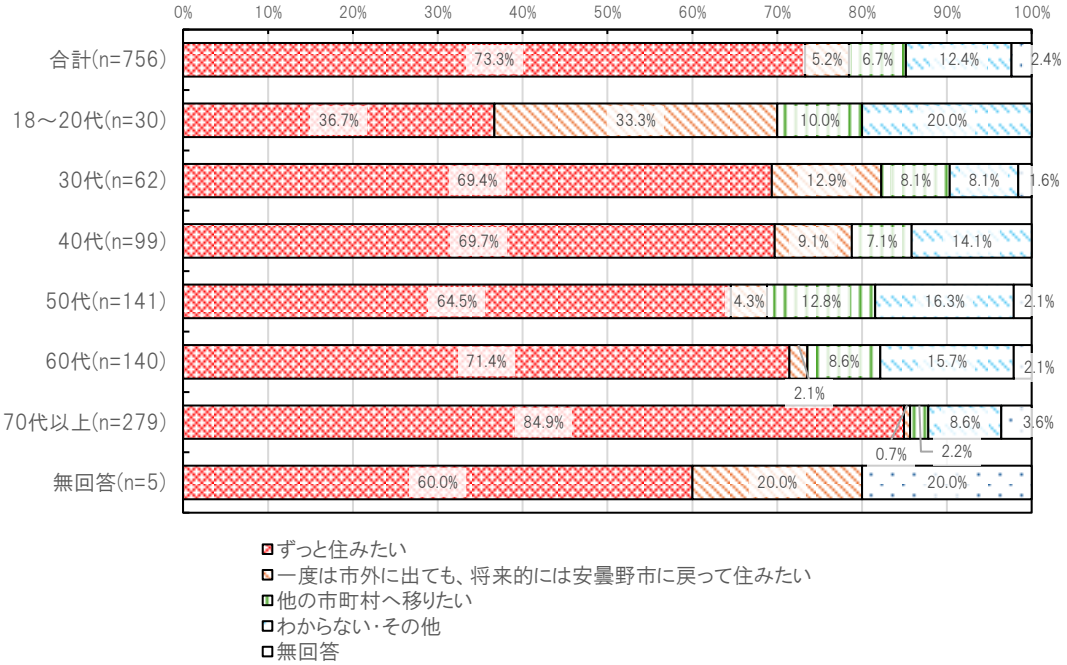
問　4.　あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。（1つに○）

- これからも安曇野市に住み続けたいかについて、「ずっと住みたい」が 73.3%と最も高く、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」（5.2%）と合算した回答割合は約8割となっている。
- 「他の市町村へ移りたい」とする回答割合は 6.7%となっている。
- 年代別でみると、「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合算した割合は 70 代以上（85.7%）が最も高く、次いで 30 代（82.3%）となっている。

図表 18　安曇野市での定住意向

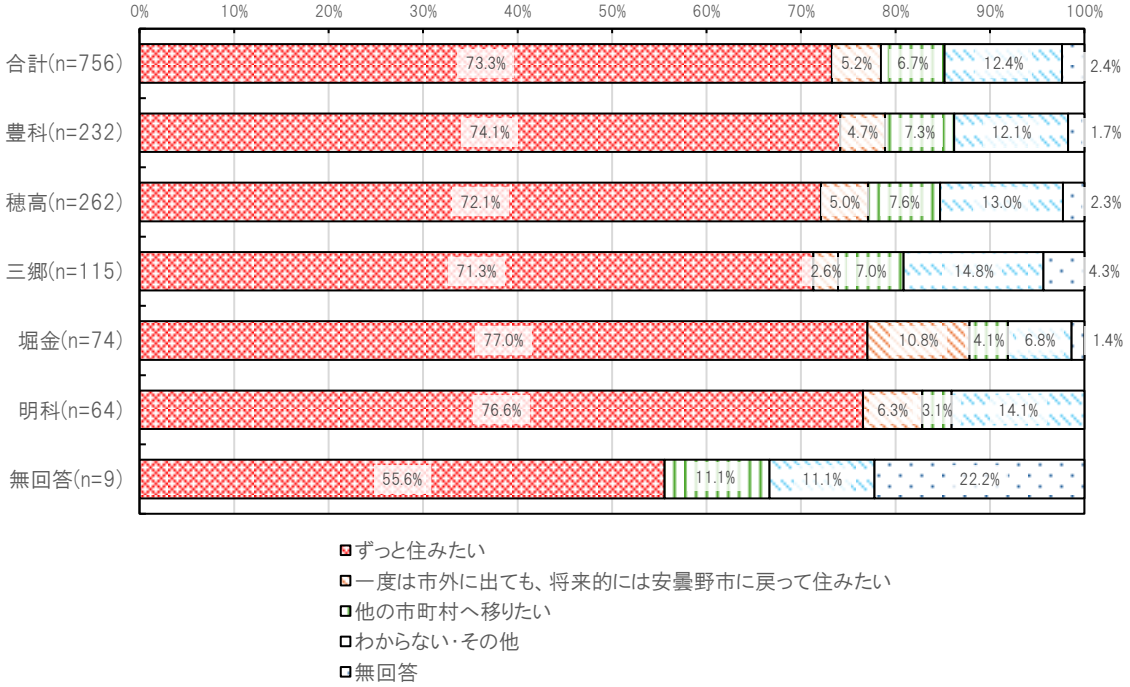


図表 19 【年代別】安曇野市での定住意向



・ 地域別で比較すると、「ずっと住みたい」の回答割合が最も高い地域は、堀金地域（77.0%）となっている。なお、全地域で「ずっと住みたい」は 7 割を超えており、地域別の大幅な差はない。

図表 20 【地域別】安曇野市での定住意向



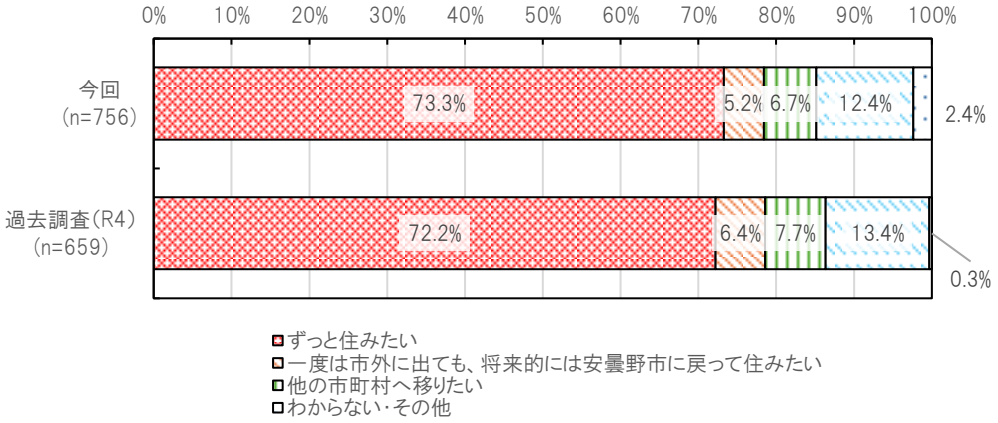
問4 あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。 その他の内容

- 20 年くらい先に他地域に移住してみたい
- こだわらない
- この先も暮らしたいと思うが、転勤族のため転居は必須。
- ずっとかわからないが住む予定
- ずっと住んでも良いし、他の土地も興味がある。
- その時の状況による
- だんだん住みにくくなってきました
- もし独居になった場合、親戚や友人が多くいる出身地に戻るかもしれない
- 医療施設の充実が成されたら
- 遠い先の事は分からない。
- 家や土地があるのでここに住むしかない
- 家庭の事情
- 交通の便が悪いので
- 行政が?
- 今のところは住みたいが先々どうなるか?
- 子育てに手厚い市町村に行きたい。塩尻市、池田町等
- 持ち家なのでここに住む以外の選択はない
- 自宅近くにも居を構えたいから

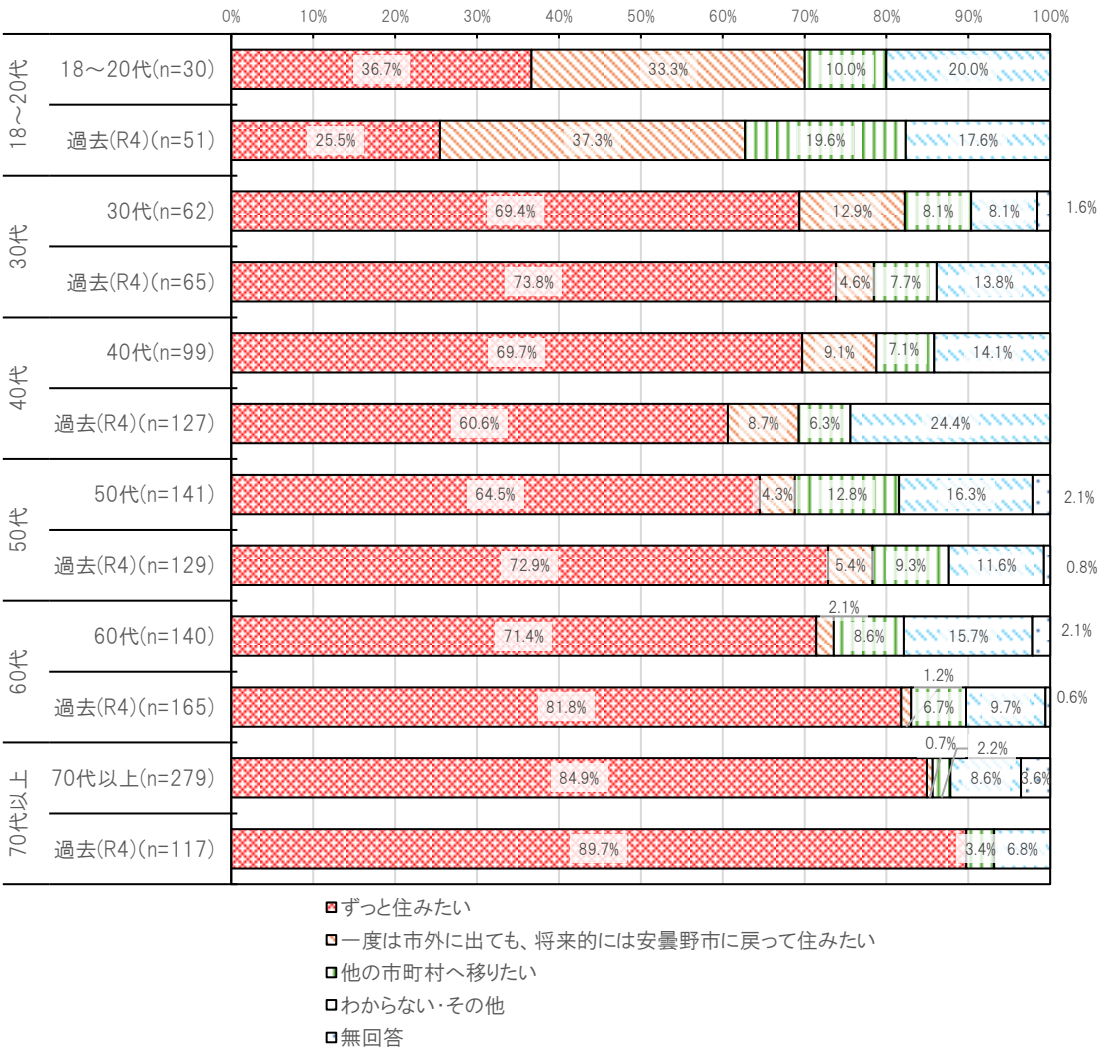
- 出来れば一生定住したいです
- 将来を考えると子供と住みたい
- 松本ナンバーに戻れば住み続けたい
- 松本市に持ち家が有り変動的です
- 条件は変わるもの
- 他にも魅力が有れば其処も
- 他に行くあてがないから住み続ける
- 他の場所を見ていないから分からない
- 年齢的には住み続けるしかない
- 配偶者が亡くなったら移住も視野にいれる
- 未来はわかりません

- 過去調査と比較すると、「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合算した回答割合は約8割で横ばい推移となっている。
- 年代別で過去比較をすると、18～20 代で「ずっと住みたい」と回答した割合は、今回調査で 10.2 ポイント増加しており、最も増加幅が大きい。

図表 21 【過去比較】安曇野市での定住意向

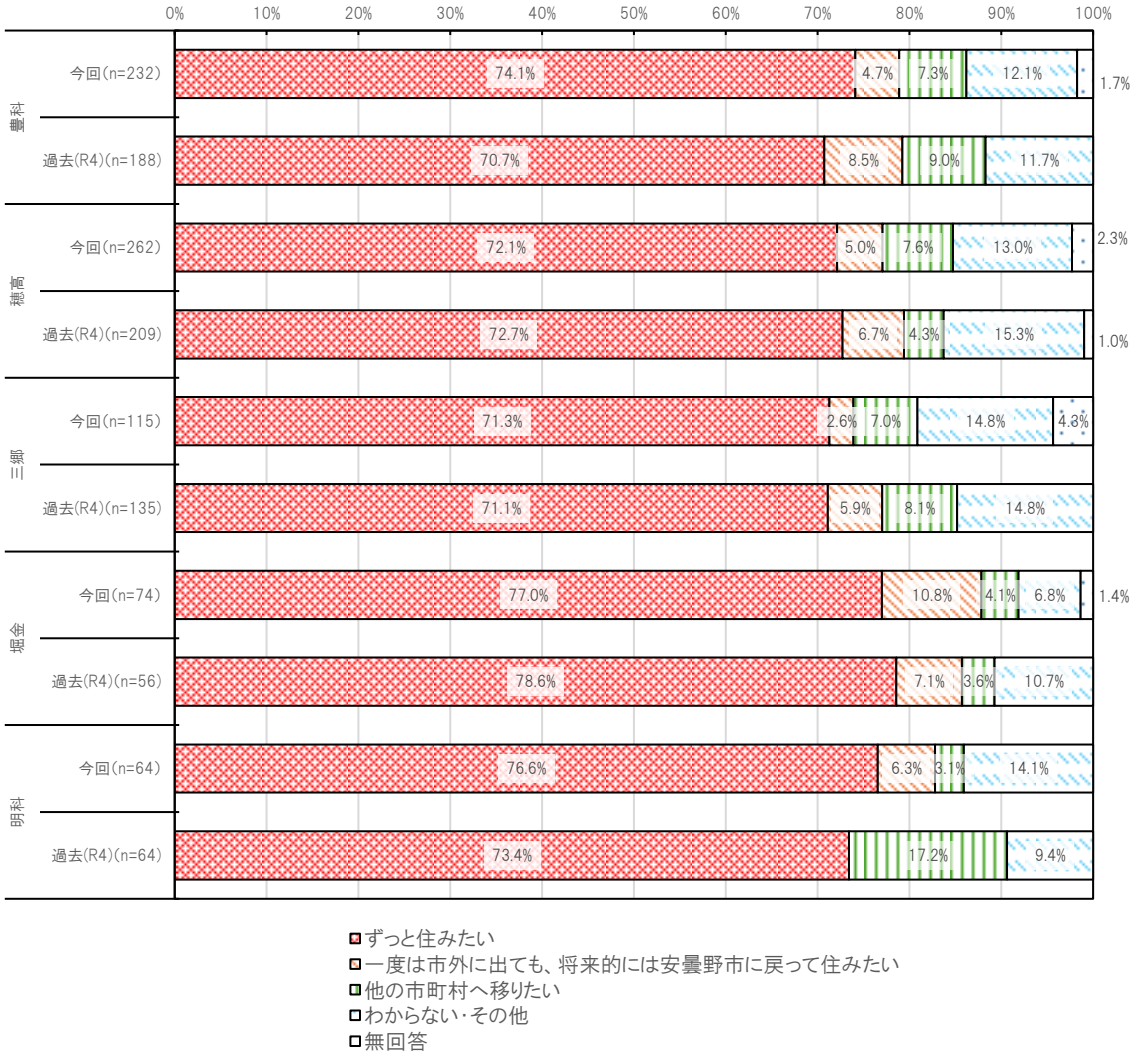


図表 22 【年代別過去比較】安曇野市での定住意向



・　地域別で過去比較をみると、明科地域の「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合算した回答割合が今回調査で 9.5 ポイント増加している。

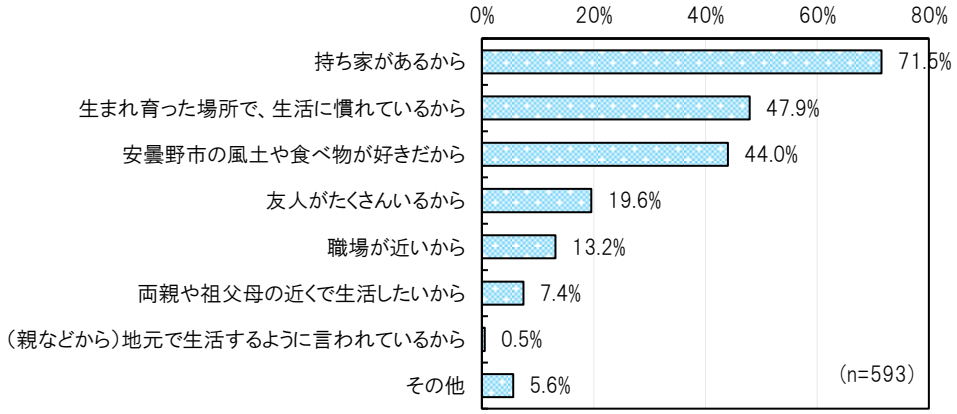
図表 23 【地域別過去比較】安曇野市での定住意向



（１） 問４ で「１．ずっと住みたい」または「２．一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。（特に当てはまるもの３つまで○）

- 安曇野市に住みたいと思う理由は「持ち家があるから」が過半数の 71.5%と最も高くなっている。
- 次いで、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」（47.9%）、「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」（44.0%）と続いている。
- 年代別で比較すると、18～20 代では、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」が 90.5%と、全体の回答割合（47.9%）を 42.6 ポイント上回っている。

図表 24 安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



図表 25 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

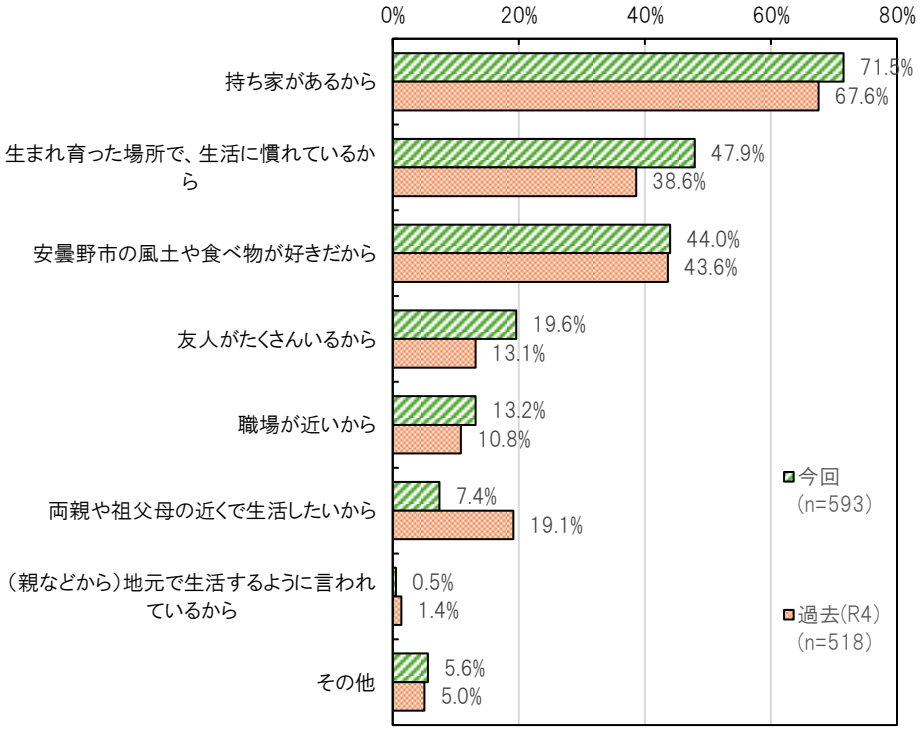
	合計 (n=593)	18～20代 (n=21)	30代 (n=51)	40代 (n=78)	50代 (n=97)	60代 (n=103)	70代以上 (n=239)	無回答 (n=4)
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	47.9%	90.5%	29.4%	57.7%	42.3%	47.6%	47.7%	25.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	44.0%	38.1%	43.1%	52.6%	47.4%	38.8%	43.1%	25.0%
友人がたくさんいるから	19.6%	19.0%	9.8%	9.0%	16.5%	20.4%	26.4%	0.0%
職場が近いから	13.2%	19.0%	31.4%	16.7%	20.6%	10.7%	5.9%	0.0%
持ち家があるから	71.5%	38.1%	54.9%	59.0%	78.4%	74.8%	77.8%	75.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	7.4%	33.3%	15.7%	21.8%	5.2%	4.9%	0.8%	0.0%
（親などから）地元で生活するように言われているから	0.5%	0.0%	2.0%	1.3%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
その他	5.6%	4.8%	11.8%	6.4%	4.1%	8.7%	2.9%	25.0%

- 地域別で比較すると、堀金地域では「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」が全地域で唯一 6 割となっている。
- 過去調査と比較すると、前回調査では回答割合が「生まれた場所で、生活に慣れているから」の回答割合が今回調査では 9.3 ポイント増加しており、回答割合も 2 番目に高くなっている。一方で、「両親や祖父母の近くで生活したいから」は今回調査で 11.7 ポイント減少している。

図表 26 【地域別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

	合計 (n=593)	豊科 (n=183)	穂高 (n=202)	三郷 (n=85)	堀金 (n=65)	明科 (n=53)	無回答 (n=5)
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	47.9%	49.7%	47.0%	40.0%	60.0%	43.4%	40.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	44.0%	46.4%	48.5%	35.3%	36.9%	41.5%	40.0%
友人がたくさんいるから	19.6%	19.7%	23.3%	16.5%	16.9%	15.1%	0.0%
職場が近いから	13.2%	11.5%	12.9%	15.3%	12.3%	18.9%	0.0%
持ち家があるから	71.5%	66.7%	73.8%	77.6%	66.2%	73.6%	100.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	7.4%	7.7%	7.4%	10.6%	6.2%	3.8%	0.0%
（親などから）地元で生活するように言われているから	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	1.5%	1.9%	0.0%
その他	5.6%	5.5%	5.4%	2.4%	7.7%	5.7%	40.0%

図表 27 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



問4（1） 安曇野市に住みたいと思う理由　その他の内容

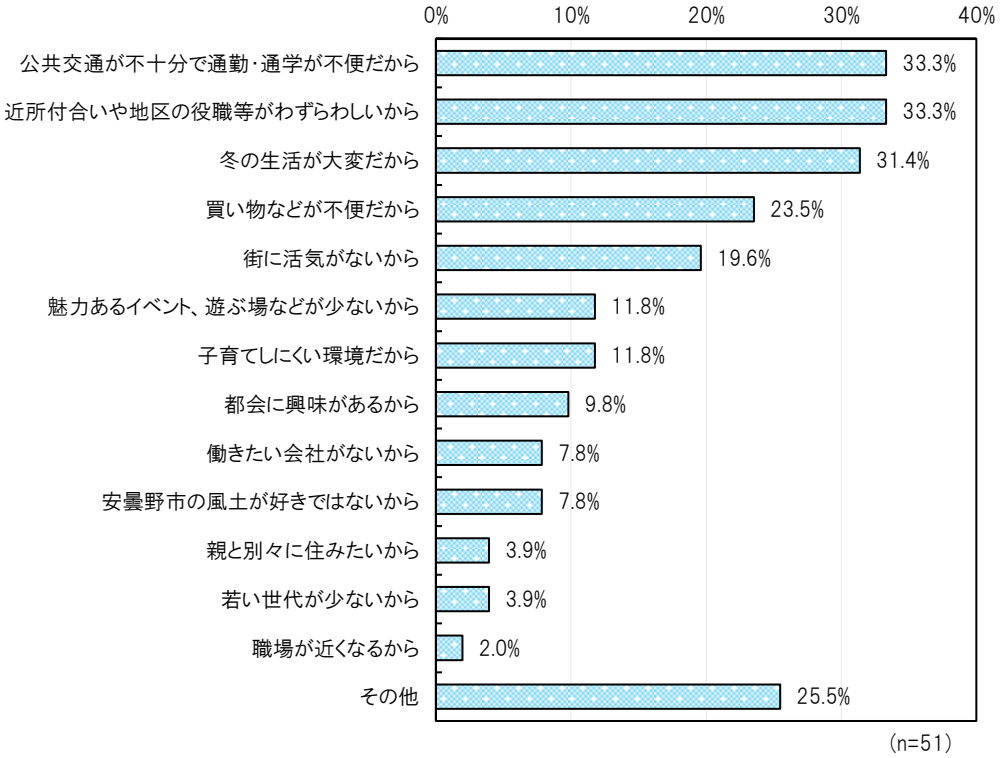
- 18 才より学生、事業と東京に居て 33 才頃戻り今に･･･U ターン組です
- アルプスの見える景色が好きなので。
- お墓、土地があるから

- ここの景色が好きで自然がここの財産だから
- この町が好きだから
- スーパーなどのお店がたくさんあって利用しやすい
- 愛してる人が居るから
- 気候がカビっぽくならない。北アルプスの景色。冬の朝焼け（雪山に美しい）。自然との共存すばらしい。
- 景色が美しい
- 高齢だから
- 災害が少ないから（世界一位と考える）
- 子、孫と一緒に住めるから
- 子育てや老後の生活に適しているから
- 子供の居住地
- 子供夫婦と同居しているから
- 私事情
- 自然が美しい
- 自然が豊かで、山や田園風景が美しいから
- 自然に囲まれた環境が好き
- 人が多過ぎず、生活に必要な商業施設やインフラが十分にある
- 人の良さ、利便性
- 水、空気が良い
- 他に行くところなし
- 退職後は畑仕事をしたいから
- 旦那の地元であり、生活の基盤はここであるから
- 農業を続けたい、子どもたちが近くにいるから
- 買い物がしやすい、店が多い
- 比較的自然災害が少ないから
- 夫の職場が安曇野市内のため
- 平で自転車で移動しやすい。松本に近い、IC がある、高齢になっても徒歩で医者、銀行、スーパー、駅に行ける
- 北アルプスの壮大な景色が好きだから

（２） 問４ で「３．他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。その理由を教えてください。（特に当てはまるもの３つまで○）

- 他の市町村へ移りたい理由としては、「公共交通が不十分で通勤･通学が不便だから」と「近所付合いや地区の役職等がわずらわしいから」が同率の 33.3%で最も高くなっている。
- 年代別でみると、60 代では「買物などが不便だから」が 58.3%で最も高くなっており、全体より 34.8 ポイント高い。

図表 28 他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）



問4(2) 他の市町村へ移りたい理由 その他の内容

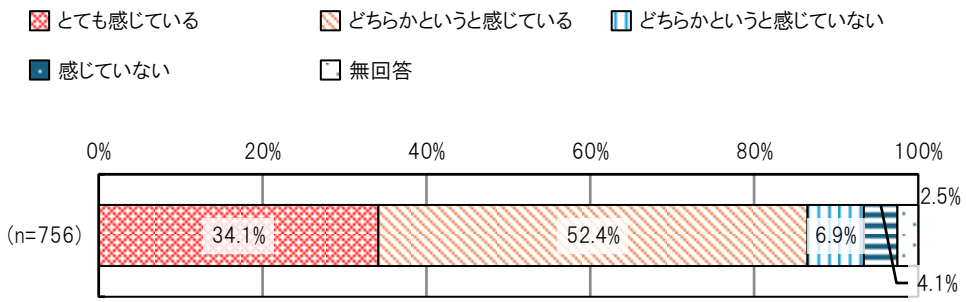
- 会社が少ない
- 近隣の市(松本市)
- 行政に不信感しかない。不誠実、自己に都合の良い二重ルールを市民に強いている(特に猿追い払い隊)
- 高齢者への支援制度が低い、安い
- 実家へ(故郷)戻りたい
- 小さいころ住んでいた松本にもどりたいと思う
- 生まれ育った場所で生活したい。
- 生活が出来る所へ
- 他県で暮らす親の面倒をみたい
- 暖かい地域に住みたい
- 地域に納める公共料金が多い。松本は区費だけ。90 才近い老人にはきびしいです(何の活動費か?)
- 長男の為、起業の為
- 東西の道路歩行時キケン(せまい)

- 病院が遠い

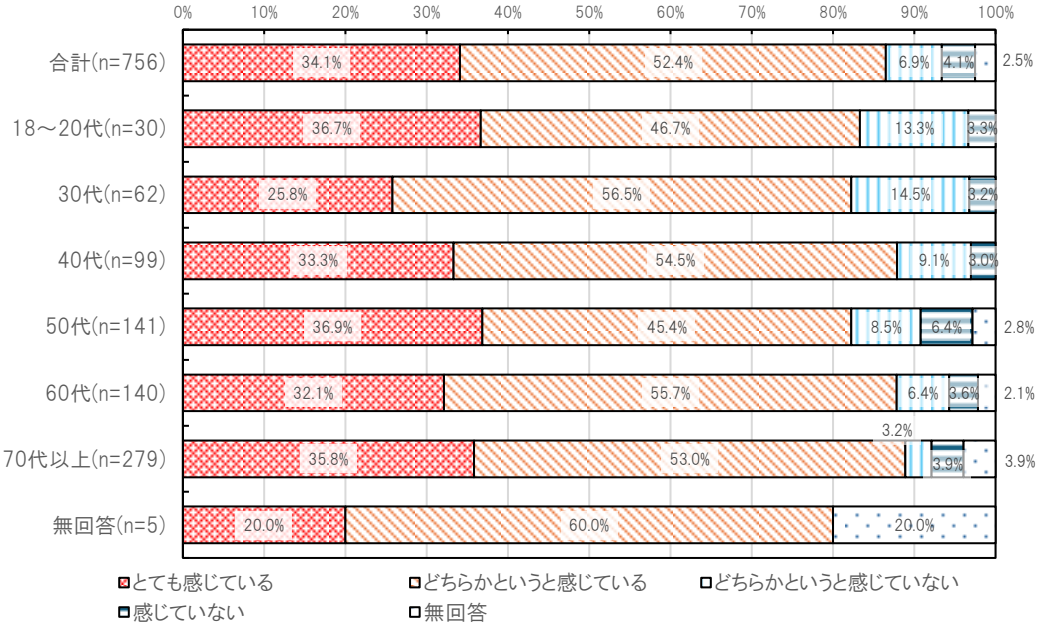
問 5.　安曇野市に愛着を感じていますか。（1つに○）

- 安曇野市への愛着について、ポジティブな回答（「とても感じている」＋「どちらかというと感じている」の合計）は 8 割を超えている。
- 年代別で比較すると、ポジティブな回答はどの年代でも 8 割を超えている。一方でネガティブな回答（「感じていない」＋「どちらかというと感じていない」の合計）が最も高かったのは、30 代（17.7%）となっている。

図表 29　安曇野市への愛着

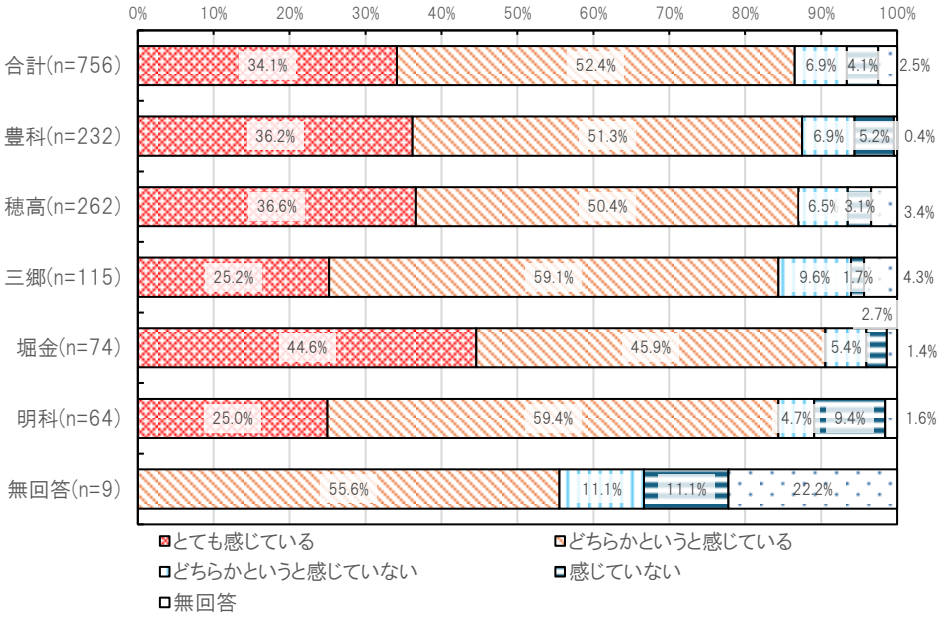


図表 30 【年代別】安曇野市への愛着

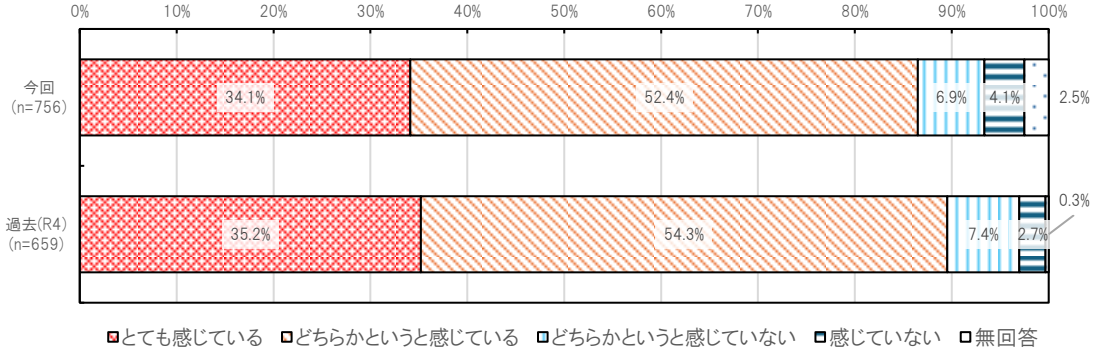


- 地域別で比較すると、全地域ポジティブな回答（「とても感じている」＋「どちらかというと感じている」の合計）は 8 割を超えており、とりわけ堀金地域では 9 割を超えている。
- 過去調査と比較するとポジティブな回答（「とても感じている」＋「どちらかというと感じている」の合計）は 8 割超で、ほぼ横ばい推移している。

図表 31 【地域別】安曇野市への愛着



図表 32 【過去比較】安曇野市への愛着



3．安曇野市の行政に関すること

(1)全般的な施策について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

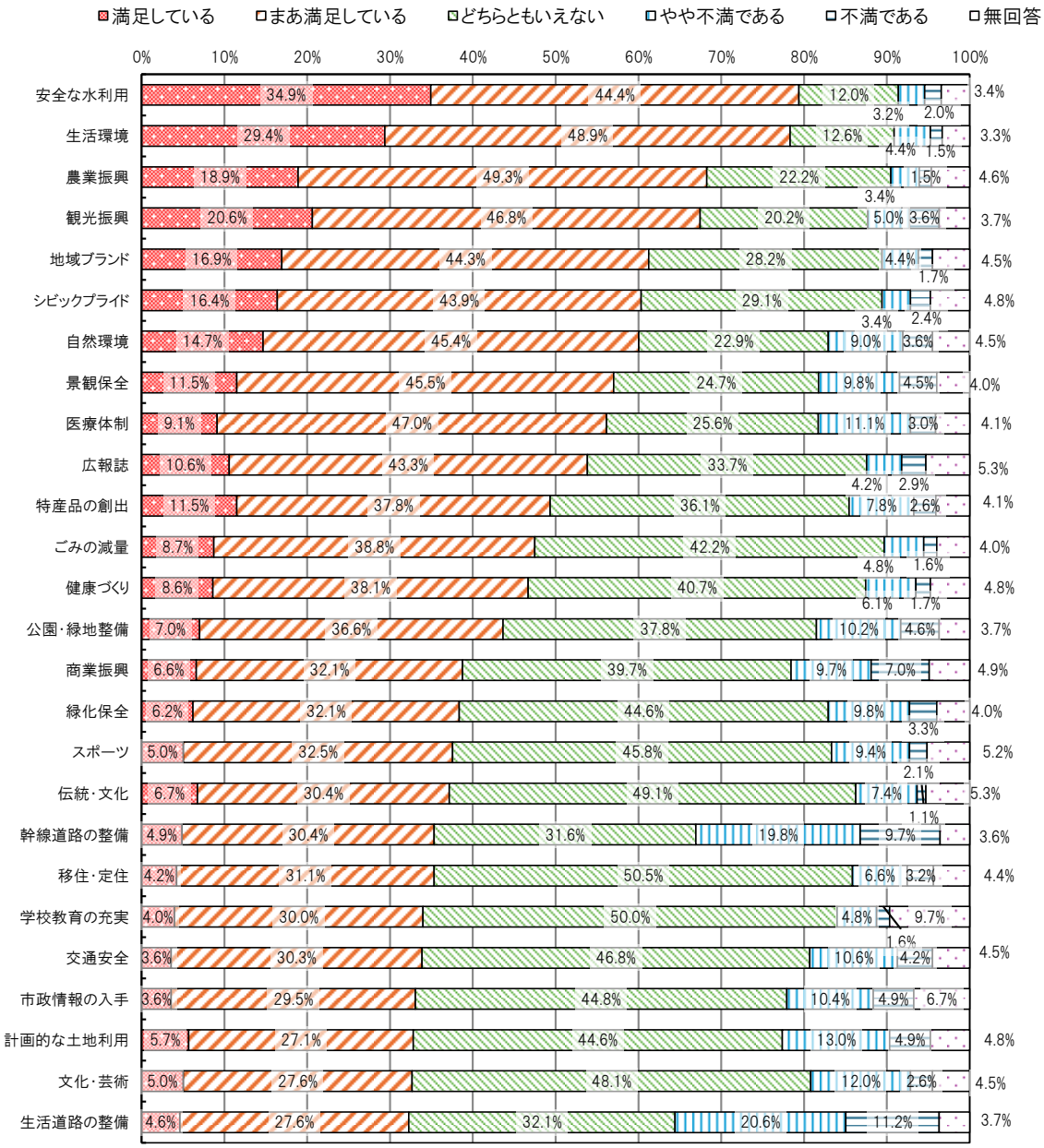
- 施策一覧および施策の略称
  - 市の 17 分野に関する 52 施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」を調査した。
  - 本調査報告書では、全 52 施策について略称を用いて表記している。
  - 施策名と略称の対応は以下の通り。

分野	施策名	施策名（略称）
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	自然環境
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	生活環境
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	自然エネルギーの普及
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	ごみの減量
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくり
	医療体制が整っている	医療体制
	地域において、支え合える関係が築けている	地域福祉
	障がい者が安心して生活していける地域である	障がい者福祉
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	高齢者福祉
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	介護支援
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	生活困窮者支援
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	男女共同参画
	互いの個性や立場を尊重している地域である	多様性の尊重
	性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	性的マイノリティ配慮
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	出産・子育て支援
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	スポーツ
	アウトドア・スポーツを楽しめる環境が整っている	アウトドア・スポーツ
教育・学習	小中学校での教育が充実している	学校教育の充実
	小中学校と地域･家庭の連携が図れている	学校と地域・家庭の連携
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	生涯学習
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	伝統・文化
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	文化・芸術
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができている	防災対策
	交通安全の取り組みが行われている	交通安全
	防犯対策が行われている	防犯対策
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	消費者保護
都市基盤	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	計画的な土地利用
	安曇野らしい景観が保全されている	景観保全
	緑化の保全、普及が進められている	緑化保全
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	公園・緑地整備
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	幹線道路の整備
	生活道路である市道が整備されている	生活道路の整備
	公共交通網が整備されている	公共交通網
	安全でおいしい水が利用できる	安全な水利用
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	農業振興
経済活動	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	商業振興
	工業・製造業が盛んな地域である	工業振興
	働きやすい地域である	労働・雇用環境
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	観光振興
	安曇野らしい産品が生み出されている	特産品の創出
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	地域ブランド
	市外在住者に誇ることのできる地域である	シビックプライド
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	移住・定住
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	コミュニティ活動
	ＮＰＯ、ボランティア活動が行われている	ボランティア活動
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	市民参画
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	地域の情報化
	行政運営の効率化が図られている	効率的な行政運営
	市政に関する情報が入手しやすい	市政情報の入手
	広報紙「広報あづみの」が充実している	広報誌
	市公式ホームページ、SNSが充実している	市のHP・SNS
SDGs	SDGｓの達成に向けて取り組んでいる地域である	SDGs達成への取組

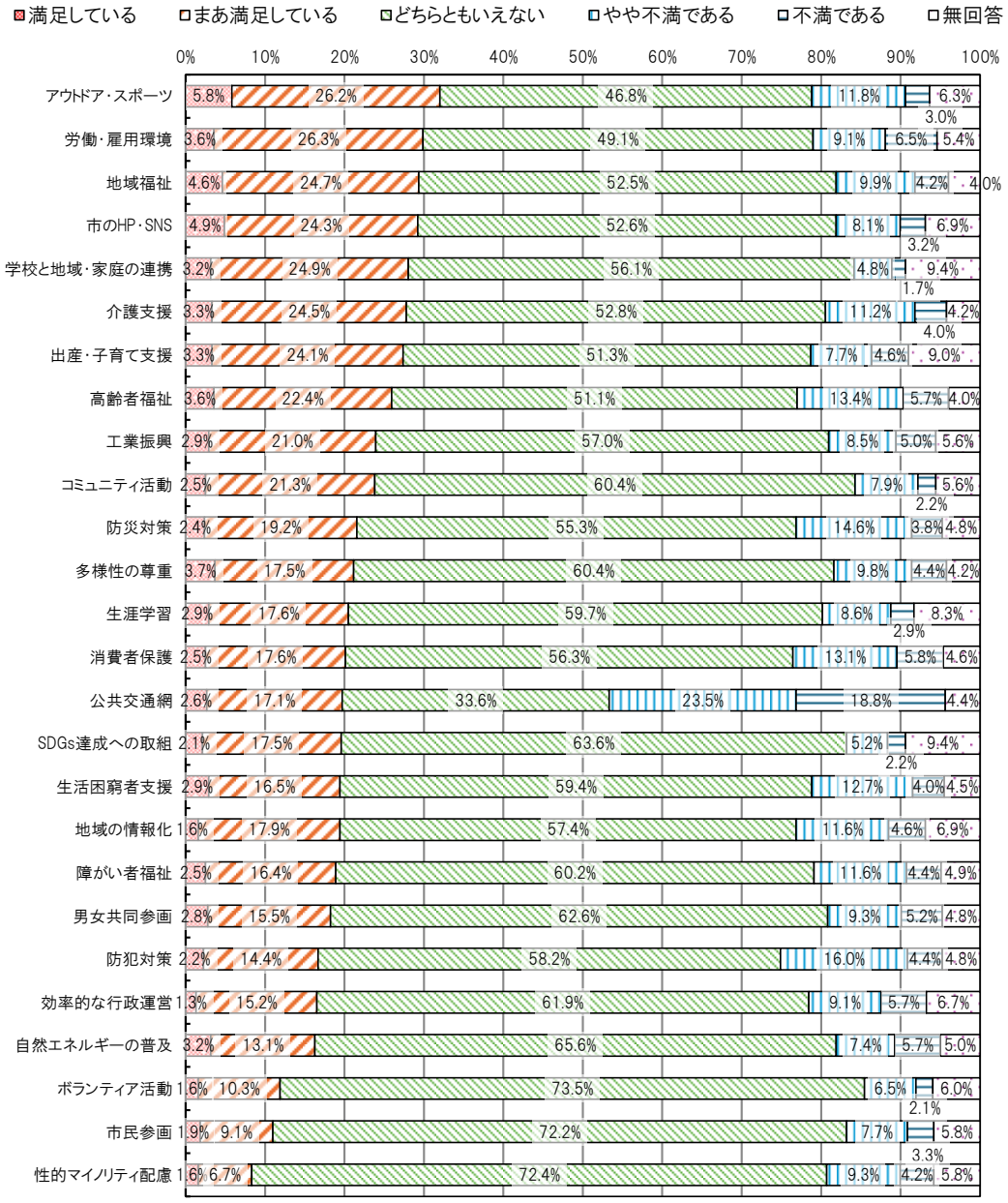
① 市の施策に対する現状の満足度

- 「満足している」と「まあ満足している」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「安全な水利用」（79.4%）、「生活環境」（78.3%）、「農業振興」（68.3%）となっている。
- 一方、「不満である」と「やや不満である」を合算した回答割合の上位3つは、「公共交通網」（42.3%）、「生活道路の整備」（31.9%）、「幹線道路の整備」（29.5%）となっている。

図表 33 市の施策に対する現状の満足度



（※前ページからの続き）


満足している
まあ満足している
どちらともいえない
やや不満である
不満である
無回答
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
アウトドア・スポーツ 5.8% 26.2% 46.8% 11.8% 6.3% 3.0%
労働・雇用環境 3.6% 26.3% 49.1% 9.1% 6.5% 5.4%
地域福祉 4.6% 24.7% 52.5% 9.9% 4.2% 4.0%
市のHP・SNS 4.9% 24.3% 52.6% 8.1% 6.9% 3.2%
学校と地域・家庭の連携 3.2% 24.9% 56.1% 4.8% 9.4% 1.7%
介護支援 3.3% 24.5% 52.8% 11.2% 4.2% 4.0%
出産・子育て支援 3.3% 24.1% 51.3% 7.7% 4.6% 9.0%
高齢者福祉 3.6% 22.4% 51.1% 13.4% 5.7% 4.0%
工業振興 2.9% 21.0% 57.0% 8.5% 5.0% 5.6%
コミュニティ活動 2.5% 21.3% 60.4% 7.9% 5.6% 2.2%
防災対策 2.4% 19.2% 55.3% 14.6% 3.8% 4.8%
多様性の尊重 3.7% 17.5% 60.4% 9.8% 4.4% 4.2%
生涯学習 2.9% 17.6% 59.7% 8.6% 8.3% 2.9%
消費者保護 2.5% 17.6% 56.3% 13.1% 5.8% 4.6%
公共交通網 2.6% 17.1% 33.6% 23.5% 18.8% 4.4%
SDGs達成への取組 2.1% 17.5% 63.6% 5.2% 9.4% 2.2%
生活困窮者支援 2.9% 16.5% 59.4% 12.7% 4.0% 4.5%
地域の情報化 1.6% 17.9% 57.4% 11.6% 4.6% 6.9%
障がい者福祉 2.5% 16.4% 60.2% 11.6% 4.4% 4.9%
男女共同参画 2.8% 15.5% 62.6% 9.3% 5.2% 4.8%
防犯対策 2.2% 14.4% 58.2% 16.0% 4.4% 4.8%
効率的な行政運営 1.3% 15.2% 61.9% 9.1% 5.7% 6.7%
自然エネルギーの普及 3.2% 13.1% 65.6% 7.4% 5.7% 5.0%
ボランティア活動 1.6% 10.3% 73.5% 6.5% 6.0% 2.1%
市民参画 1.9% 9.1% 72.2% 7.7% 5.8% 3.3%
性的マイノリティ配慮 1.6% 6.7% 72.4% 9.3% 4.2% 5.8%

図表 34 市の施策に対する現状の満足度一覧（数値一覧）

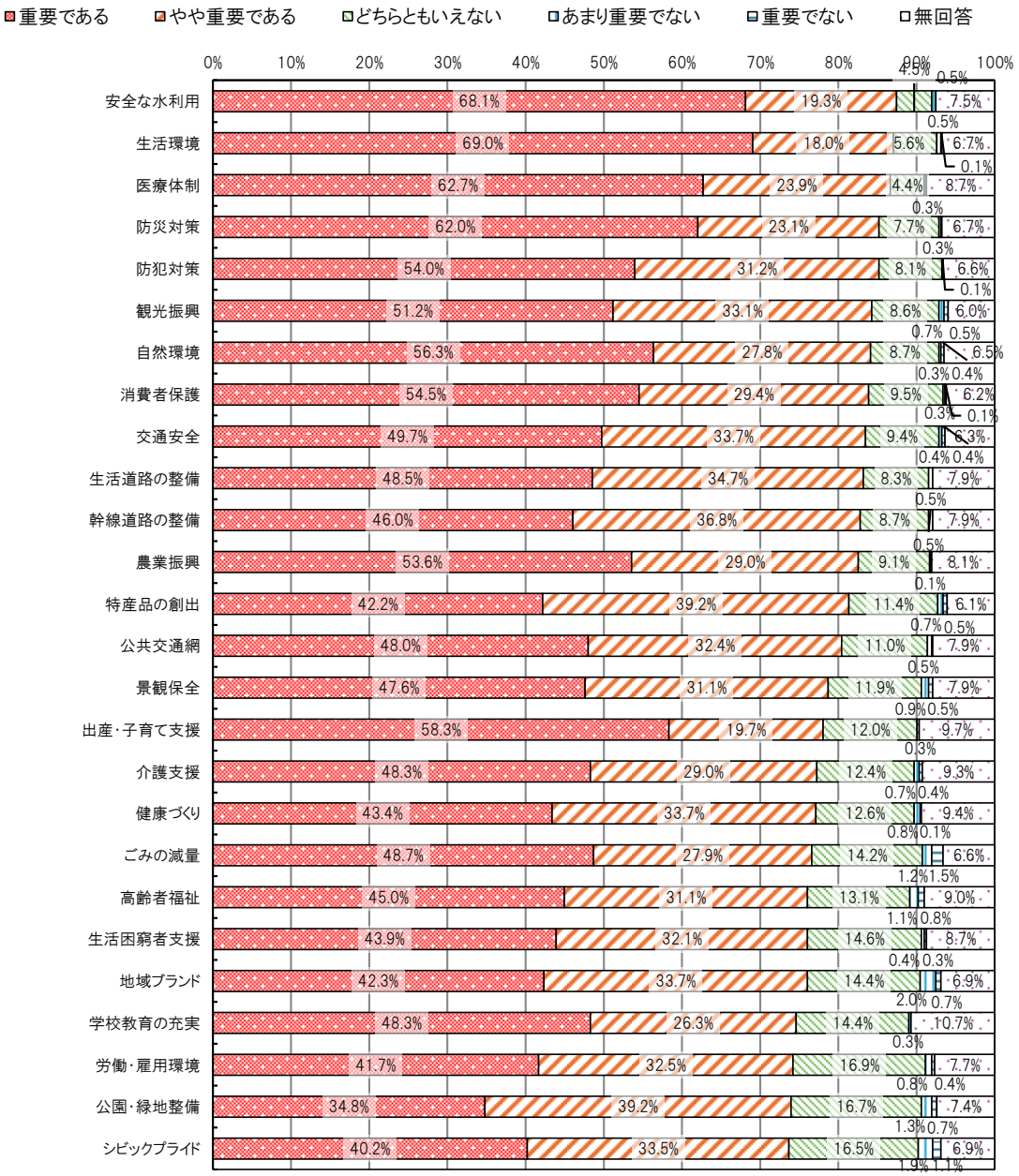
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	満足している +まあ満足している	不満である +やや不満である
安全な水利用	34.9%	44.4%	12.0%	3.2%	2.0%	3.4%	79.4%	5.2%
生活環境	29.4%	48.9%	12.6%	4.4%	1.5%	3.3%	78.3%	5.8%
農業振興	18.9%	49.3%	22.2%	3.4%	1.5%	4.6%	68.3%	4.9%
観光振興	20.6%	46.8%	20.2%	5.0%	3.6%	3.7%	67.5%	8.6%
地域ブランド	16.9%	44.3%	28.2%	4.4%	1.7%	4.5%	61.2%	6.1%
シビックプライド	16.4%	43.9%	29.1%	3.4%	2.4%	4.8%	60.3%	5.8%
自然環境	14.7%	45.4%	22.9%	9.0%	3.6%	4.5%	60.1%	12.6%
景観保全	11.5%	45.5%	24.7%	9.8%	4.5%	4.0%	57.0%	14.3%
医療体制	9.1%	47.0%	25.6%	11.1%	3.0%	4.1%	56.2%	14.2%
広報誌	10.6%	43.3%	33.7%	4.2%	2.9%	5.3%	53.8%	7.1%
特産品の創出	11.5%	37.8%	36.1%	7.8%	2.6%	4.1%	49.3%	10.4%
ごみの減量	8.7%	38.8%	42.2%	4.8%	1.6%	4.0%	47.5%	6.3%
健康づくり	8.6%	38.1%	40.7%	6.1%	1.7%	4.8%	46.7%	7.8%
公園・緑地整備	7.0%	36.6%	37.8%	10.2%	4.6%	3.7%	43.7%	14.8%
商業振興	6.6%	32.1%	39.7%	9.7%	7.0%	4.9%	38.8%	16.7%
緑化保全	6.2%	32.1%	44.6%	9.8%	3.3%	4.0%	38.4%	13.1%
スポーツ	5.0%	32.5%	45.8%	9.4%	2.1%	5.2%	37.6%	11.5%
伝統・文化	6.7%	30.4%	49.1%	7.4%	1.1%	5.3%	37.2%	8.5%
幹線道路の整備	4.9%	30.4%	31.6%	19.8%	9.7%	3.6%	35.3%	29.5%
移住・定住	4.2%	31.1%	50.5%	6.6%	3.2%	4.4%	35.3%	9.8%
学校教育の充実	4.0%	30.0%	50.0%	4.8%	1.6%	9.7%	34.0%	6.3%
交通安全	3.6%	30.3%	46.8%	10.6%	4.2%	4.5%	33.9%	14.8%
市政情報の入手	3.6%	29.5%	44.8%	10.4%	4.9%	6.7%	33.1%	15.3%
計画的な土地利用	5.7%	27.1%	44.6%	13.0%	4.9%	4.8%	32.8%	17.9%
文化・芸術	5.0%	27.6%	48.1%	12.0%	2.6%	4.5%	32.7%	14.7%
生活道路の整備	4.6%	27.6%	32.1%	20.6%	11.2%	3.7%	32.3%	31.9%
アウトドア・スポーツ	5.8%	26.2%	46.8%	11.8%	3.0%	6.3%	32.0%	14.8%
労働・雇用環境	3.6%	26.3%	49.1%	9.1%	6.5%	5.4%	29.9%	15.6%
地域福祉	4.6%	24.7%	52.5%	9.9%	4.2%	4.0%	29.4%	14.2%
市のHP・SNS	4.9%	24.3%	52.6%	8.1%	3.2%	6.9%	29.2%	11.2%
学校と地域・家庭の連携	3.2%	24.9%	56.1%	4.8%	1.7%	9.4%	28.0%	6.5%
介護支援	3.3%	24.5%	52.8%	11.2%	4.0%	4.2%	27.8%	15.2%
出産・子育て支援	3.3%	24.1%	51.3%	7.7%	4.6%	9.0%	27.4%	12.3%
高齢者福祉	3.6%	22.4%	51.1%	13.4%	5.7%	4.0%	25.9%	19.0%
工業振興	2.9%	21.0%	57.0%	8.5%	5.0%	5.6%	23.9%	13.5%
コミュニティ活動	2.5%	21.3%	60.4%	7.9%	2.2%	5.6%	23.8%	10.2%
防災対策	2.4%	19.2%	55.3%	14.6%	3.8%	4.8%	21.6%	18.4%
多様性の尊重	3.7%	17.5%	60.4%	9.8%	4.4%	4.2%	21.2%	14.2%
生涯学習	2.9%	17.6%	59.7%	8.6%	2.9%	8.3%	20.5%	11.5%
消費者保護	2.5%	17.6%	56.3%	13.1%	5.8%	4.6%	20.1%	18.9%
公共交通網	2.6%	17.1%	33.6%	23.5%	18.8%	4.4%	19.7%	42.3%
SDGs達成への取組	2.1%	17.5%	63.6%	5.2%	2.2%	9.4%	19.6%	7.4%
生活困窮者支援	2.9%	16.5%	59.4%	12.7%	4.0%	4.5%	19.4%	16.7%
地域の情報化	1.6%	17.9%	57.4%	11.6%	4.6%	6.9%	19.4%	16.3%
障がい者福祉	2.5%	16.4%	60.2%	11.6%	4.4%	4.9%	18.9%	16.0%
男女共同参画	2.8%	15.5%	62.6%	9.3%	5.2%	4.8%	18.3%	14.4%
防犯対策	2.2%	14.4%	58.2%	16.0%	4.4%	4.8%	16.7%	20.4%
効率的な行政運営	1.3%	15.2%	61.9%	9.1%	5.7%	6.7%	16.5%	14.8%
自然エネルギーの普及	3.2%	13.1%	65.6%	7.4%	5.7%	5.0%	16.3%	13.1%
ボランティア活動	1.6%	10.3%	73.5%	6.5%	2.1%	6.0%	11.9%	8.6%
市民参画	1.9%	9.1%	72.2%	7.7%	3.3%	5.8%	11.0%	11.0%
性的マイノリティ配慮	1.6%	6.7%	72.4%	9.3%	4.2%	5.8%	8.3%	13.5%

※四捨五入の関係上、内訳の和と合計値が一致しない場合がある。

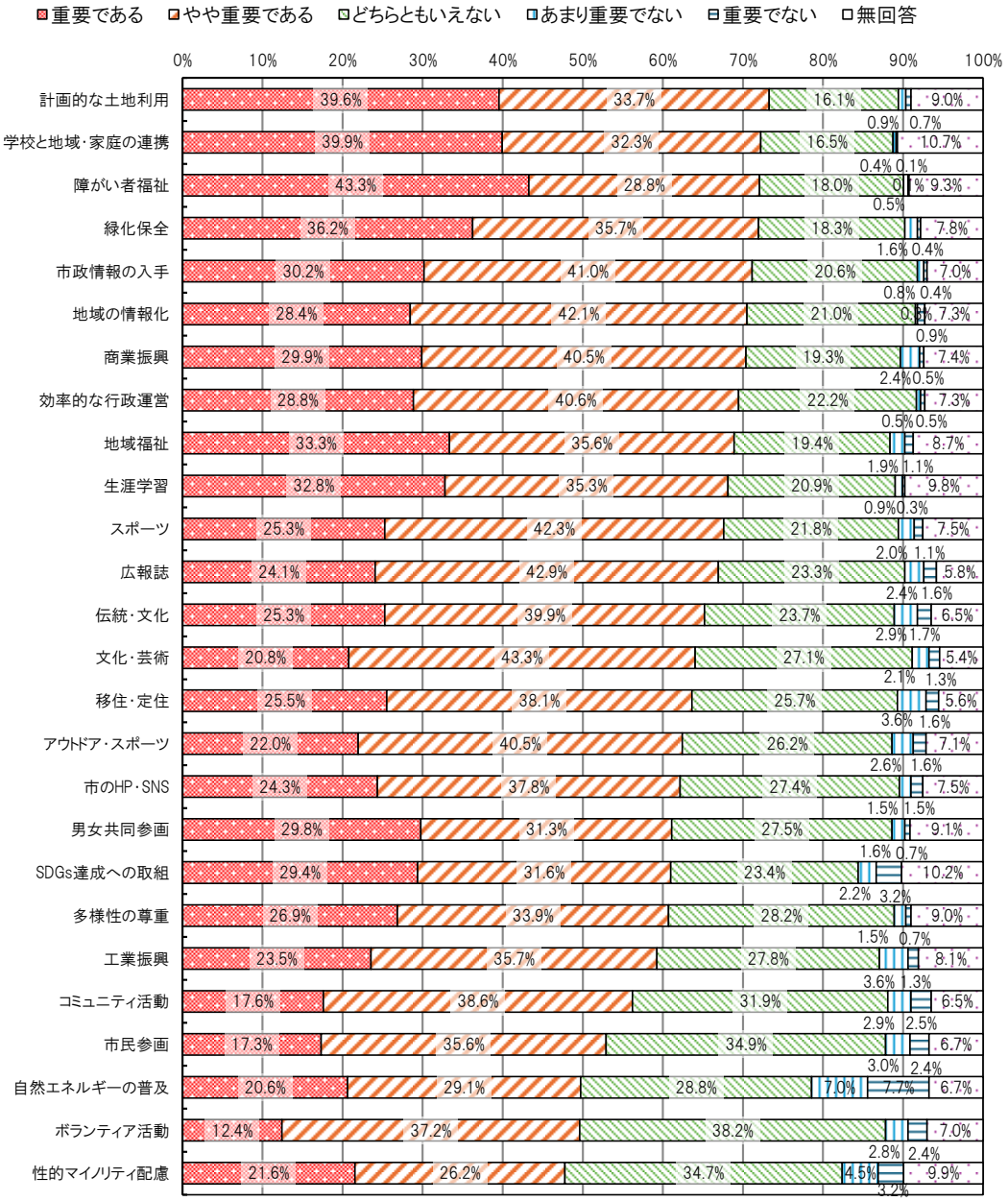
② 市の施策に対する今後の重要度

- 「重要である」と「やや重要である」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「安全な水利用」(87.4%)、「生活環境」(87.0%)、「医療体制」(86.6%)となっている。
- 一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合算した回答割合の上位3つは、「自然エネルギーの普及」(14.7%)、「性的マイノリティ配慮」(7.7%)、「SDGs 達成への取組」「コミュニティ活動」「市民参画」(各 5.4%)となっている。

図表 35 市の施策に対する今後の重要度



（※前ページからの続き）


重要である
やや重要である
どちらともいえない
あまり重要でない
重要でない
無回答
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
計画的な土地利用 39.6% 33.7% 16.1% 0.9% 0.7% 9.0%
学校と地域･家庭の連携 39.9% 32.3% 16.5% 0.4% 0.1% 10.7%
障がい者福祉 43.3% 28.8% 18.0% 0.5% 9.3%
緑化保全 36.2% 35.7% 18.3% 1.6% 0.4% 7.8%
市政情報の入手 30.2% 41.0% 20.6% 0.8% 0.4% 7.0%
地域の情報化 28.4% 42.1% 21.0% 0.9% 7.3%
商業振興 29.9% 40.5% 19.3% 2.4% 0.5% 7.4%
効率的な行政運営 28.8% 40.6% 22.2% 0.5% 0.5% 7.3%
地域福祉 33.3% 35.6% 19.4% 1.9% 1.1% 8.7%
生涯学習 32.8% 35.3% 20.9% 0.9% 0.3% 9.8%
スポーツ 25.3% 42.3% 21.8% 2.0% 1.1% 7.5%
広報誌 24.1% 42.9% 23.3% 2.4% 1.6% 5.8%
伝統･文化 25.3% 39.9% 23.7% 2.9% 1.7% 6.5%
文化･芸術 20.8% 43.3% 27.1% 2.1% 1.3% 5.4%
移住･定住 25.5% 38.1% 25.7% 3.6% 1.6% 5.6%
アウトドア･スポーツ 22.0% 40.5% 26.2% 2.6% 1.6% 7.1%
市のHP･SNS 24.3% 37.8% 27.4% 1.5% 1.5% 7.5%
男女共同参画 29.8% 31.3% 27.5% 1.6% 0.7% 9.1%
SDGs達成への取組 29.4% 31.6% 23.4% 2.2% 3.2% 10.2%
多様性の尊重 26.9% 33.9% 28.2% 1.5% 0.7% 9.0%
工業振興 23.5% 35.7% 27.8% 3.6% 1.3% 8.1%
コミュニティ活動 17.6% 38.6% 31.9% 2.9% 2.5% 6.5%
市民参画 17.3% 35.6% 34.9% 3.0% 2.4% 6.7%
自然エネルギーの普及 20.6% 29.1% 28.8% 7.0% 7.7% 6.7%
ボランティア活動 12.4% 37.2% 38.2% 2.8% 2.4% 7.0%
性的マイノリティ配慮 21.6% 26.2% 34.7% 4.5% 3.2% 9.9%

図表 36 市の施策に対する現状の重要度一覧（数値一覧）

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要である +やや重要である	重要でない +あまり重要でない
安全な水利用	68.1%	19.3%	4.5%	0.5%	0.0%	7.5%	87.4%	0.5%
生活環境	69.0%	18.0%	5.6%	0.5%	0.1%	6.7%	87.0%	0.7%
医療体制	62.7%	23.9%	4.4%	0.3%	0.0%	8.7%	86.6%	0.3%
防災対策	62.0%	23.1%	7.7%	0.3%	0.1%	6.7%	85.2%	0.4%
防犯対策	54.0%	31.2%	8.1%	0.0%	0.1%	6.6%	85.2%	0.1%
観光振興	51.2%	33.1%	8.6%	0.7%	0.5%	6.0%	84.3%	1.2%
自然環境	56.3%	27.8%	8.7%	0.3%	0.4%	6.5%	84.1%	0.7%
消費者保護	54.5%	29.4%	9.5%	0.3%	0.1%	6.2%	83.9%	0.4%
交通安全	49.7%	33.7%	9.4%	0.4%	0.4%	6.3%	83.5%	0.8%
生活道路の整備	48.5%	34.7%	8.3%	0.5%	0.0%	7.9%	83.2%	0.5%
幹線道路の整備	46.0%	36.8%	8.7%	0.5%	0.0%	7.9%	82.8%	0.5%
農業振興	53.6%	29.0%	9.1%	0.1%	0.1%	8.1%	82.5%	0.3%
特産品の創出	42.2%	39.2%	11.4%	0.7%	0.5%	6.1%	81.3%	1.2%
公共交通網	48.0%	32.4%	11.0%	0.5%	0.1%	7.9%	80.4%	0.7%
景観保全	47.6%	31.1%	11.9%	0.9%	0.5%	7.9%	78.7%	1.5%
出産・子育て支援	58.3%	19.7%	12.0%	0.0%	0.3%	9.7%	78.0%	0.3%
介護支援	48.3%	29.0%	12.4%	0.7%	0.4%	9.3%	77.2%	1.1%
健康づくり	43.4%	33.7%	12.6%	0.8%	0.1%	9.4%	77.1%	0.9%
ごみの減量	48.7%	27.9%	14.2%	1.2%	1.5%	6.6%	76.6%	2.6%
高齢者福祉	45.0%	31.1%	13.1%	1.1%	0.8%	9.0%	76.1%	1.9%
生活困窮者支援	43.9%	32.1%	14.6%	0.4%	0.3%	8.7%	76.1%	0.7%
地域ブランド	42.3%	33.7%	14.4%	2.0%	0.7%	6.9%	76.1%	2.6%
学校教育の充実	48.3%	26.3%	14.4%	0.3%	0.0%	10.7%	74.6%	0.3%
労働・雇用環境	41.7%	32.5%	16.9%	0.8%	0.4%	7.7%	74.2%	1.2%
公園・緑地整備	34.8%	39.2%	16.7%	1.3%	0.7%	7.4%	73.9%	2.0%
シビックプライド	40.2%	33.5%	16.5%	1.9%	1.1%	6.9%	73.7%	2.9%
計画的な土地利用	39.6%	33.7%	16.1%	0.9%	0.7%	9.0%	73.3%	1.6%
学校と地域・家庭の連携	39.9%	32.3%	16.5%	0.4%	0.1%	10.7%	72.2%	0.5%
障がい者福祉	43.3%	28.8%	18.0%	0.5%	0.1%	9.3%	72.1%	0.7%
緑化保全	36.2%	35.7%	18.3%	1.6%	0.4%	7.8%	72.0%	2.0%
市政情報の入手	30.2%	41.0%	20.6%	0.8%	0.4%	7.0%	71.2%	1.2%
地域の情報化	28.4%	42.1%	21.0%	0.3%	0.9%	7.3%	70.5%	1.2%
商業振興	29.9%	40.5%	19.3%	2.4%	0.5%	7.4%	70.4%	2.9%
効率的な行政運営	28.8%	40.6%	22.2%	0.5%	0.5%	7.3%	69.4%	1.1%
地域福祉	33.3%	35.6%	19.4%	1.9%	1.1%	8.7%	68.9%	2.9%
生涯学習	32.8%	35.3%	20.9%	0.9%	0.3%	9.8%	68.1%	1.2%
スポーツ	25.3%	42.3%	21.8%	2.0%	1.1%	7.5%	67.6%	3.0%
広報誌	24.1%	42.9%	23.3%	2.4%	1.6%	5.8%	66.9%	4.0%
伝統・文化	25.3%	39.9%	23.7%	2.9%	1.7%	6.5%	65.2%	4.6%
文化・芸術	20.8%	43.3%	27.1%	2.1%	1.3%	5.4%	64.0%	3.4%
移住・定住	25.5%	38.1%	25.7%	3.6%	1.6%	5.6%	63.6%	5.2%
アウトドア・スポーツ	22.0%	40.5%	26.2%	2.6%	1.6%	7.1%	62.4%	4.2%
市のHP・SNS	24.3%	37.8%	27.4%	1.5%	1.5%	7.5%	62.2%	2.9%
男女共同参画	29.8%	31.3%	27.5%	1.6%	0.7%	9.1%	61.1%	2.2%
SDGs達成への取組	29.4%	31.6%	23.4%	2.2%	3.2%	10.2%	61.0%	5.4%
多様性の尊重	26.9%	33.9%	28.2%	1.5%	0.7%	9.0%	60.7%	2.1%
工業振興	23.5%	35.7%	27.8%	3.6%	1.3%	8.1%	59.3%	4.9%
コミュニティ活動	17.6%	38.6%	31.9%	2.9%	2.5%	6.5%	56.2%	5.4%
市民参画	17.3%	35.6%	34.9%	3.0%	2.4%	6.7%	52.9%	5.4%
自然エネルギーの普及	20.6%	29.1%	28.8%	7.0%	7.7%	6.7%	49.7%	14.7%
ボランティア活動	12.4%	37.2%	38.2%	2.8%	2.4%	7.0%	49.6%	5.2%
性的マイノリティ配慮	21.6%	26.2%	34.7%	4.5%	3.2%	9.9%	47.8%	7.7%

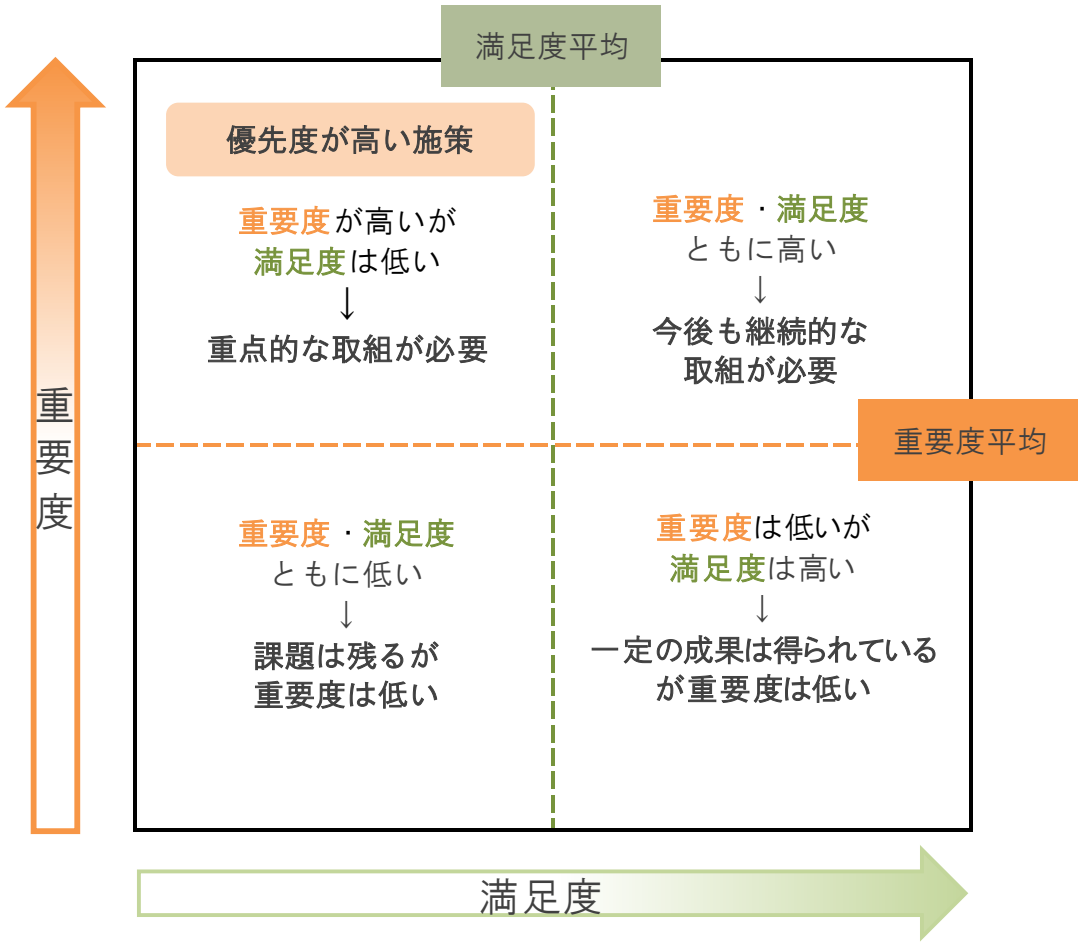
※四捨五入の関係上、内訳の和と合計値が一致しない場合がある。

③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

- マトリクス作成方法
  - 市の施策 17 分野 52 項目について、「現状の満足度」（以下、「満足度」という）と「今後の重要度」（以下、「重要度」という）の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。（ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。）
  - 全 52 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

満足度	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	4	3	2	1

- マトリクスの見方
  - 満足度【横方向】：市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、住民からの評価が高い。
  - 重要度【縦方向】：住民が考える各施策の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



Ⅰ．全体

- 全 52 施策の満足度･重要度それぞれの平均値によって各施策を4象限へプロットした。
- 「医療･福祉･人権」や「防災･防犯」、「都市基盤」分野を中心とする 14 施策が、優先度が高い施策（重要度が高いが満足度は低い施策）として分類された。

図表 37 マトリクス分析結果一覧

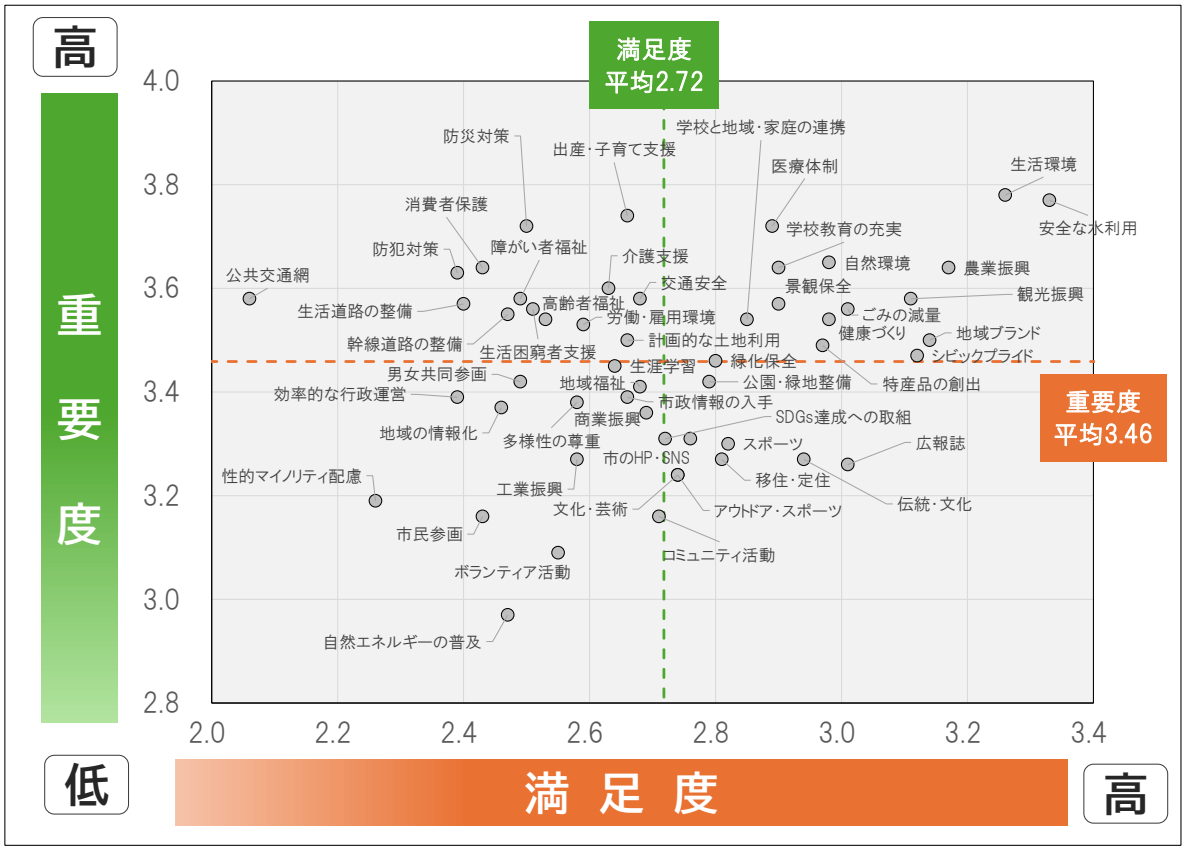
分野	施策名（略称）	重要度：高い 満足度：高い	重要度：高い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：高い
自然環境	自然環境	●			
	生活環境	●			
	自然エネルギーの普及			●	
	ごみの減量	●			
医療・福祉・人権	健康づくり	●			
	医療体制	●			
	地域福祉			●	
	障がい者福祉		●		
	高齢者福祉		●		
	介護支援		●		
	生活困窮者支援		●		
	男女共同参画			●	
	多様性の尊重			●	
	性的マイノリティ配慮			●	
子育て支援	出産・子育て支援		●		
スポーツ	スポーツ				●
	アウトドア・スポーツ				●
教育・学習	学校教育の充実	●			
	学校と地域・家庭の連携	●			
	生涯学習			●	
地域の伝統	伝統・文化				●
文化・芸術	文化・芸術				●
防災・防犯	防災対策		●		
	交通安全		●		
	防犯対策		●		
	消費者保護		●		
都市基盤	計画的な土地利用		●		
	景観保全	●			
	緑化保全	●			
	公園・緑地整備				●
	幹線道路の整備		●		
	生活道路の整備		●		
	公共交通網		●		
	安全な水利用	●			
農林水産業	農業振興	●			
経済活動	商業振興			●	
	工業振興			●	
	労働・雇用環境		●		
観光	観光振興	●			
	特産品の創出	●			
地域ブランド	地域ブランド	●			
	シビックプライド	●			
移住・定住	移住・定住				●
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動			●	
	ボランティア活動			●	
	市民参画			●	
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化			●	
	効率的な行政運営			●	
	市政情報の入手			●	
	広報誌				●
	市のHP・SNS				●
SDGs	SDGs達成への取組				●

優先度が高い施策

（ｉ）重要度×満足度マトリクス分析【全体】

- 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策）として区分されているものは、52 施策中 14 施策となった。
- 14 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「子育て支援」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 38 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 39 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【全体】）

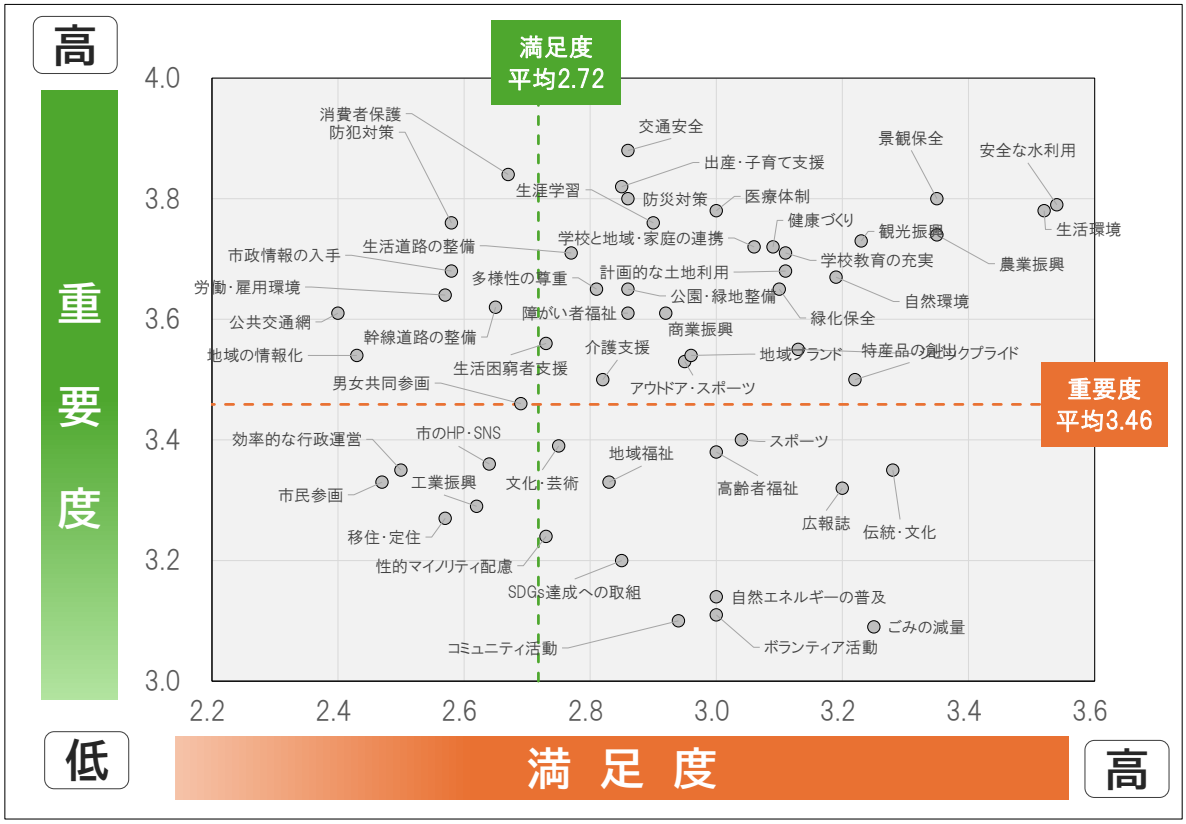
分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.49	3.58
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.53	3.54
医療・福祉・人権	介護支援	2.63	3.60
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.51	3.56
子育て支援	出産・子育て支援	2.66	3.74
防災・防犯	防災対策	2.50	3.72
防災・防犯	交通安全	2.68	3.58
防災・防犯	防犯対策	2.39	3.63
防災・防犯	消費者保護	2.43	3.64
都市基盤	計画的な土地利用	2.66	3.50
都市基盤	幹線道路の整備	2.47	3.55
都市基盤	生活道路の整備	2.40	3.57
都市基盤	公共交通網	2.06	3.58
経済活動	労働・雇用環境	2.59	3.53

Ⅱ. 年代別

（ｉ）重要度×満足度マトリクス分析【18～20 代以下】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中8施策であり、分野ごとにみると、「防災・防犯」、「都市基盤」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ2施策、「医療・福祉・人権」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 40 満足度×重要度マトリクス分析【18～20 代以下】



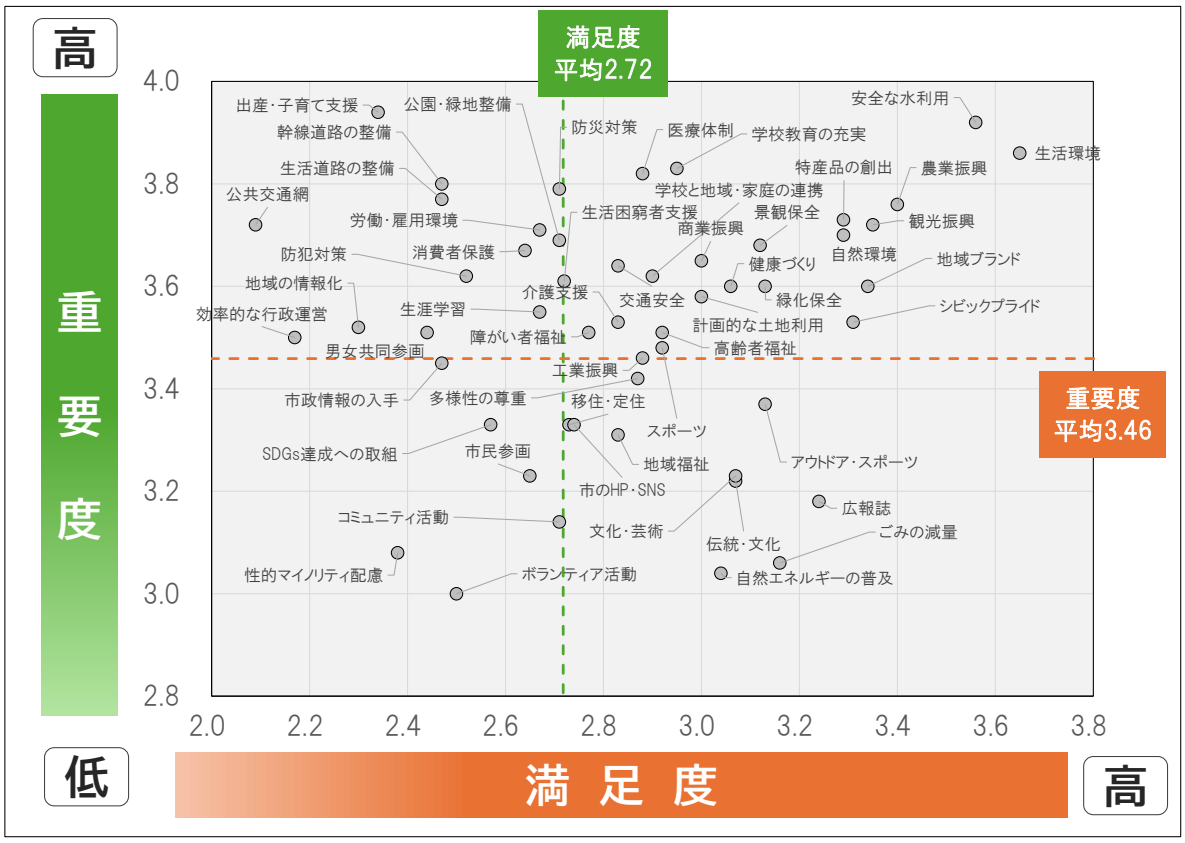
図表 41 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【18～20 代以下】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	男女共同参画	2.69	3.46
防災・防犯	防犯対策	2.58	3.76
防災・防犯	消費者保護	2.67	3.84
都市基盤	幹線道路の整備	2.65	3.62
都市基盤	公共交通網	2.40	3.61
経済活動	労働・雇用環境	2.57	3.64
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.43	3.54
デジタル社会・行政サービス	市政情報の入手	2.58	3.68

（ⅱ）重要度×満足度マトリクス分析【30 代】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、「都市基盤」が4施策、「防災・防犯」が3施策、「デジタル社会・行政サービス」が2施策、「医療・福祉・人権」、「子育て支援」、「教育・学習」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 42 満足度×重要度マトリクス分析【30 代】



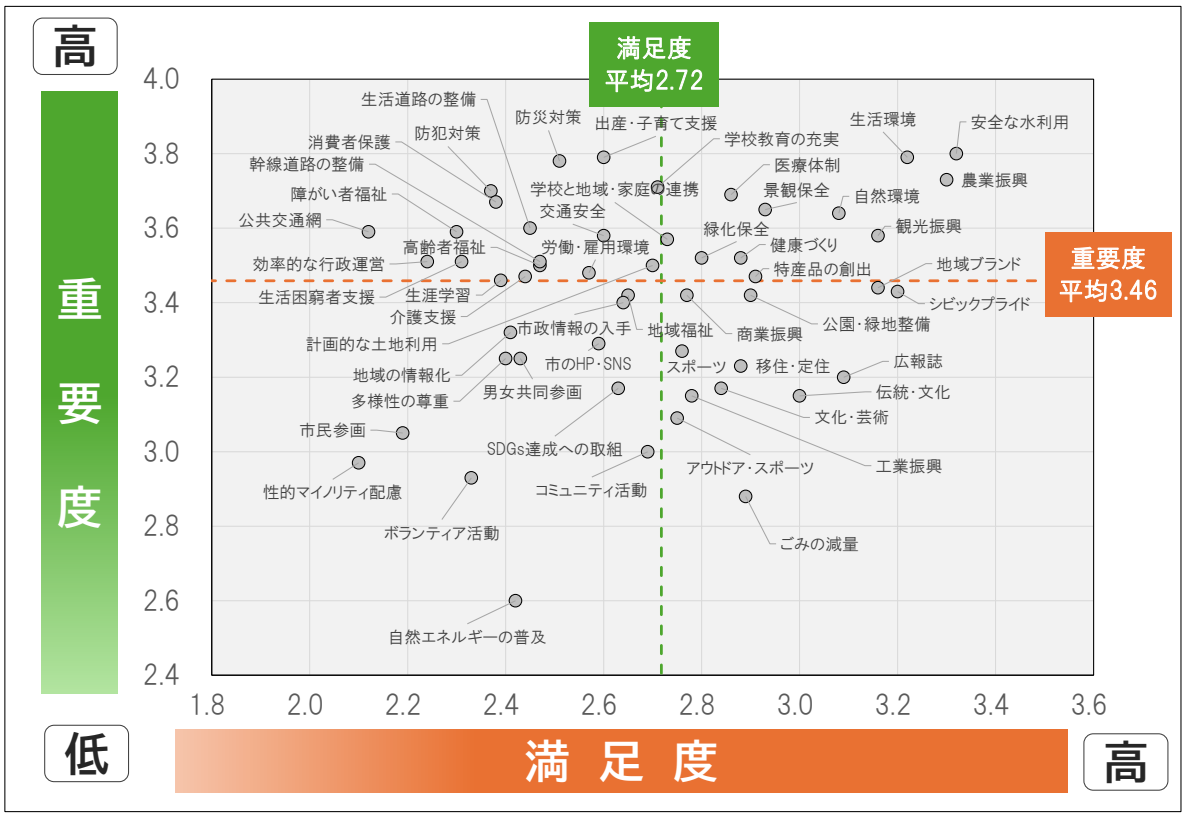
図表 43 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【30 代】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	男女共同参画	2.44	3.51
子育て支援	出産・子育て支援	2.34	3.94
教育・学習	生涯学習	2.67	3.55
防災・防犯	防災対策	2.71	3.79
防災・防犯	防犯対策	2.52	3.62
防災・防犯	消費者保護	2.64	3.67
都市基盤	公園・緑地整備	2.71	3.69
都市基盤	幹線道路の整備	2.47	3.80
都市基盤	生活道路の整備	2.47	3.77
都市基盤	公共交通網	2.09	3.72
経済活動	労働・雇用環境	2.67	3.71
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.30	3.52
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.17	3.50

（ⅲ）重要度×満足度マトリクス分析【40 代】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 17 施策であり、分野ごとにみると、「医療･福祉･人権」、「防災･防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「教育･学習」が2施策、「子育て支援」、「経済活動」、「デジタル社会･行政サービス」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 44 満足度×重要度マトリクス分析【40 代】



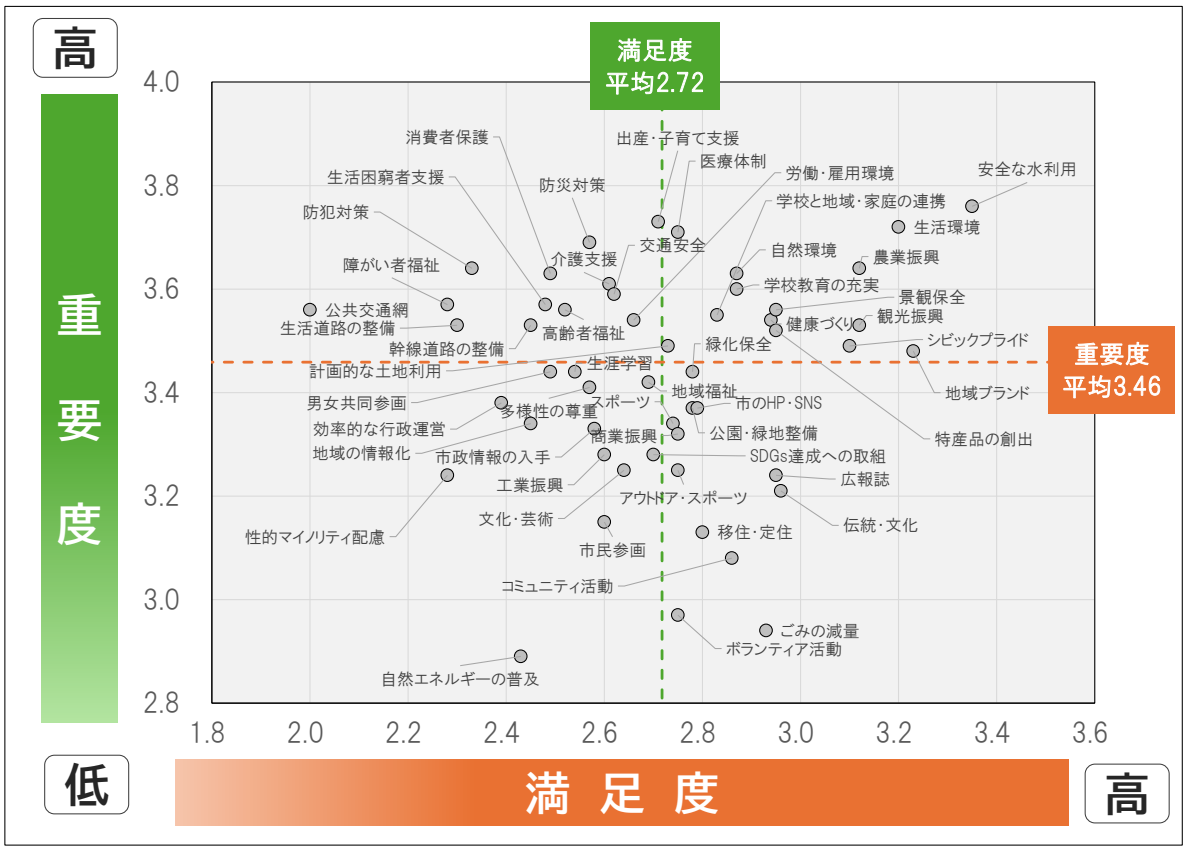
図表 45 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【40 代】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.30	3.59
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.47	3.50
医療・福祉・人権	介護支援	2.44	3.47
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.31	3.51
子育て支援	出産・子育て支援	2.60	3.79
教育・学習	学校教育の充実	2.71	3.71
教育・学習	生涯学習	2.39	3.46
防災・防犯	防災対策	2.51	3.78
防災・防犯	交通安全	2.60	3.58
防災・防犯	防犯対策	2.37	3.70
防災・防犯	消費者保護	2.38	3.67
都市基盤	計画的な土地利用	2.70	3.50
都市基盤	幹線道路の整備	2.47	3.51
都市基盤	生活道路の整備	2.45	3.60
都市基盤	公共交通網	2.12	3.59
経済活動	労働・雇用環境	2.57	3.48
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.24	3.51

（ⅳ）重要度×満足度マトリクス分析【50 代】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「防災・防犯」がそれぞれ4施策、「都市基盤」が3施策、「子育て支援」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 46 満足度×重要度マトリクス分析【50 代】



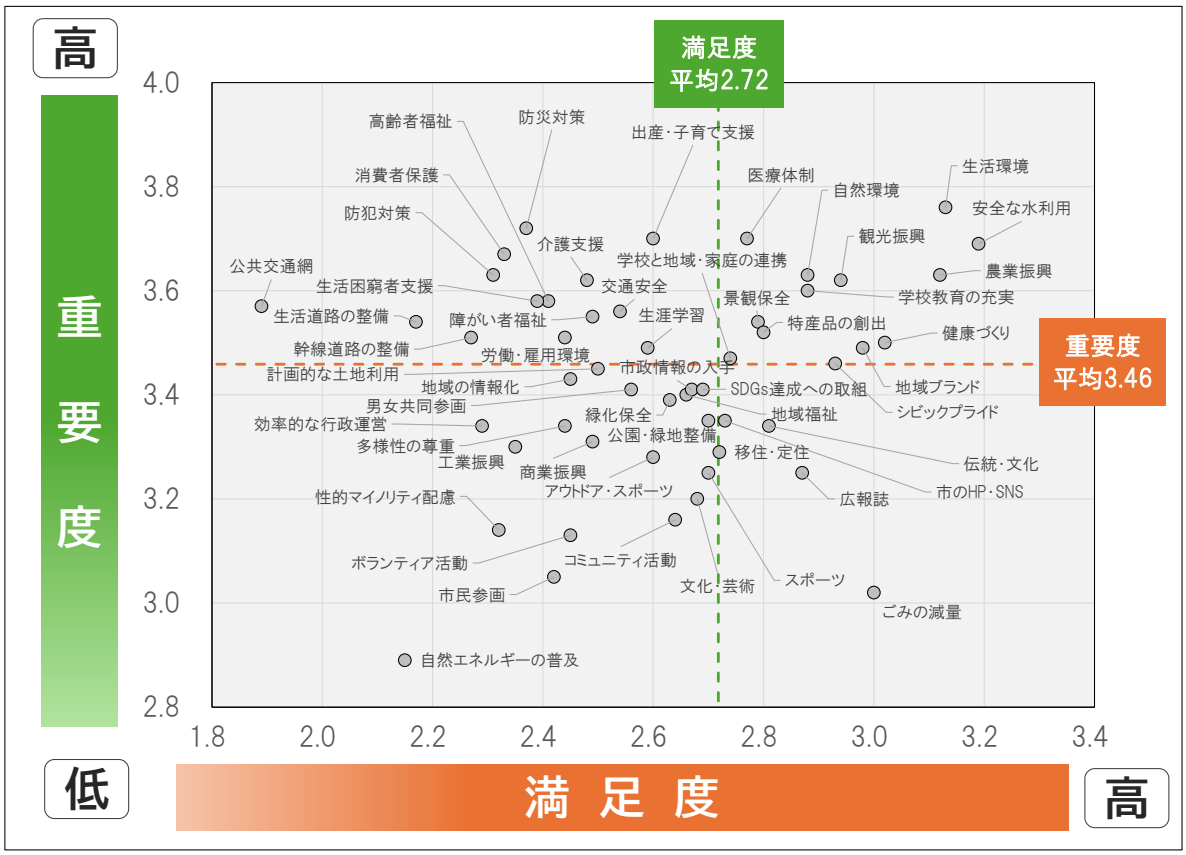
図表 47 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【50 代】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.28	3.57
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.52	3.56
医療・福祉・人権	介護支援	2.61	3.61
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.48	3.57
子育て支援	出産・子育て支援	2.71	3.73
防災・防犯	防災対策	2.57	3.69
防災・防犯	交通安全	2.62	3.59
防災・防犯	防犯対策	2.33	3.64
防災・防犯	消費者保護	2.49	3.63
都市基盤	幹線道路の整備	2.45	3.53
都市基盤	生活道路の整備	2.30	3.53
都市基盤	公共交通網	2.00	3.56
経済活動	労働・雇用環境	2.66	3.54

（ｖ）重要度×満足度マトリクス分析【60 代】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 14 施策であり、分野ごとにみると、「医療･福祉･人権」、「防災･防犯」がそれぞれ4施策、「都市基盤」が3施策、「子育て支援」、「教育･学習」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 48 満足度×重要度マトリクス分析【60 代】



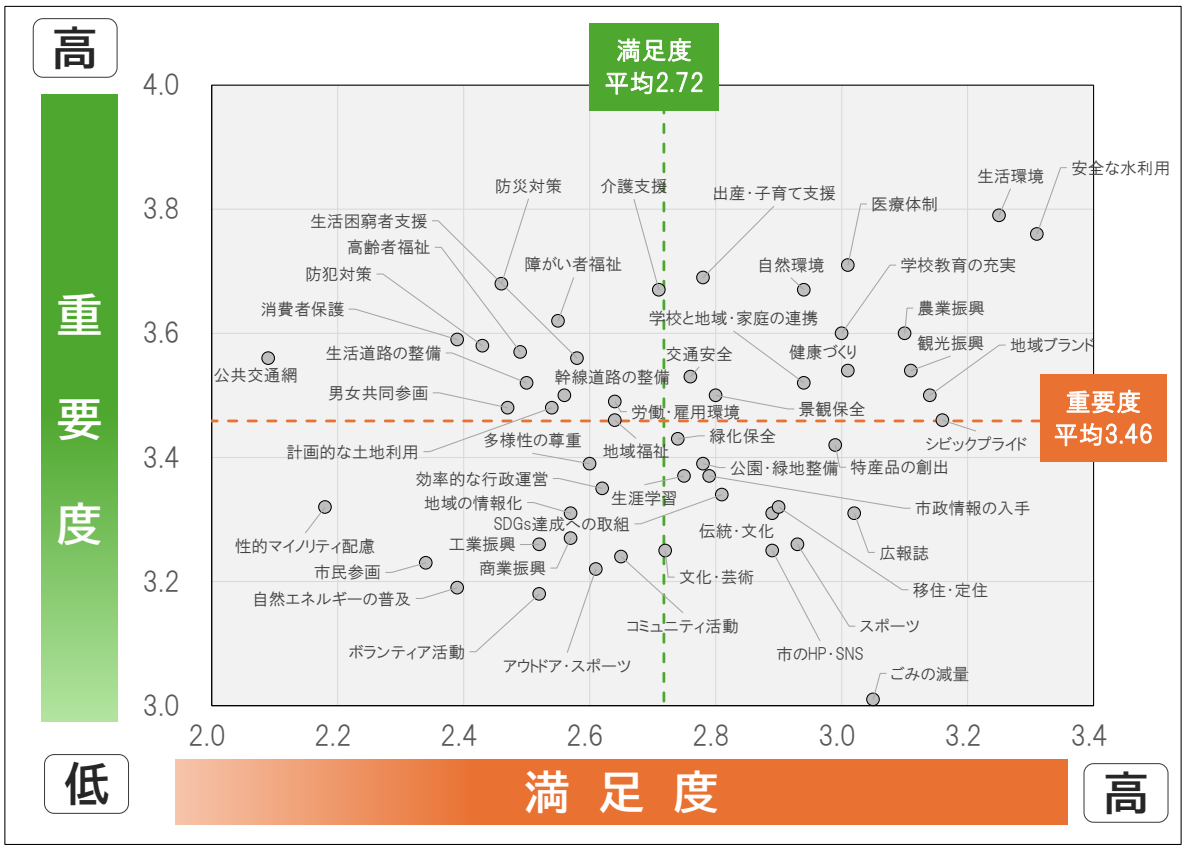
図表 49 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【60 代】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.49	3.55
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.41	3.58
医療・福祉・人権	介護支援	2.48	3.62
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.39	3.58
子育て支援	出産・子育て支援	2.60	3.70
教育・学習	生涯学習	2.59	3.49
防災・防犯	防災対策	2.37	3.72
防災・防犯	交通安全	2.54	3.56
防災・防犯	防犯対策	2.31	3.63
防災・防犯	消費者保護	2.33	3.67
都市基盤	幹線道路の整備	2.27	3.51
都市基盤	生活道路の整備	2.17	3.54
都市基盤	公共交通網	1.89	3.57
経済活動	労働・雇用環境	2.44	3.51

（vi）重要度×満足度マトリクス分析【70 代以上】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 14 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が6施策、「都市基盤」が4施策、「防災・防犯」が3施策、「経済活動」が1施策となっている。

図表 50 満足度×重要度マトリクス分析【70 代以上】



図表 51 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【70 代以上】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.64	3.46
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.55	3.62
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.49	3.57
医療・福祉・人権	介護支援	2.71	3.67
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.58	3.56
医療・福祉・人権	男女共同参画	2.47	3.48
防災・防犯	防災対策	2.46	3.68
防災・防犯	防犯対策	2.43	3.58
防災・防犯	消費者保護	2.39	3.59
都市基盤	計画的な土地利用	2.54	3.48
都市基盤	幹線道路の整備	2.56	3.50
都市基盤	生活道路の整備	2.50	3.52
都市基盤	公共交通網	2.09	3.56
経済活動	労働・雇用環境	2.64	3.49

（vii）重要度×満足度マトリクス分析【年代別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを年代別にみると、「防犯対策」、「消費者保護」、「幹線道路の整備」、「公共交通網」および「労働・雇用環境」の5施策は全年代で共通している。

図表 52 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

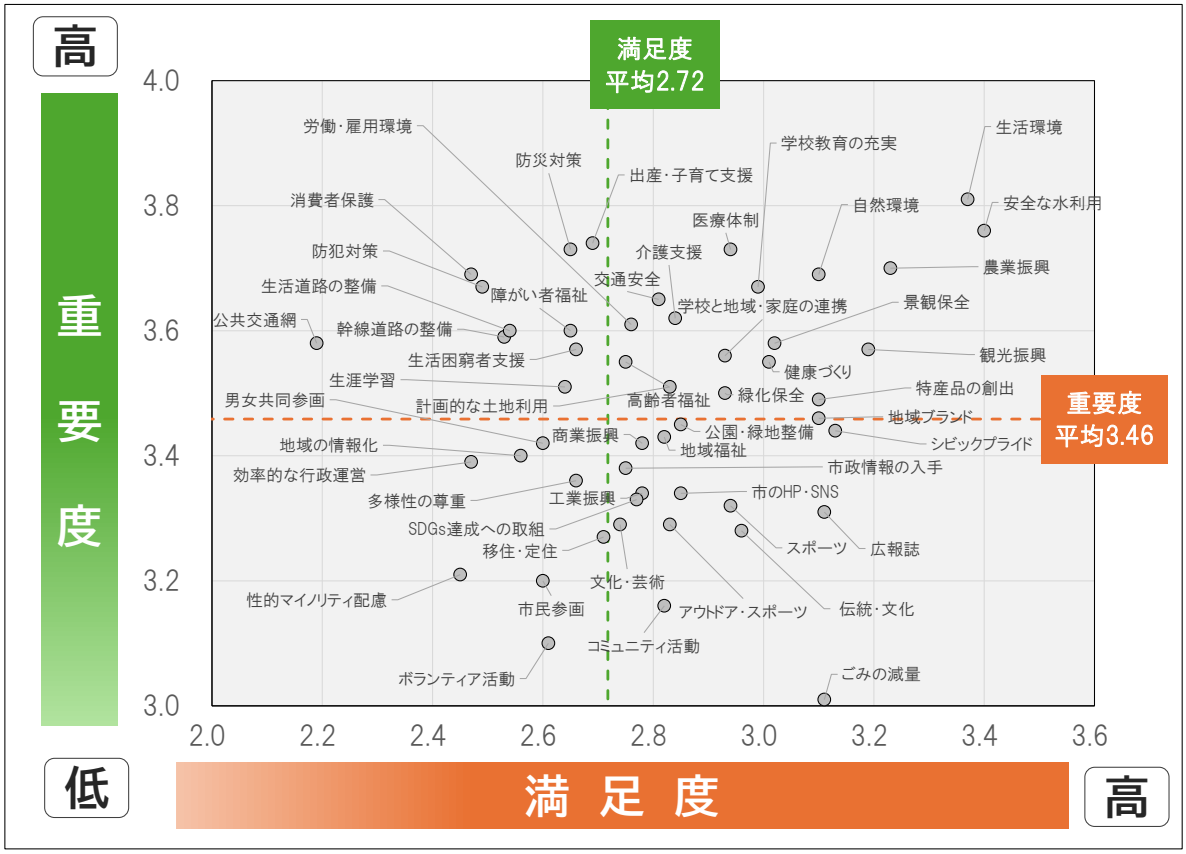
分野	施策名（略称）	全体	18~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
自然環境	自然環境							
	生活環境							
	自然エネルギーの普及							
	ごみの減量							
医療・福祉・人権	健康づくり							
	医療体制							
	地域福祉							○
	障がい者福祉	●			●	●	●	●
	高齢者福祉	●			●	●	●	●
	介護支援	●			●	●	●	●
	生活困窮者支援	●			●	●	●	●
	男女共同参画		○	○				○
	多様性の尊重							
	性的マイノリティ配慮							
子育て支援	出産・子育て支援	●		●	●	●	●	
スポーツ	スポーツ							
	アウトドア・スポーツ							
教育・学習	学校教育の充実				○			
	学校と地域・家庭の連携							
	生涯学習			○	○		○	
地域の伝統	伝統・文化							
文化・芸術	文化・芸術							
防災・防犯	防災対策	●		●	●	●	●	●
	交通安全	●			●	●	●	
	防犯対策	●	●	●	●	●	●	●
	消費者保護	●	●	●	●	●	●	●
都市基盤	計画的な土地利用	●			●			●
	景観保全							
	緑化保全							
	公園・緑地整備			○				
	幹線道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
	生活道路の整備	●		●	●	●	●	●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●	●
	安全な水利用							
農林水産業	農業振興							
経済活動	商業振興							
	工業振興							
	労働・雇用環境	●	●	●	●	●	●	●
観光	観光振興							
	特産品の創出							
地域ブランド	地域ブランド							
	シビックプライド							
移住・定住	移住・定住							
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動							
	ボランティア活動							
	市民参画							
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化		○	○				
	効率的な行政運営			○	○			
	市政情報の入手		○					
	広報誌							
	市のHP・SNS							
SDGs	SDGs達成への取組							

Ⅲ. 地域別

（ｉ）重要度×満足度マトリクス分析【豊科】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 10 施策であり、分野ごとにみると「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ3施策、「医療・福祉・人権」が2施策、「子育て支援」、「教育・学習」がそれぞれ1施策となっている。

図表 53 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



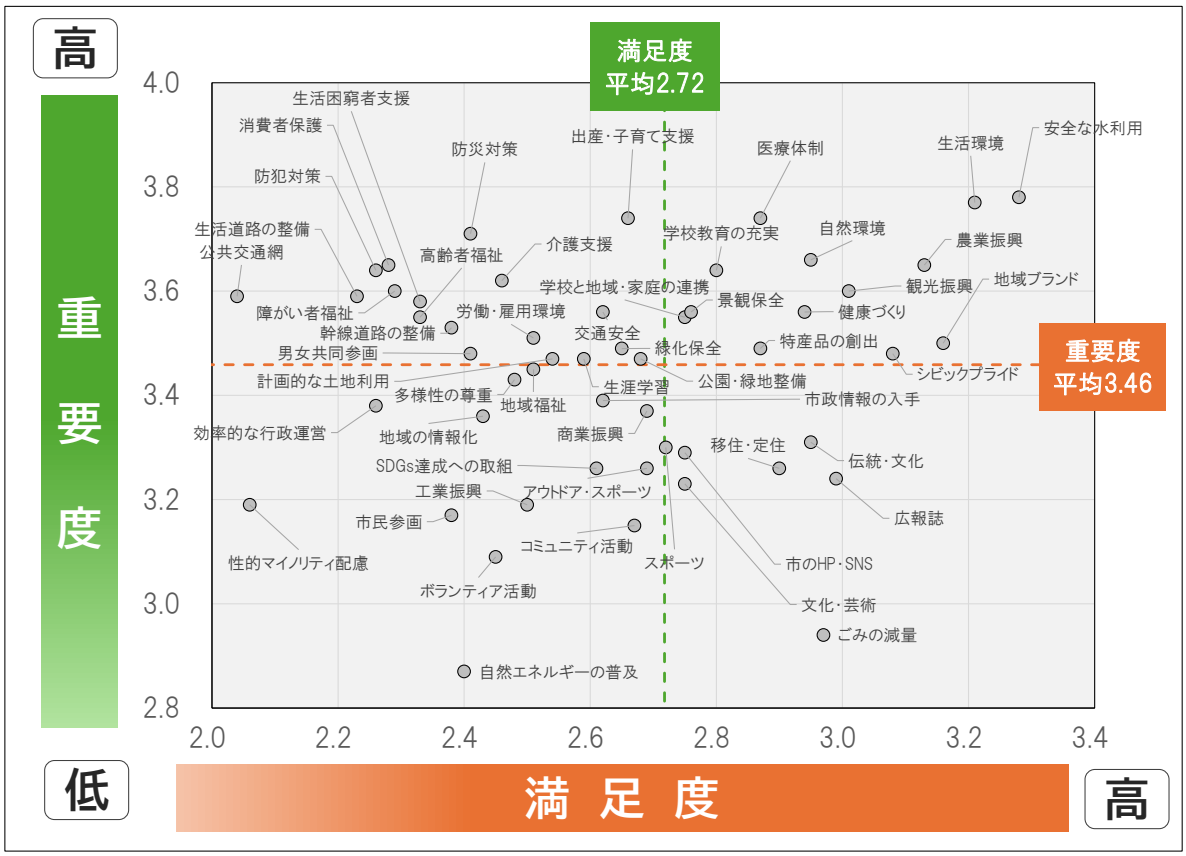
図表 54 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【豊科】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.65	3.60
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.66	3.57
子育て支援	出産・子育て支援	2.69	3.74
教育・学習	生涯学習	2.64	3.51
防災・防犯	防災対策	2.65	3.73
防災・防犯	防犯対策	2.49	3.67
防災・防犯	消費者保護	2.47	3.69
都市基盤	幹線道路の整備	2.53	3.59
都市基盤	生活道路の整備	2.54	3.60
都市基盤	公共交通網	2.19	3.58

（ⅱ）重要度×満足度マトリクス分析【穂高】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 18 施策であり、「都市基盤」が6施策、「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」が4施策、「子育て支援」、「教育・学習」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 55 重要度×満足度マトリクス分析【穂高】



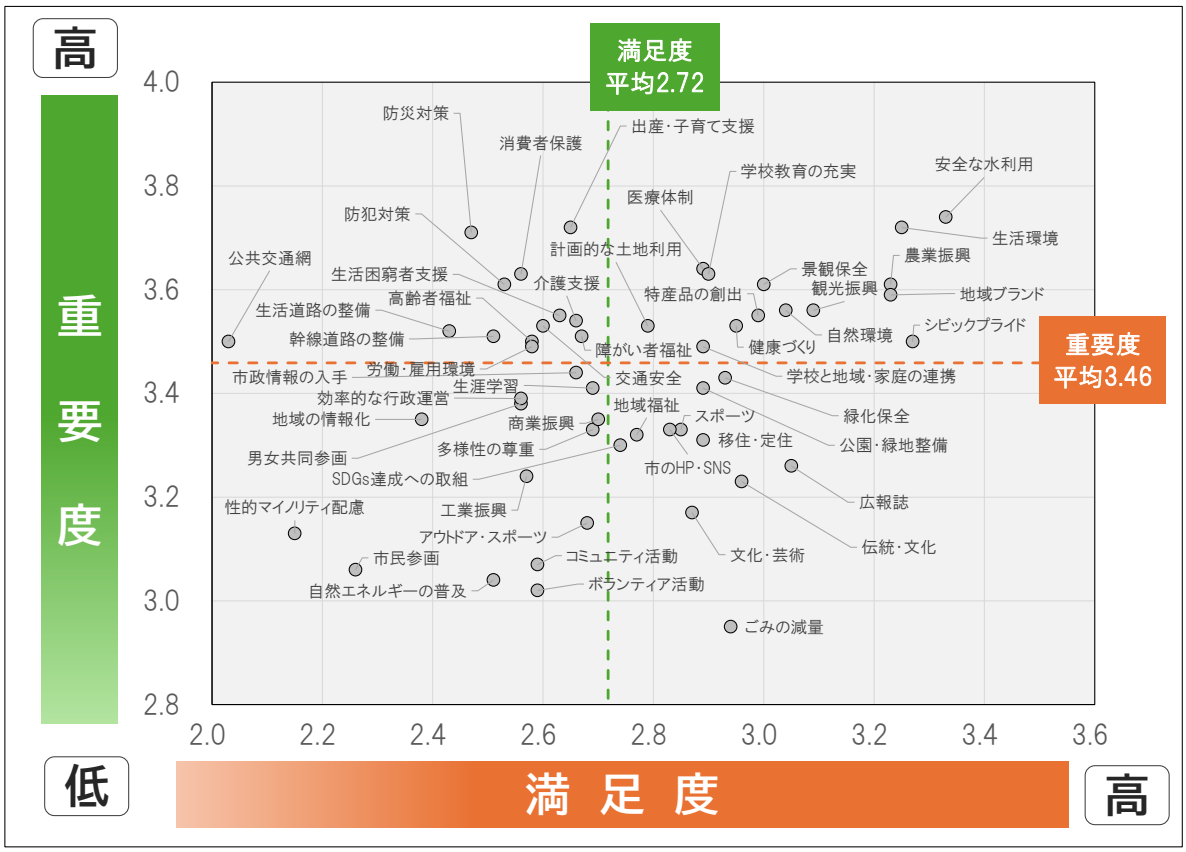
図表 56 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【穂高】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.29	3.60
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.33	3.55
医療・福祉・人権	介護支援	2.46	3.62
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.33	3.58
医療・福祉・人権	男女共同参画	2.41	3.48
子育て支援	出産・子育て支援	2.66	3.74
教育・学習	生涯学習	2.59	3.47
防災・防犯	防災対策	2.41	3.71
防災・防犯	交通安全	2.62	3.56
防災・防犯	防犯対策	2.26	3.64
防災・防犯	消費者保護	2.28	3.65
都市基盤	計画的な土地利用	2.54	3.47
都市基盤	緑化保全	2.65	3.49
都市基盤	公園・緑地整備	2.68	3.47
都市基盤	幹線道路の整備	2.38	3.53
都市基盤	生活道路の整備	2.23	3.59
都市基盤	公共交通網	2.04	3.59
経済活動	労働・雇用環境	2.51	3.51

（ⅲ）重要度×満足度マトリクス分析【三郷】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると、「医療･福祉･人権」、「防災･防犯」がそれぞれ4施策、「都市基盤」が3施策、「子育て支援」、「経済活動」がそれぞれ 1 施策となっている。

図表 57 重要度×満足度マトリクス分析【三郷】



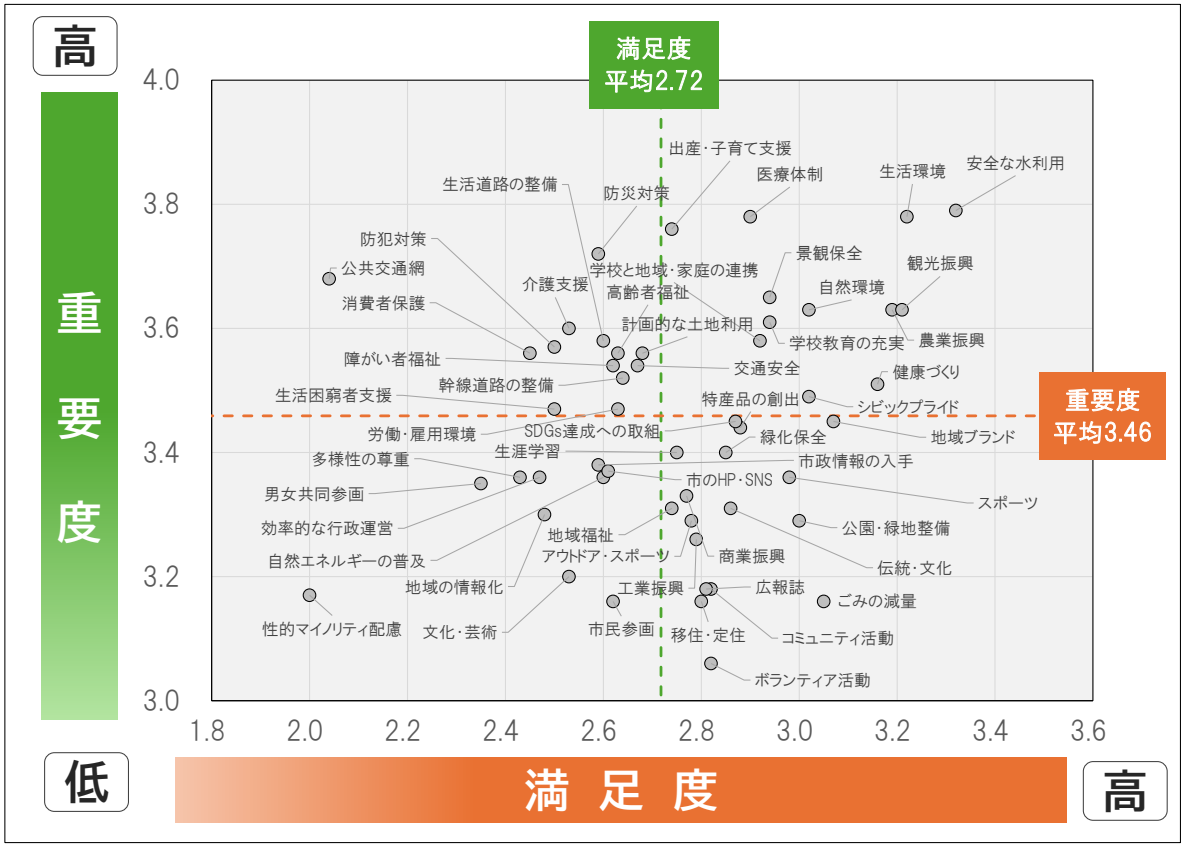
図表 58 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【三郷】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.67	3.51
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.58	3.50
医療・福祉・人権	介護支援	2.66	3.54
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.63	3.55
子育て支援	出産・子育て支援	2.65	3.72
防災・防犯	防災対策	2.47	3.71
防災・防犯	交通安全	2.60	3.53
防災・防犯	防犯対策	2.53	3.61
防災・防犯	消費者保護	2.56	3.63
都市基盤	幹線道路の整備	2.51	3.51
都市基盤	生活道路の整備	2.43	3.52
都市基盤	公共交通網	2.03	3.50
経済活動	労働・雇用環境	2.58	3.49

（ⅳ）重要度×満足度マトリクス分析【堀金】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「経済活動」が 1 施策となっている。

図表 59 重要度×満足度マトリクス分析【堀金】



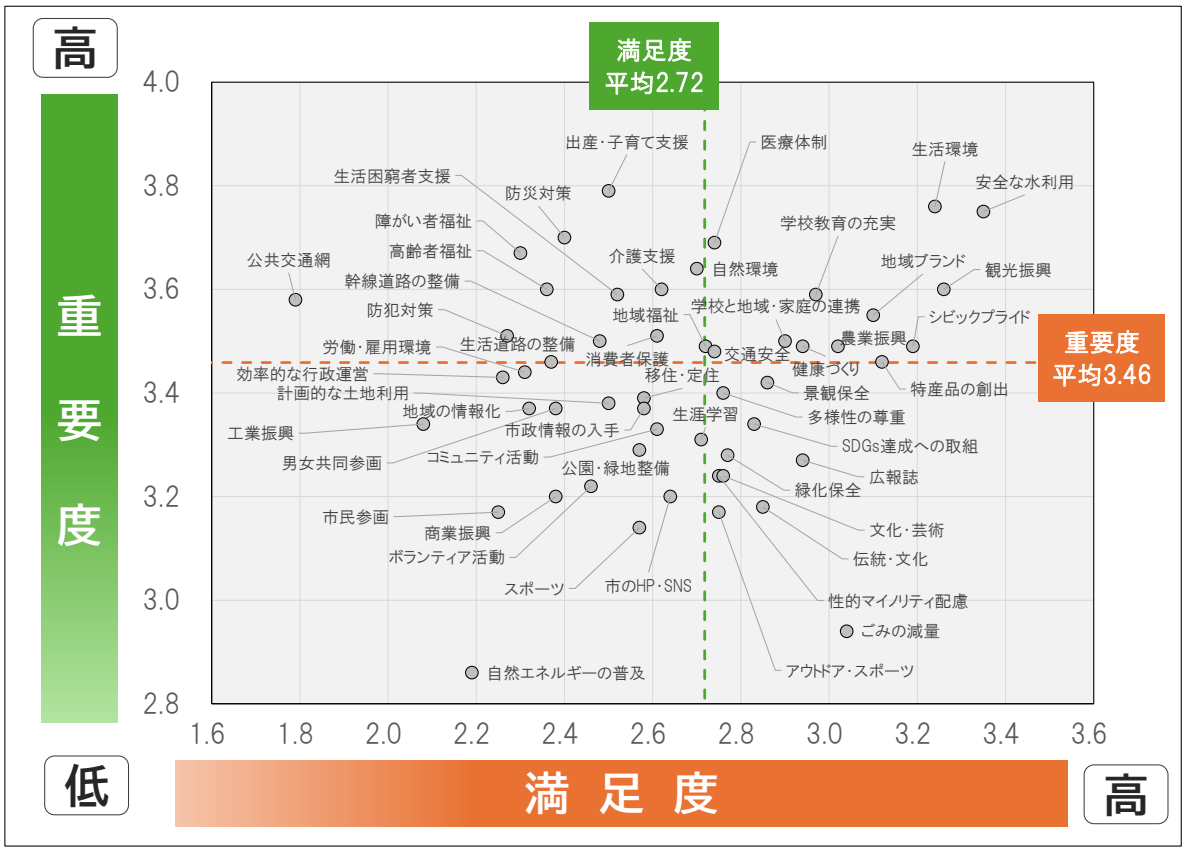
図表 60 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【堀金】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.62	3.54
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.63	3.56
医療・福祉・人権	介護支援	2.53	3.60
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.50	3.47
防災・防犯	防災対策	2.59	3.72
防災・防犯	交通安全	2.67	3.54
防災・防犯	防犯対策	2.50	3.57
防災・防犯	消費者保護	2.45	3.56
都市基盤	計画的な土地利用	2.68	3.56
都市基盤	幹線道路の整備	2.64	3.52
都市基盤	生活道路の整備	2.60	3.58
都市基盤	公共交通網	2.04	3.68
経済活動	労働・雇用環境	2.63	3.47

（ｖ）重要度×満足度マトリクス分析【明科】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 12 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が4施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ3施策、「自然環境」、「子育て支援」がそれぞれ1施策となっている。

図表 61 重要度×満足度マトリクス分析【明科】



図表 62 今後重点的に取り組むべき施策（重要度が高いが満足度は低い施策【明科】）

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
自然環境	自然環境	2.70	3.64
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.30	3.67
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.36	3.60
医療・福祉・人権	介護支援	2.62	3.60
医療・福祉・人権	生活困窮者支援	2.52	3.59
子育て支援	出産・子育て支援	2.50	3.79
防災・防犯	防災対策	2.40	3.70
防災・防犯	防犯対策	2.27	3.51
防災・防犯	消費者保護	2.61	3.51
都市基盤	幹線道路の整備	2.48	3.50
都市基盤	生活道路の整備	2.37	3.46
都市基盤	公共交通網	1.79	3.58

（vi）重要度×満足度マトリクス分析【地域別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを地域別にみると、「障がい者福祉」、「生活困窮者支援」、「防災対策」、「防犯対策」、「消費者保護」、「幹線道路の整備」、「生活道路の整備」、「公共交通網」の8施策は全地域で共通している。
- 今後重点的に取り組むべき施策の数は「穂高」が 18 施策と最も多く、「豊科」が 10 施策と最も少なくなっている。

図表 63 今後重点的に取り組むべき施策【地域別結果一覧】

分野	施策名（略称）	全体	豊科	穂高	三郷	堀金	明科
自然環境	自然環境						○
	生活環境						
	自然エネルギーの普及						
	ごみの減量						
医療・福祉・人権	健康づくり						
	医療体制						
	地域福祉						
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●		●	●	●	●
	介護支援	●		●	●	●	●
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画			○			
	多様性の尊重						
	性的マイノリティ配慮						
子育て支援	出産・子育て支援	●	●	●	●		●
スポーツ	スポーツ						
	アウトドア・スポーツ						
教育・学習	学校教育の充実						
	学校と地域・家庭の連携						
	生涯学習		○	○			
地域の伝統	伝統・文化						
文化・芸術	文化・芸術						
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●	●	●
	交通安全	●		●	●	●	
	防犯対策	●	●	●	●	●	●
	消費者保護	●	●	●	●	●	●
都市基盤	計画的な土地利用	●		●		●	
	景観保全						
	緑化保全			○			
	公園・緑地整備			○			
	幹線道路の整備	●	●	●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●
	安全な水利用						
農林水産業	農業振興						
経済活動	商業振興						
	工業振興						
	労働・雇用環境	●		●	●	●	
観光	観光振興						
	特産品の創出						
地域ブランド	地域ブランド						
	シビックプライド						
移住・定住	移住・定住						
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動						
	ボランティア活動						
	市民参画						
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化						
	効率的な行政運営						
	市政情報の入手						
	広報誌						
	市のHP・SNS						
SDGs	SDGs達成への取組						

Ⅳ. 過去調査(R4)との比較

(ⅰ)満足度

- 満足度について、過去調査結果(R4)と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」が4施策、「自然環境」が3施策、「教育・学習」、「地域ブランド」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策となっている。

図表 64 満足度 過去調査(R4)との比較

過去調査（R4）と比較したポイント差の上位10施策

過去調査（R4）と比較したポイント差の下位10施策

分野	施策名	前回	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	2.92	2.98	0.06
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.17	3.26	0.09
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	2.29	2.47	0.18
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	2.97	3.01	0.04
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.93	2.98	0.05
	医療体制が整っている	2.94	2.89	-0.05
	地域において、支え合える関係が築けている	2.70	2.68	-0.02
	障がい者が安心して生活していける地域である	2.37	2.49	0.12
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	2.60	2.53	-0.07
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	2.78	2.63	-0.15
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	2.48	2.51	0.03
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	2.29	2.49	0.20
	互いの個性や立場を尊重している地域である	2.35	2.58	0.23
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	2.79	2.66	-0.13
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	2.80	2.82	0.02
教育・学習	小中学校での教育が充実している	2.84	2.90	0.06
	小中学校と地域･家庭の連携が図れている	2.85	2.85	0.00
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	2.64	2.64	0.00
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	3.01	2.94	-0.07
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	2.74	2.74	0.00
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができている	2.65	2.50	-0.15
	交通安全の取り組みが行われている	2.70	2.68	-0.02
	防犯対策が行われている	2.62	2.39	-0.23
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	2.65	2.43	-0.22
都市基盤	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	2.75	2.66	-0.09
	安曇野らしい景観が保全されている	2.98	2.90	-0.08
	緑化の保全、普及が進められている	2.91	2.80	-0.11
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	2.86	2.79	-0.07
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	2.56	2.47	-0.09
	生活道路である市道が整備されている	2.43	2.40	-0.03
	公共交通網が整備されている	2.02	2.06	0.04
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.20	3.17	-0.03
経済活動	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	2.70	2.69	-0.01
	工業・製造業が盛んな地域である	2.73	2.58	-0.15
	働きやすい地域である	2.68	2.59	-0.09
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	3.15	3.11	-0.04
	安曇野らしい産品が生み出されている	2.95	2.97	0.02
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	3.09	3.14	0.05
	市外在住者に誇ることのできる地域である	3.12	3.12	0.00
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	2.86	2.81	-0.05
協働・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.78	2.71	-0.07
	ＮＰＯ、ボランティア活動が行われている	2.54	2.55	0.01
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	2.45	2.43	-0.02
デジタル社会・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	2.47	2.46	-0.01
	行政運営の効率化が図られている	2.48	2.39	-0.09
	市政に関する情報が入手しやすい	2.64	2.66	0.02
	広報紙「広報あづみの」が充実している	2.98	3.01	0.03
	市公式ホームページ、SNSが充実している	2.59	2.76	0.17
SDGs	SDGｓの達成に向けて取り組んでいる地域である	2.68	2.72	0.04
医療・福祉・人権	性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	—	2.26	—
スポーツ	アウトドア・スポーツを楽しめる環境が整っている	—	2.74	—
都市基盤	安全でおいしい水が利用できる	—	3.33	—

（注）「—」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査（R4）の結果がない施策

（ⅱ）重要度

- 重要度について、過去調査結果（R4）と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにみると、「都市基盤」が5施策、「防災・防犯」が2施策、「スポーツ」、「農林水産業」、「協働・コミュニティ活動」がそれぞれ1施策となっている。

図表 65 重要度 過去調査（R4）との比較

過去調査（R4）と比較したポイント差の上位10施策

過去調査（R4）と比較したポイント差の下位10施策

分野	施策名	前回	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	3.74	3.65	-0.09
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.84	3.78	-0.06
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	3.34	2.97	-0.37
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	3.64	3.56	-0.08
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.55	3.54	-0.01
	医療体制が整っている	3.79	3.72	-0.07
	地域において、支え合える関係が築けている	3.45	3.41	-0.04
	障がい者が安心して生活していける地域である	3.62	3.58	-0.04
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	3.57	3.54	-0.03
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	3.64	3.60	-0.04
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	3.63	3.56	-0.07
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	3.51	3.42	-0.09
	互いの個性や立場を尊重している地域である	3.52	3.38	-0.14
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	3.76	3.74	-0.02
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	3.21	3.30	0.09
教育・学習	小中学校での教育が充実している	3.66	3.64	-0.02
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	3.54	3.54	0.00
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	3.43	3.45	0.02
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	3.27	3.27	0.00
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	3.27	3.24	-0.03
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができている	3.71	3.72	0.01
	交通安全の取り組みが行われている	3.58	3.58	0.00
	防犯対策が行われている	3.59	3.63	0.04
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	3.59	3.64	0.05
都市基盤	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	3.46	3.50	0.04
	安曇野らしい景観が保全されている	3.58	3.57	-0.01
	緑化の保全、普及が進められている	3.45	3.46	0.01
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	3.39	3.42	0.03
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	3.48	3.55	0.07
	生活道路である市道が整備されている	3.51	3.57	0.06
	公共交通網が整備されている	3.55	3.58	0.03
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.55	3.64	0.09
経済活動	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	3.38	3.36	-0.02
	工業・製造業が盛んな地域である	3.37	3.27	-0.10
	働きやすい地域である	3.58	3.53	-0.05
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	3.64	3.58	-0.06
	安曇野らしい産品が生み出されている	3.53	3.49	-0.04
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	3.54	3.50	-0.04
	市外在住者に誇ることのできる地域である	3.48	3.47	-0.01
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	3.35	3.27	-0.08
協働・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	3.13	3.16	0.03
	ＮＰＯ、ボランティア活動が行われている	3.16	3.09	-0.07
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	3.20	3.16	-0.04
デジタル社会・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	3.46	3.37	-0.09
	行政運営の効率化が図られている	3.44	3.39	-0.05
	市政に関する情報が入手しやすい	3.40	3.39	-0.01
	広報紙「広報あづみの」が充実している	3.26	3.26	0.00
	市公式ホームページ、SNSが充実している	3.37	3.31	-0.06
SDGs	SDGｓの達成に向けて取り組んでいる地域である	3.49	3.31	-0.18
医療・福祉・人権	性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	—	3.19	—
スポーツ	アウトドア・スポーツを楽しめる環境が整っている	—	3.24	—
都市基盤	安全でおいしい水が利用できる	—	3.77	—

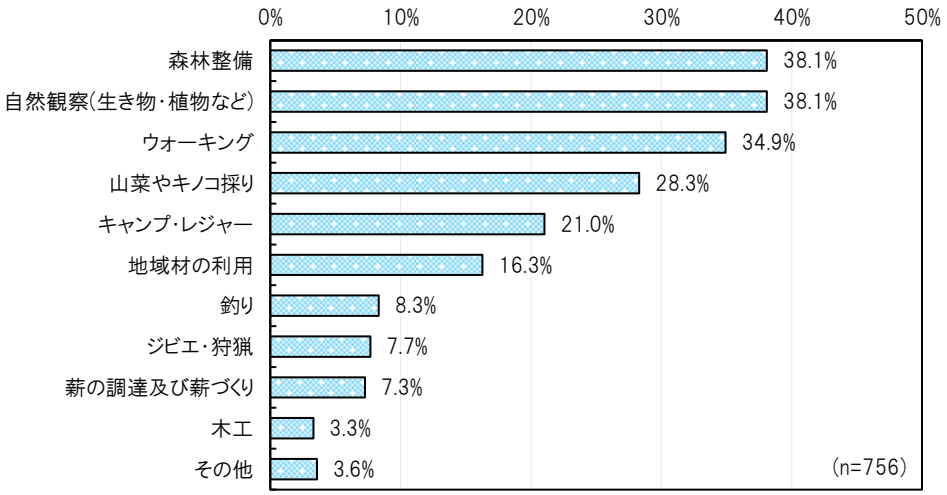
（注）「—」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査（R4）の結果がない施策

（2）自然環境について

問 6.　あなたが、身近な山林での活動において興味があるものはなんですか。（○は最大3つ）

・　山林活動において興味のあることについては、「森林整備」「自然観察（生き物・植物など）」が 38.1%と最も高く、次いで「ウォーキング」（34.9%）、「山菜やキノコ採り」（28.3%）と続いている。

図表 66　山林活動において興味のあること



問6　山林活動において興味のあること　その他の内容

- ウィンタースポーツスキー場
- オフロードバイク、自転車
- クロスカントリーランニングコース
- 花粉
- 熊対策
- 昆虫のいきやすい環境づくり
- 桜の名所（吉野山など）、花桃の名所（阿智村など）、赤いもみじの名所（軽井沢の 10 月下旬の赤、もみじのような…）安曇野の自然に合った活動が観光の楽しみになったらいいなぁと思っています。10 年後?20 年後?!
- 山林ではほぼ活動したいと思わない
- 自然環境が良くみえて、楽しめるカフェ作り、山道のキレイなトイレの設置
- 自然保護
- 生き物・植物など
- 鳥獣被害
- 登山
- 老人ですので山林での活動は無理・それにクマ被害も心配（84才）

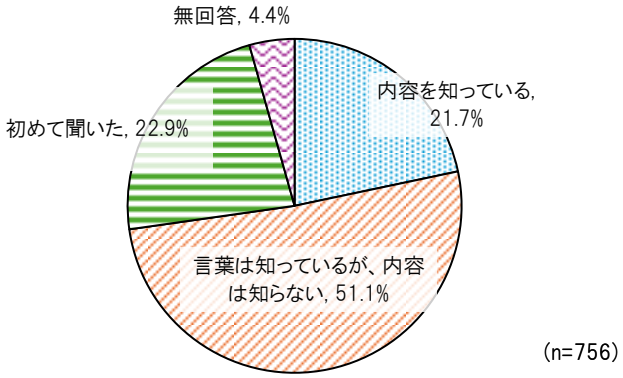
（3）医療・福祉・人権について

問7. 「子どもの権利」を知っていますか。（1つに○）

※「子どもの権利」とは、子どもの権利条約で定められた「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」といった子どもたちが持つ基本的な権利のほか、おとなと同じように、ひとりの人間として持つ様々な権利や子どもならではの権利のことです。

- 子どもの権利を知っているかについては、「言葉は知っているが、内容は知らない」が 5 割超となっている。

図表 67 子どもの権利を知っているか

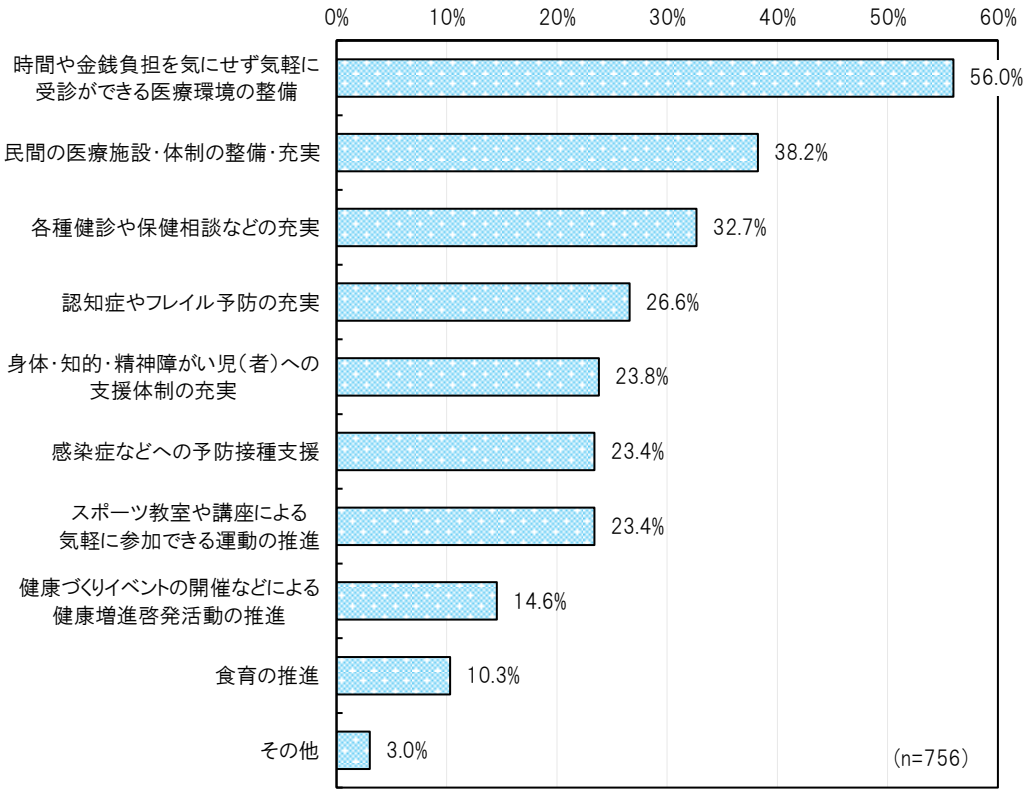


(n=756)

問8.　安曇野市がより健康づくりに向けた環境を整えるにあたっては、どのようなことに力を入れて取り組む必要があると思いますか。（○は最大3つ）

- 健康づくりに向けた環境を整えるにあたって力を入れて取り組むべきことについては、「時間や金銭負担を気にせず気軽に受診ができる医療環境の整備」が 56.0%と最も高く、次いで「民間の医療施設・体制の整備・充実」（38.2%）、「各種健診や保健相談などの充実」（32.7%）と続いている。

図表 68 健康づくりに向けた環境を整えるにあたって力を入れて取り組むべきこと



問8　健康づくりに向けた環境を整えるにあたって力を入れて取り組むべきこと　その他の内容

- サイクリングロードやウォーキングエリア、山歩き等ができる環境作り
- タバコを吸う人と吸わない人との健診負担を変える。65 歳以上の方がスーパーに買い物に行くのに公共機関などを使うと割引きなど
- メンタルカウンセリングを定期健診に盛りこむ
- わからない
- 安価で利用可能な高齢者スポーツ施設
- 近くで幅広く高度医療が受けられるよう日赤の充実を
- 健康や病気などに関する情報の発信
- 検診と同日の診察を可能にするべき、みなし検診は必要ない
- 現状の啓発活動の推進
- 交通が不便で活動とかできない
- 高齢の方々への交通手段の実用化・多様化
- 市プールの設立・整備
- 市民のための温泉無料券の配布、温泉利用割引券の配布、市民温泉割引料金への補助、市民の健康

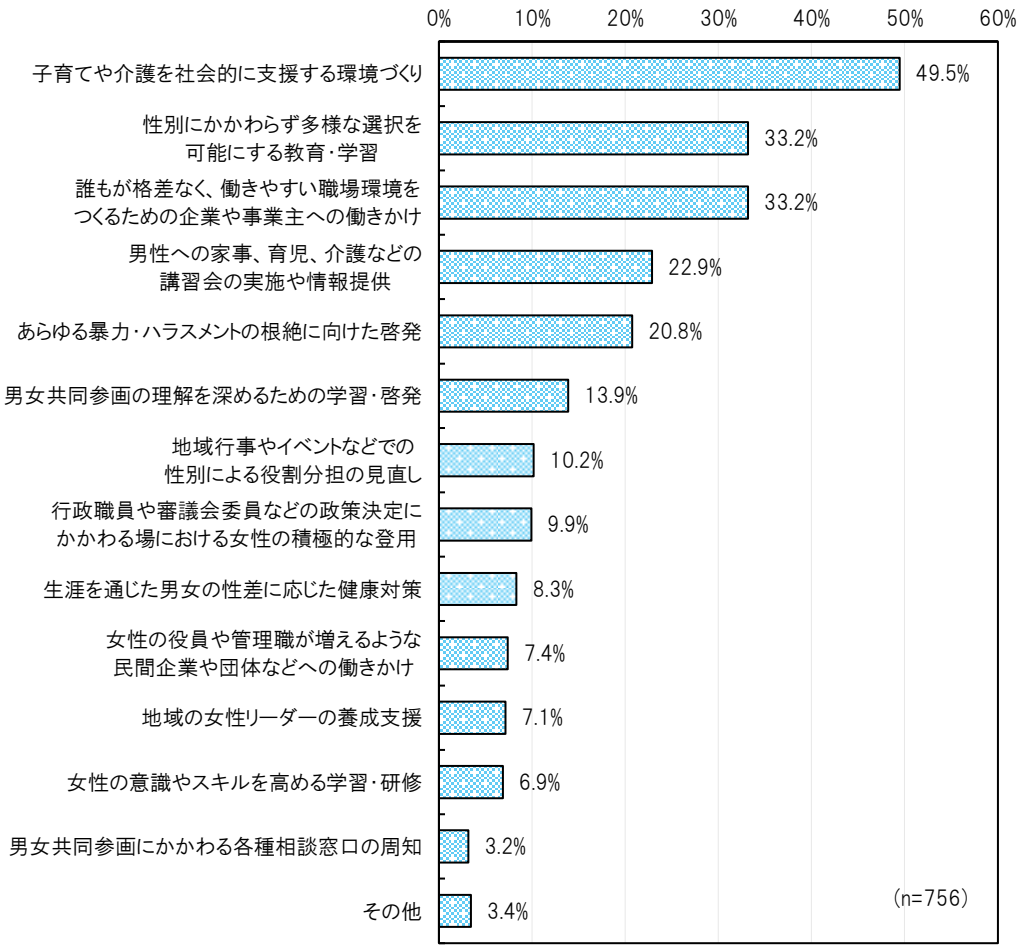
増進、リフレッシュに資する為

- 障がい者の支援
- 身体的障がい者だけによる集会がほしい、一度も参加してない（楽に参加できるシステム作り）
- 地域担当者などを作り、地域の高齢者や弱者の方の把握、声掛け
- 長期休みを中心とした自治体の運営による子ども食堂
- 認知症の老人と医療機関などにつなぐ方法
- 年齢や職業によって、”健康”に対して考え方や向き合い方も違います。総合的な取り組みはむずかしい事だと思います。
- 農作業のボランティア参加をすすめる。田畑作業は健康に良い（太陽の下で足腰使う）→心身共に健康!! →悩み事もやわらぐかも

問9. 安曇野市が性別を問わず活躍できるまちとなっていくために、どのようなことに力を入れて取り組む必要があると思いますか。（○は最大3つ）

- 性別を問わず活躍できるまちとなっていくために力を入れて取り組むべきことについては、「子育てや介護を社会的に支援する環境づくり」が 49.5%と最も高く、次いで「性別にかかわらず多様な選択を可能にする教育・学習」（33.2%）、「誰もが格差なく、働きやすい職場環境をつくるための企業や事業主への働きかけ」（33.2%）と続いている。

図表 69 性別を問わず活躍できるまちとなっていくために力を入れて取り組むべきこと



問9 性別を問わず活躍できるまちとなっていくために力を入れて取り組むべきこと その他の内容

- あらゆる暴力、ハラスメントの根絶に向けた法律の改正
- いらない
- シルバー（70 歳以上）の労働時間拡大、月間 80 時間以内は短すぎる
- わからない
- 行政コストの圧縮
- 国家資格を、県内で受験できるか、ネット受験できるようにして欲しい。育児、介護で都市まで受験に行けず諦めた。
- 市議の定年制　年寄の偏見は治らない
- 女性に女性にと　女性に活躍の強要をしない

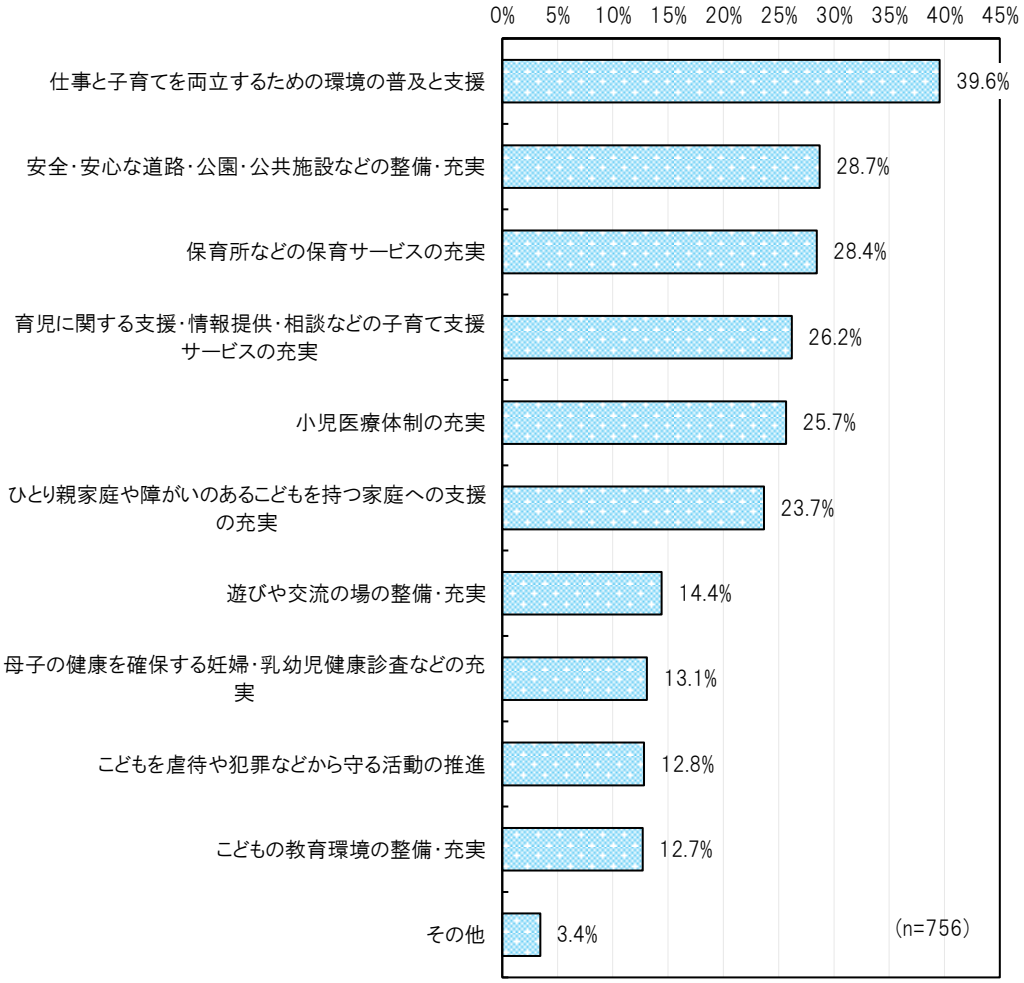
- 女性の積極的登用という設問に違和感。性差のない登用とすべき
- 女性をターゲットにすることが差別なのでそこは公平に
- 身体的な差がある以上、性別問わずというのは無理だと思う
- 性別はそれぞれの役割があり過度に政策は不要である
- 総理のように、力のある人は性別問わず自然と活躍していくと思う
- 男女で関係なく実力と適材適所で活躍してもらうだけで無駄な予算は付けなくていいと思う
- 男女格差の解決、男性が弱者になっていることもある
- 男性の家事、育児、介護参加について事業者への啓発活動の充実。
- 男性の長時間労働の削減
- 男尊女卑の考え方が根強く、悲しいと思う場面がある。どうしたらいいでしょう?
- 地域の公民館活動、イベントなど見直しを。高齢化で負担大
- 地域や学校現場での性的役割分担意識を見直すセミナーの実施
- 地方企業や行政が現代に適用した意識や教育を受けていないこと
- 働いている男性が、家庭内業務に参加しやすくなる環境の推進
- 特に意識して女性リーダー、役員・管理職を増やす必要はないと思う。男性でも女性でも役職に適した人を!
- 必要がない
- 無理矢理、女性をリーダーにしてはならない。自主性が大事。

（4）子育て支援について

問10.　出産、子育てのしやすいまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は最大3つ）

- 出産・子育てしやすいまちづくりを進めるために力を取り組むべきことについては、「仕事と子育てを両立するための環境の普及と支援」が39.6%と最も高く、次いで「安全・安心な道路・公園・公共施設などの整備・充実」（28.7%）、「保育所などの保育サービスの充実」（28.4%）と続いている。

図表 70 出産・子育てのしやすいまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと



問 10　出産・子育てのしやすいまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと　その他の内容

- インフルエンザなど任意予防接種へのさらなる負担軽減、おたふくかぜにも補助を出してほしい
- デイサービスなどの施設（高齢者）と幼児（子どもちゃん）の交流がもっとできたら良いと思っています。（高齢者のためにも子どもちゃん達のためにも…）
- 安心して家族を増やせるように市の財政の安定
- 安心して子供を作ろうと思えるだけの収入（若い世代）
- 安心して出産できる病院は絶対に必要
- 安全・安心な環境（精神的に）
- 皆で子育てをする事を推進する

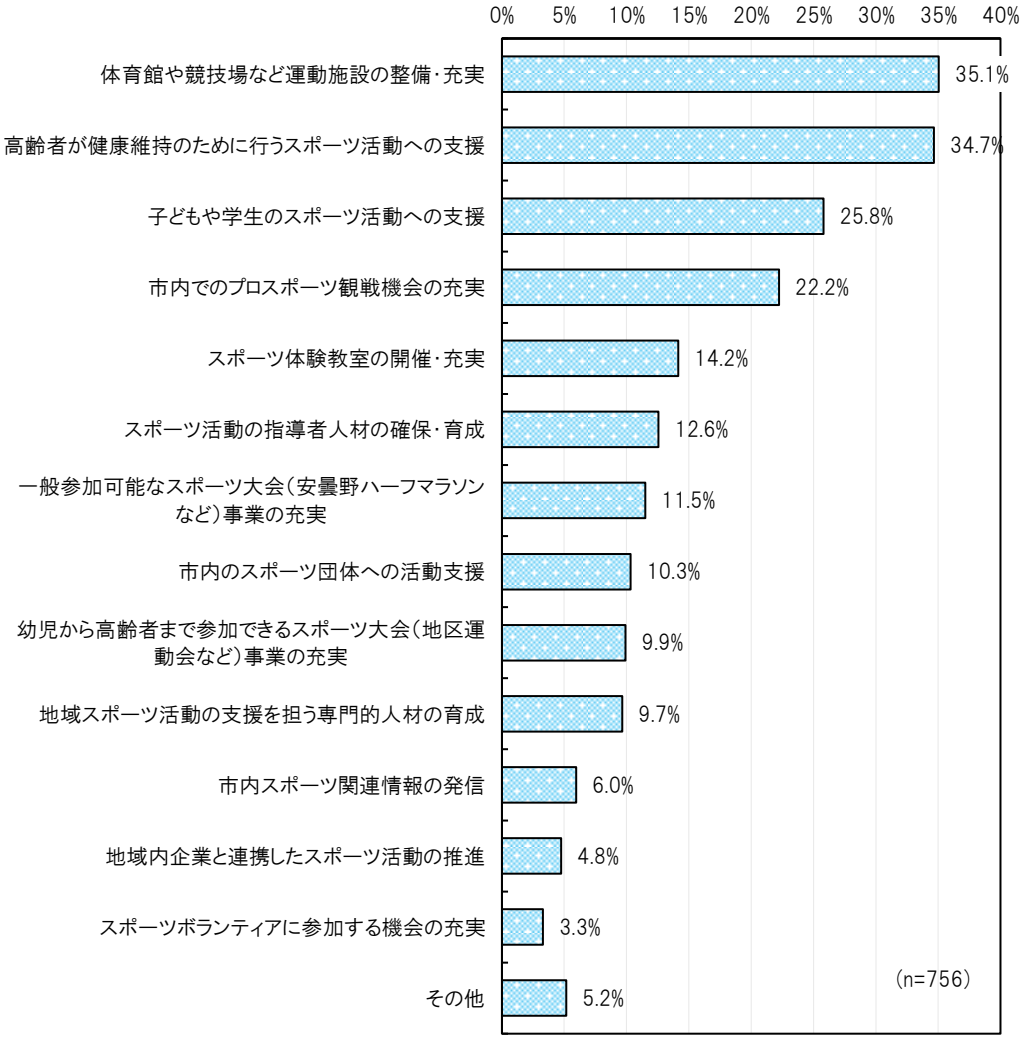
- 虐待や犯罪の法律改正、今より厳しく
- 結婚から子育てまでの資金支援
- 現行のこども医療費無料などの経済的負担軽減
- 国債、市債を減らす
- 子育てが終わっているので現在どの様な体制になっているのか分かりません
- 子育てが落ち着いた後の就業場所の充実
- 子育て世代への給付金。未満児の保育料無償化。
- 子供家庭への金銭的支援
- 自然の中で遊べる場を増やし安曇野市らしい子育てができるように
- 社会、行政全体がこどもを育て、子育て家庭を全面的に支援する仕組み。特に男性の←意識改革
- 習い事や塾の送迎等に対する支援
- 大学への就学支援
- 知的障害のある子を持っているが、児童館やイベントに配慮がない
- 費用的な援助
- 保育所内の保育士の充実（人員確保）

（5）スポーツについて

問11. スポーツを楽しめるまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
（○は最大3つ）

- スポーツを楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきことについては、「体育館や競技場など運動施設の整備・充実」が 35.1%と最も高く、次いで「高齢者が健康維持のために行うスポーツ活動への支援」（34.7%）、「子どもや学生のスポーツ活動への支援」（25.8%）と続いている。

図表 71 スポーツを楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと



問 11 スポーツを楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと その他の内容

- ウォーキングができる公園、松本市のスカイパークのような
- サイクリング、ウォーキングコースの整備と安全
- サイクリングロードの整備、自転車が走りやすい道とまちづくり
- サイクリング道路、ジョギング道路、今も良いけれど…山、田畑、青空、良い空気、自然を楽しみながらおいしい水飲み場があったり、ベンチがあったり、無料駐車場があったり、トイレや着替え（有料で）シャワー使えたり、今ある既存の施設を工夫利用、活用できたらいいですねぇ

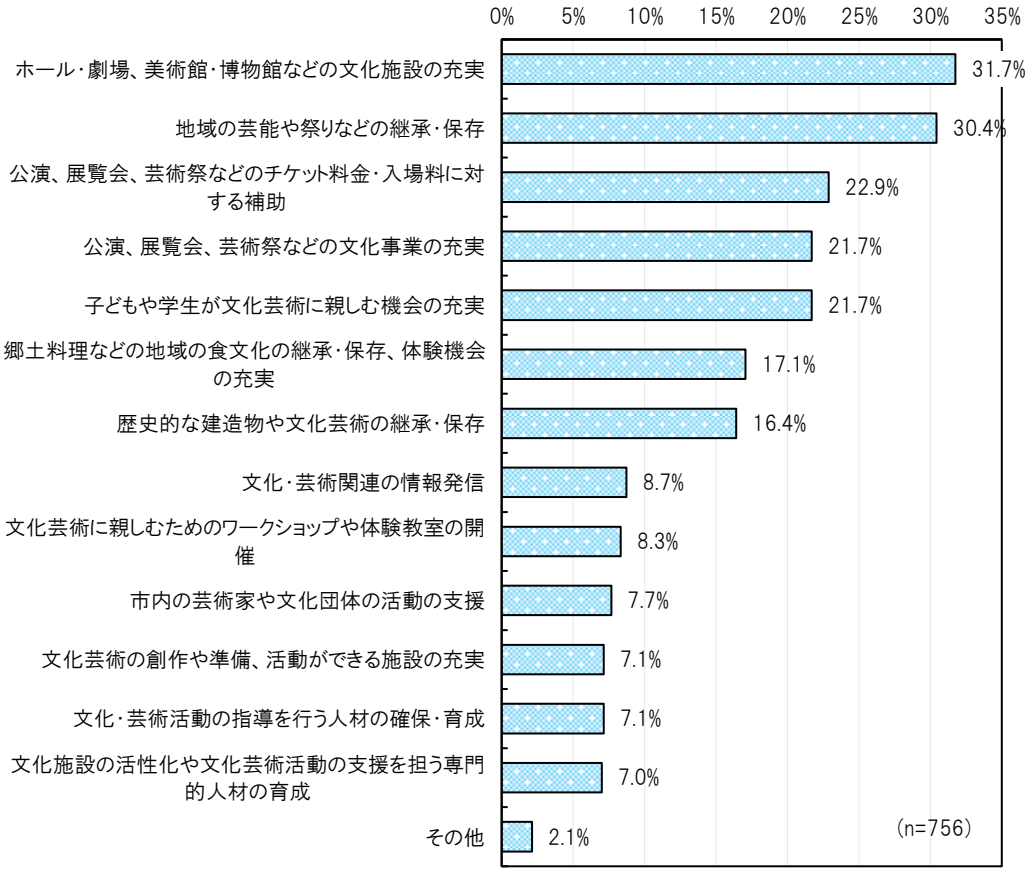
- サンクラブが無くなってしまうのはとても悲しい。学生の水泳の授業が減っているのに泳ぐことを学ぶ場所がない。市で作るなど力を入れてほしい。
- スポーツイベントに対する経済的支援と参加費用の軽減
- スポーツが収益になるしくみづくり
- スポーツより勉強を重視した方が良いと思う。頭が良くないとダメ、まず勉強
- ダンス等のレッスンに施設を借りやすく
- プール施設の整備があるとよいです
- まちづくりにおいてスポーツを重視しなくていい
- わからない
- 安心できるウォーキング・サイクリングコースの充実とキレイなトイレの整備、既存の公園の整備等
- 安曇野市から公共のプール設備が 3 月で無くなる。
- 安曇野市の自然を活用した体力作り、スポーツ
- 安曇野陸上競技場の建設
- 一部の人でなく低所得でも一度は体験できて続けられるシステム
- 屋内スケートボードパーク施設の整備
- 屋内施設の充実
- 観光や町興し目的ではなく、市民のことを考えてほしい
- 気軽に出来るスポーツの推進
- 更なるトレイルコースやサイクリングコースの充実
- 山ろく線にサイクリングコースが書かれていますが、あの狭い道路でのサイクリングは本当に危険だと思います。春から秋にかけてサイクリングロードレースがありますが、私は昨年 2 件事故を見ました。何か対策を、早急に!!
- 施設利用計画が立てられない。2 ヶ月前での申請では大きな大会を計画出来ない。（県大会や北信越大会等）
- 集会所や公民館等での有効な活用。卓球やヨガなど。
- 障害のある子どもや大人でも参加しやすいインクルーシブ教室
- 新たな箱物ではなく、今あるものを美しく保っていただければ。
- 体育館など団体スポーツが優先なので一般者も施設利用の充実を。
- 大自然を活かしたアウトドア施設の充実、整備
- 中途半端な施設ばかりでプロスポーツを呼べる環境にない
- 登山ツアーの企画
- 年寄優先をやめるべき
- 必要ない、個人で楽しんで頂きたい
- 穂高にプールがなくなった。サンクラブまでも
- 母子家庭では、子どもの遠征は負担できない。
- 本人がスポーツの重要性を認識することが第一

（6）文化・芸術について

問12.　文化・芸術を気軽に楽しめるまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は最大3つ）

- 文化・芸術を気軽に楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきことについては、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が 31.7%と最も高く、次いで「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」（30.4%）、「公演、展覧会、芸術祭などのチケット料金・入場料に対する補助」（22.9%）と続いている。

図表 72　文化・芸術を気軽に楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと



問 12　文化・芸術を気軽に楽しめるまちづくりを進めるために力を入れて取り組むべきこと　その他の内容

- マーケティングを行い、市場調査、独自の収益化を目指さないと負の遺産、借金だけが増え続ける。
- 教育、学習に力を入れて下さい
- 現役世代向けの活動に力を入れる
- 個人で
- 公民館活動に対する助言
- 新たな箱物は不要なので今あるものを美しく保ってくれれば。

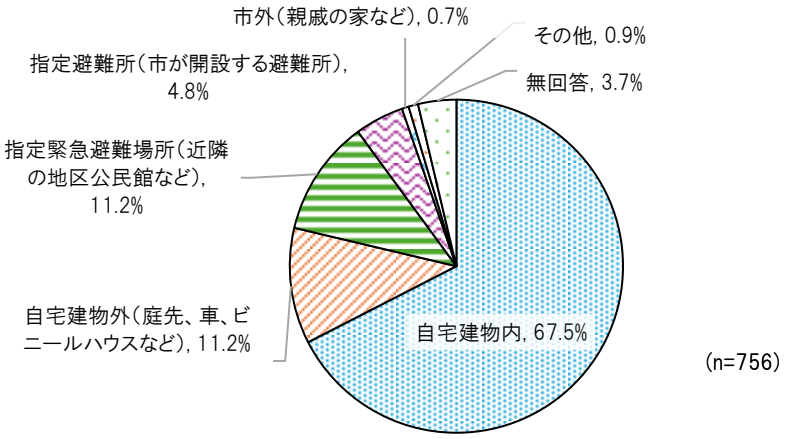
- 図書館、分散でなく今ある（もう新しく造るのではなく、造り足すなど。2F?3F　?もっと北アルプス見ながらの休憩スペースあったら最高）中央図書館（みらい）をもっと充実できたら良い。（勉強スペースの充実、飲食スペースの充実）。国立公園行く予定が雨でダメな時とか雨降りの日の観光場所になるような…日本全国すてきな図書館ベスト 7 くらいに入るような…。今のデジタル時代こそ、図書館本大好きが集える「みらい」図書館になったらすてき～。近くにツルヤ、無印良品、マクドナルドもできてますます利便性も良い「みらい」図書館。
- 箱物は十分あるので、地元出身者の芸術展をはじめ、著名な方々の講演や活動の誘致への補助金や支援（例えば塩入久さん、征矢野久さんなど、安曇野風景のアピールに資する方々への展覧会補助等）
- 美術館の展示内容、芸術祭やワークショップ等の情報発信が足りない
- 文化芸術だけではなく観光やＩターン等と組合わせた参画イベント
- 文化芸術に親しむ市であることに固執し過ぎていることを感じる。
- 予算増

（7）防災・防犯について

問13(1)　地震が発生したと想定した場合に、自宅(建物)は大きな被害がなく、建物内への避難ができる場合、どこに避難しますか？(○は1つ)

- 地震発生時建物内への避難ができる場合の避難場所については、「自宅建物内」が 67.5%と最も高い。

図表 73　自宅に大きな被害がない場合の避難場所



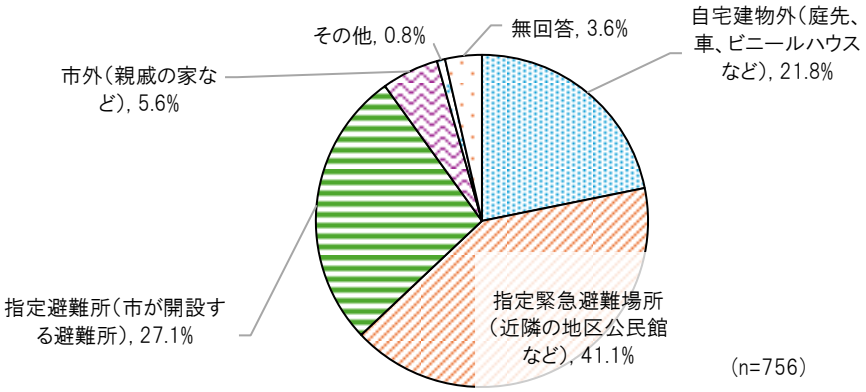
問 13(1)　自宅に大きな被害がない場合の避難場所　その他の内容

- 安全そうな知人の家
- 広い場所、駐車場等
- 小学校。中学校しかない
- 小学校グランド
- 職場の近く(参集がかかるため)
- 避難するだけなら外に出るが、避難生活となると設問では判断できない

問13(2) 自宅(建物)に大きな被害があり、建物内への避難ができない場合、どこに避難しますか？(○は1つ)

・ 建物内への避難ができない場合の避難場所については、「指定緊急避難場所(近隣の地区公民館など)」(41.1%)が最も高く、次いで「指定避難所(市が開設する避難所)」(27.1%)となっている。

図表 74 自宅に大きな被害があった場合の避難場所



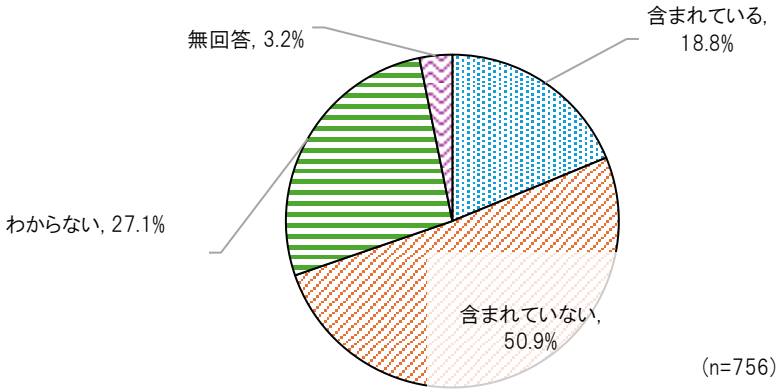
問 13(2) 自宅に大きな被害があった場合の避難場所 その他の内容

- 自家用車
- 自分の施設
- 職場
- 職場の近く(参集がかかるため)
- 東京
- 福祉避難所(障害を持っている子どもがいるため)

問14. 自宅は、防災マップの浸水想定区域に含まれていますか。(○は1つ)

・ 自宅が防災マップの浸水想定区域に含まれているかについては、「含まれていない」が 50.9%と最も高く、次いで「わからない」(27.1%)となっている。

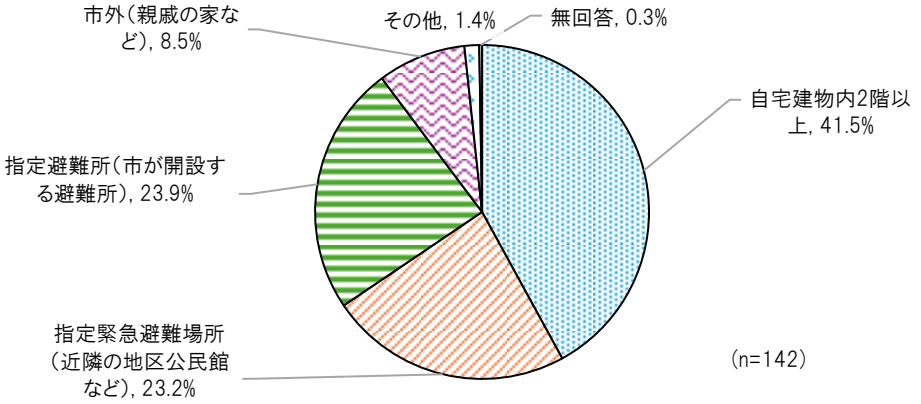
図表 75 浸水想定区域に含まれているか



問15. 浸水害が発生した際はどこに避難しますか。（○は1つ） ※問14で含まれていると回答した方のみ

- 浸水害の発生時の避難場所について、「自宅建物内2階以上」が(41.5%)と最も高く、次いで「指定避難場所（市が開設する避難所）」(23.9%)となっている。

図表 76 浸水害が発生した場合の避難場所



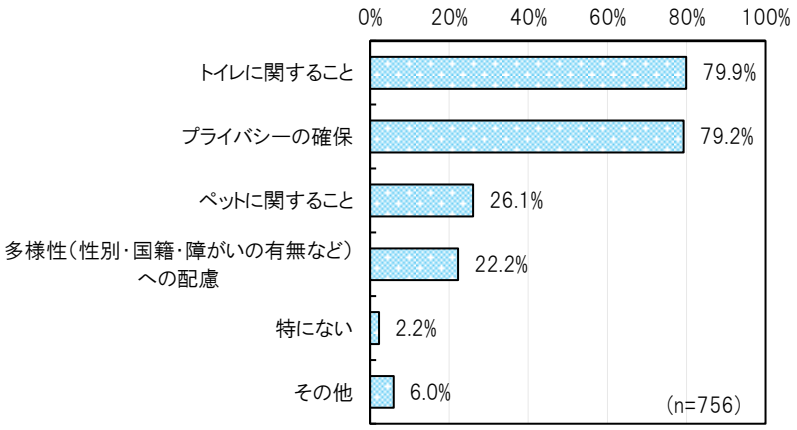
問 15 浸水害が発生した場合の避難場所 その他の内容

- 市内親戚の家
- 浸水していない近くの場所
- 浸水害は想定していない

問16. 避難所への避難に対して不安に思うことはどのようなことですか。（○はいくつでも）

- 避難所への避難に対して不安に思うことについては、「トイレに関すること」(79.9%)と「プライバシーの確保」(79.2%)が 8 割弱となっている。

図表 77 避難所対しての不安なこと



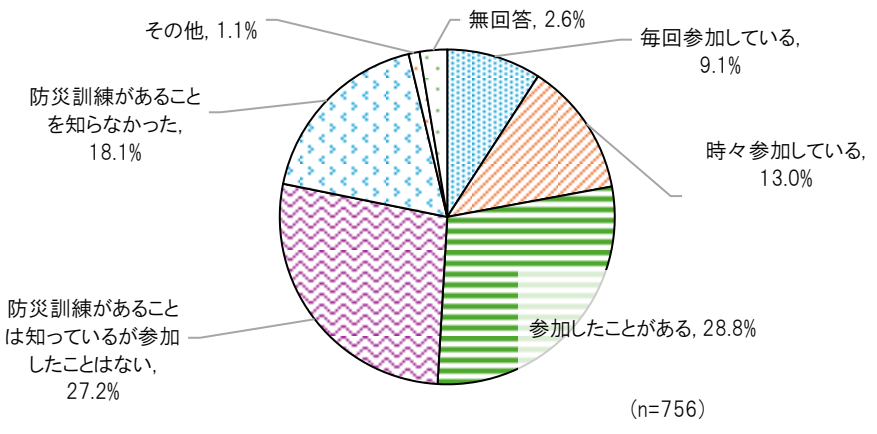
問 16　避難所に対しての不安なこと　その他の内容

- あまり報道されないが避難所での小児、女性への性被害事件。（過去に多くあるとの記事、防犯ブザーの配布からも）
- この標高ならと思える避難場所が歩いて行ける距離にない
- においや音
- ペットは飼ってないが
- 移動手段がない
- 医療に関すること
- 衛生面、薬
- 音
- 介護の必要な老人が同居。自宅以外は、行けない。
- 学校以外の大きな避難所がない
- 寒さ･暑さ対策　、家族との連絡が取れる手段があるか　等
- 感染症
- 既存の箱物や公園、図書館等の防災時の避難転用への整備が不十分
- 狭い
- 古い
- 子供、女性に関する配慮や犯罪防止
- 子供への配慮
- 指定場所までの移動
- 持病がある
- 治療薬の不足
- 暑さ、寒さ
- 暑さ寒さ対策、ストレス緩和対策
- 女性、子どもの保護･配慮
- 食
- 食べ物と感染病
- 食物アレルギーがある
- 食料
- 食料や着替えなど生活物品
- 食料品の配布（自宅避難者への通知）
- 食糧確保
- 身体障害体幹 5 級の妻は、避難が難しい。
- 人との接触
- 性犯罪
- 性被害
- 男女別にしてほしい
- 伝染病など
- 避難所に来た人全員が入れるのか
- 非常持出品
- 備蓄の締める量と範囲が不明
- 病気への対応
- 報道機関のいきすぎた取材
- 防寒

問17. 区や自主防災会、安曇野市が主催する防災訓練にどの程度参加されていますか。（○は1つ）

- 防災訓練への参加頻度について、参加経験があるといった系統の回答（「毎回参加している」、「時々参加している」、「参加したことがある」）の合計は 5 割を超えている。

図表 78　防災訓練への参加度合い



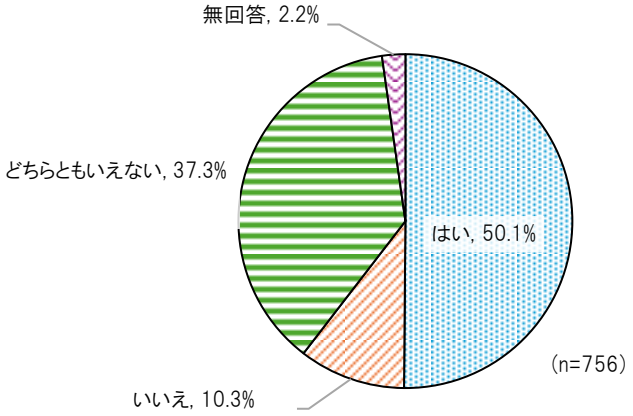
問 17　防災訓練への参加度合い　その他の内容

- 5 年前迄は毎年参加、以降参加なし
- 家族(親)が参加している
- 区の役員の時に参加しただけ
- 区の役員をしているときに参加
- 前にはほとんど参加していたが今では体の調子しかり
- 地区の訓練は毎回参加。
- 非自治会員、市主催の訓練は知らない
- 平日休みのため参加できない

問18. もし災害が発生した際には、近所の人との助け合いができると思いますか。(○は1つ)

・　災害発生時の近所の人との助けあいができるかについては、「はい」が 5 割を超えている。

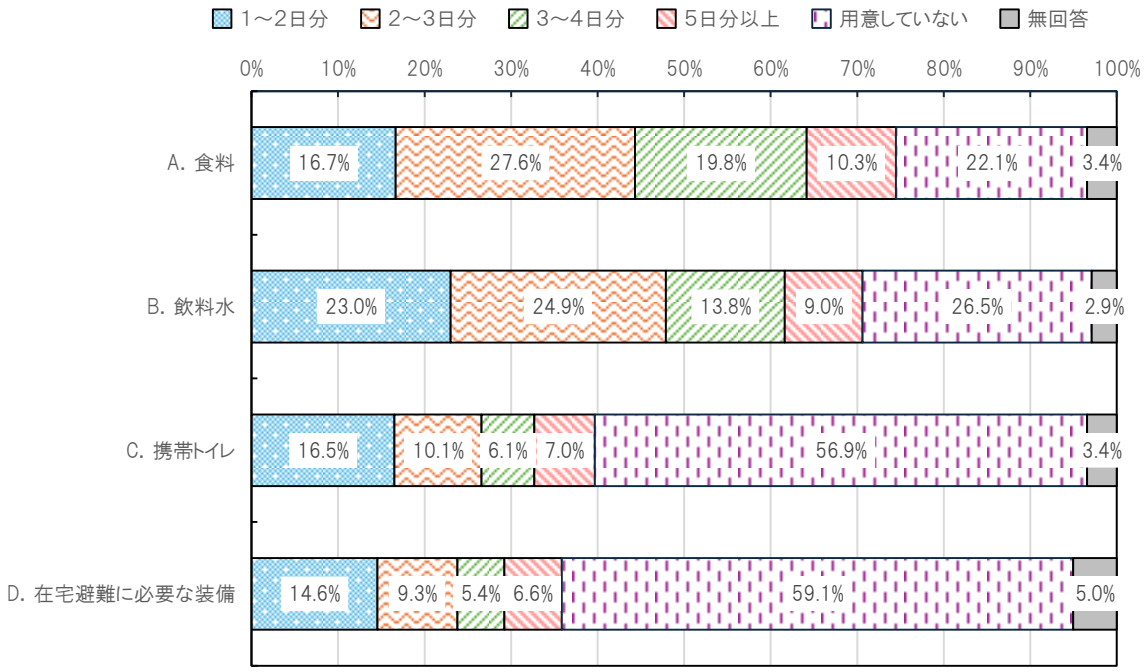
図表 79　近所の人との助け合いが可能か



問19. 次の物品について、災害時の家庭内備蓄はどの程度されていますか。(A～D の項目ごとに○は1つ)

- どの程度災害時の家庭内備蓄がされているかについて、用意している系統(「用意していない以外」)の回答割合は「食料」と「飲料水」では 7 割超となる一方、「携帯トイレ」や「在宅避難に必要な装備」は 4 割を下回っている。

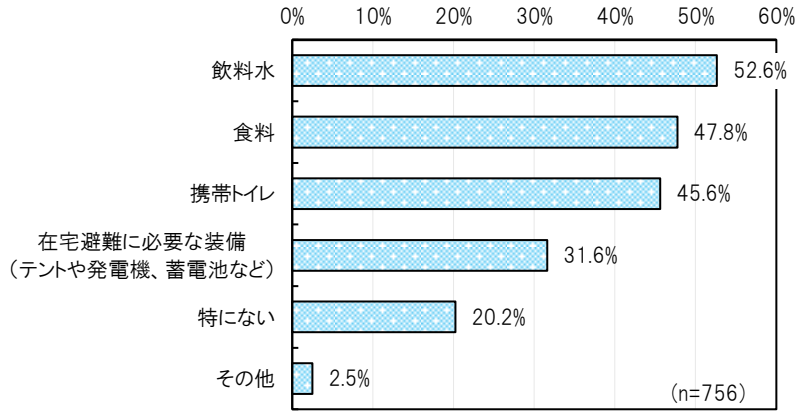
図表 80 災害時の家庭内備蓄



問20. 今後、次の物品で備蓄を進める予定の物品はありますか。(○はいくつでも)

- 備蓄予定の物品については、「飲料水」が 52.6%と最も高く、次いで「食料」(47.8%)、「携帯トイレ」(45.6%)と続いている。

図表 81 備蓄予定の物品



問 20　備蓄予定の物品　その他の内容

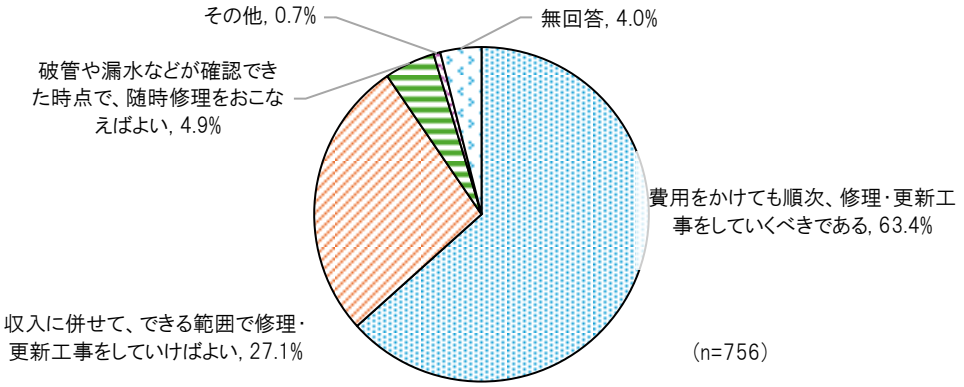
- IP 無線機、GPS
- オムツ
- ストーブ、カセットコンロ、新聞紙、トイレットペーパー、ティッシュ
- ヘルメット、エアマット、銀マット、シート（防水）
- やった方が良いと思っています
- 医薬品　オムツ
- 医療品、バンソコ、傷薬他
- 化石燃料
- 使用済み携帯トイレは処分が大量すぎにならないのでしょうか？都会、マンション暮らしでもない我家は敷地内に穴を掘ってトイレ代わりにしようかと思ってます。（トイレットペーパーはゴミに出す）災害後のゴミ処分は大変そうですが、心配無用でしょうか？
- 七輪
- 出来れば補助が有れば助かる
- 消費期限きた物の入れ替え
- 石油ストーブ
- 天水浄化装置
- 登山グッズを防災用も兼ねて揃えないと思っている
- 日付を確認する
- 非難に必要な品はリックに入れてあるものの点検ができていない
- 防寒具

（8）都市基盤について

問21. 水道管及び水道施設の老朽化に伴う更新について、あなたの考えに近いものはどれですか。
（〇は1つ）

- 水道管や水道施設更新についての考え方については、「費用をかけても順次、修理・更新工事をしていくべきである」が63.4%と最も高く、次いで「収入に併せて、できる範囲で修理・更新工事をしていけばよい」（27.1%）となっている。

図表 82 水道管や水道施設更新についての考え方



問 21 水道管や水道施設更新についての考え方 その他の内容

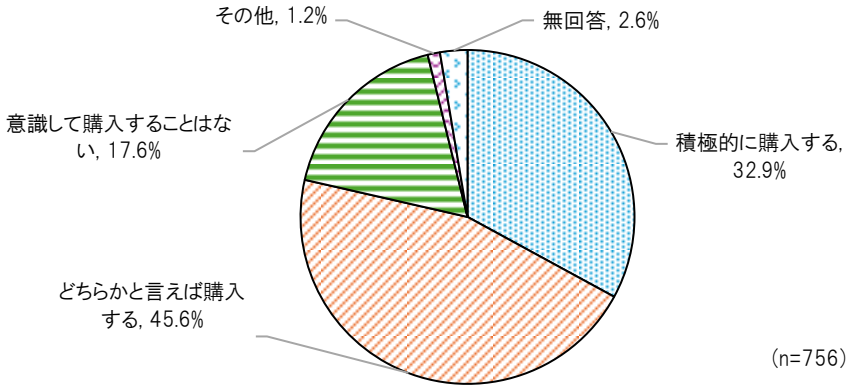
- ダイオキシン PFAS 検査をして除去できる施設の充実
- 個人の水道管か公共の水道管かどっち？
- 水道管の老朽化状況の把握が先ず必要
- 費用をかけて順次やるが、範囲は明確化して絞るべき
- 老朽化するのは考えていなかったのか?そもそもこの質問はおかしい。スポーツなどにお金かけなくて良いし、施設もいらない。学校のグラウンドで十分です（使用していますか?ずっと?）

（9）農林水産業について

問22. あなたは日頃、地元産農産物を購入しますか。（○は1つ）

・　地元農産物を購入しているかについては、「どちらかと言えば購入する」が 45.6%と最も高く、次いで「積極的に購入する」（32.9%）となっている。

図表 83　地元農産物の購入について



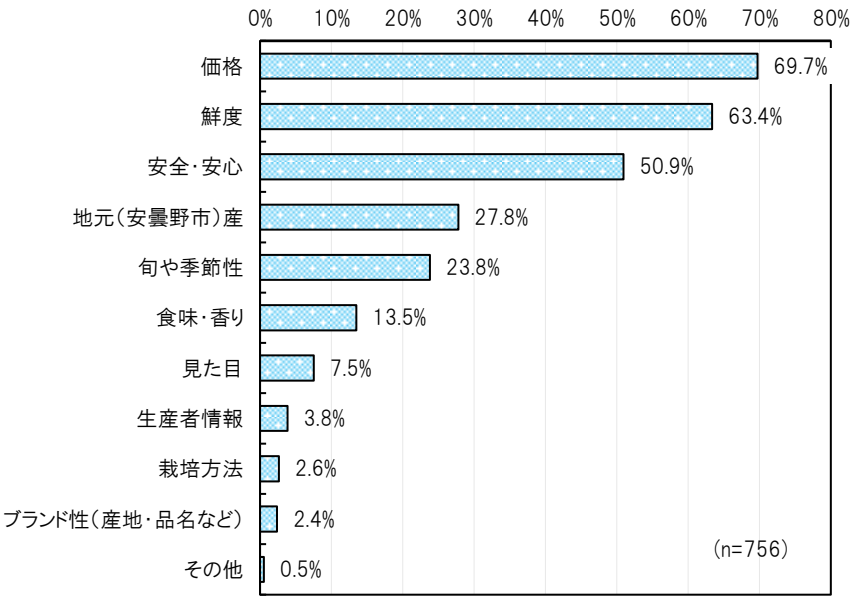
問 22　地元農産物の購入について　その他の内容

- その時や金額によって
- ほとんどが自家栽培
- ものによる
- 安全･安心な農産物を購入したい
- 自営
- 自家野菜があるため足りない時購入
- 自分で作っている
- 主に自家用
- 他県よりも質が悪く価格が高い
- 値段による

問23. あなたが農産物を購入する際、重視していることはなんですか。（○は最大3つ）

・　農産物の購入時重視していることについては、「価格」が 69.7%と最も高く、次いで「鮮度」（63.4%）、「安全･安心」（50.9%）と続いている。

図表 84　農産物購入にあたって重視していること



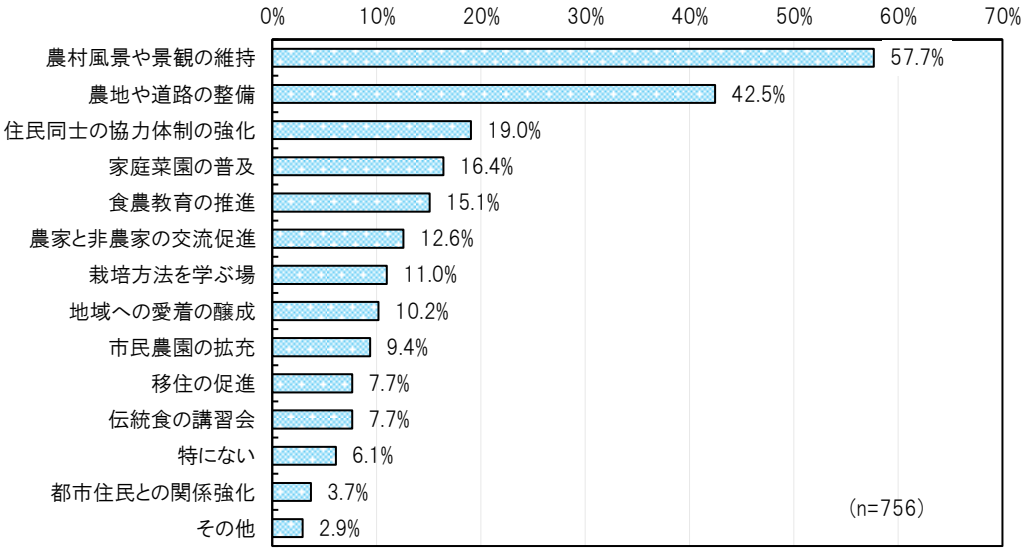
問 23　農産物購入にあたって重視していること　その他の内容

- オーガニック希望
- できるだけ農薬を使ってない物
- 中国産かどうか
- 無農薬であること

問24. 安曇野市の農村らしさを生かしたまちづくりを進めるために、あなたが必要だと思うことはなんですか。
（〇は最大3つ）

・　農村らしさを生かしたまちづくりに必要だと思うことについては、「農村風景や景観の維持」が 57.7%で最も高く、次いで「農地や道路の整備」(42.5%)、となっている。

図表 85　農村らしさを生かしたまちづくりに必要だと思うこと



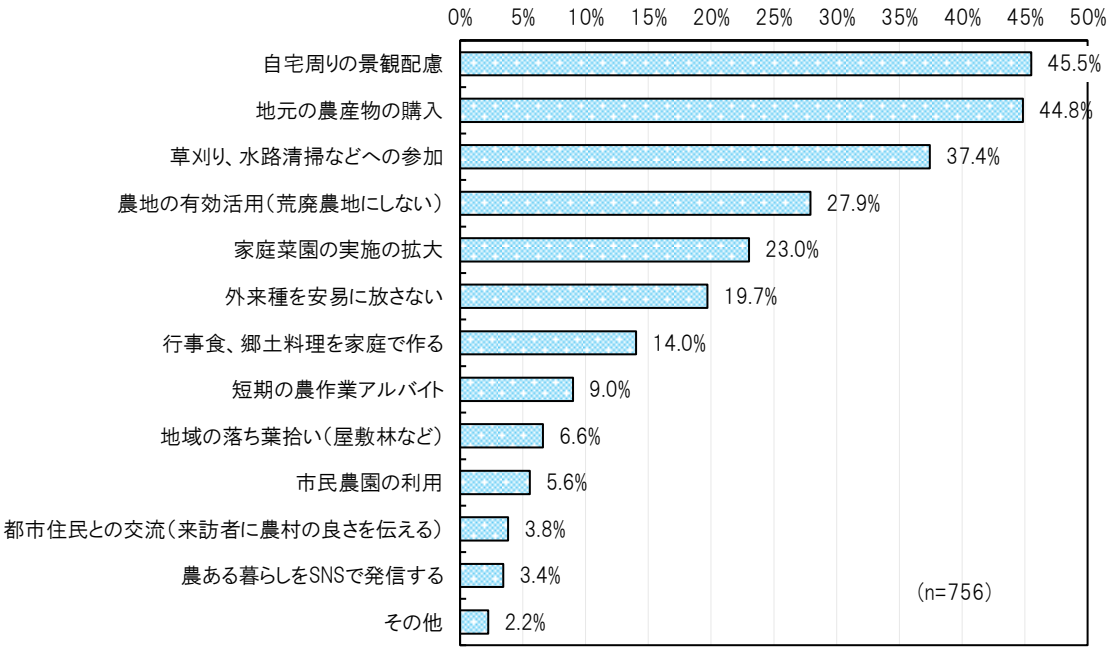
問 24　農村らしさを生かしたまちづくりに必要だと思うこと　その他の内容

- JA 以外の民間企業の参入
- 安全安心な農産物作り
- 休耕地の活用（会社化、農業法人が管理など）、害獣駆除
- 休耕田の利用減少
- 三郷にスーパー少ない
- 市長、市職員の絶対やり通すというやる気、熱意が必要
- 水の保全と維持
- 先住民の尊厳
- 他県への宣伝、広報
- 地域住民と市の話し合い
- 地域農産物販売促進
- 地元農産物の積極的な販売を通して、農地の必要性を高める
- 農家の収益力の向上
- 農家への支援、営農組合への支援、草刈り応援、耕作放棄地にならない様にする施策
- 農業をしたい人がすぐにはじめられる環境整備
- 農業産業への支援
- 農政の強化
- 農村らしさは決定事項？引っ越してきたとき冊子すらもらわなかった
- 農薬ドリフト禁止の徹底
- 廃屋空き家の解体・あるいは活用の推進

問25. 問24の安曇野市の農村らしさを生かしたまちづくりに関連して、あなた自身が取り組みたいことはなんですか。(○はいくつでも)

・ 農村らしさを生かしたまちづくりに関連して取り組みたいことについては、「自宅周りの景観配慮」が45.5%と最も高く、次いで「地元の農産物の購入」(44.8%)、「草刈り、水路清掃などへの参加」(37.4%)と続いている。

図表 86 農村らしさを生かしたまちづくりに関連して取り組みたいこと



問 25 農村らしさを生かしたまちづくりに関連して取り組みたいこと その他の内容

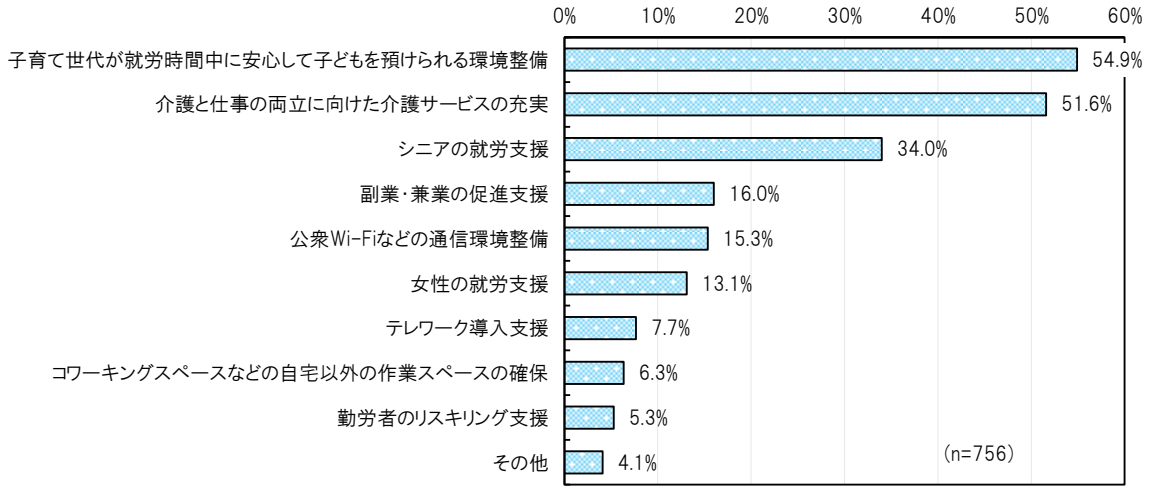
- 荒廃地をなくすため、小さなグループを作り休登日の2時間位を農地整備の日と定め荒廃地をなくす
- 高齢で農業を続けられない農地の耕作(実施中)
- 今は老齢で出来ない。
- 栽培方法を学びたい
- 生活が出来る収入
- 他地域からの方を短期農業アルバイターとして雇いたい
- 農村重視へのプロセスがわからないので答えようがない。

（10）経済活動について

問26. 安曇野市がより働きやすい地域になるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は最大3つ）

- より働きやすい地域になるために力を入れて取り組むべきことについては、「子育て世代が就労時間中に安心して子どもを預けられる環境整備」が 54.9%と最も高く、次いで「介護と仕事の両立に向けた介護サービスの充実」（51.6%）、「シニアの就労支援」（34.0%）と続いている。

図表 87 より働きやすい地域になるために力を入れて取り組むべきこと



問 26 より働きやすい地域になるために力を入れて取り組むべきこと その他の内容

- そもそも民間企業の取組を市が理解出来ていない
- ちょっとした仕事でも良いので勤労できる機会を増やす
- 移動手段の充足、市内バス、電車、高速。とどめるのではなく流動性を高める、アクセスしやすい
- 塩尻のえんぱーくのようなフリースペースがある公共施設
- 企業の誘致
- 企業誘致
- 給与の確保、底上げ
- 給料を上げる働きかけ
- 教育をしっかりする/働きやすいのも必要だが、能力のあるヒトを育てる教育を整えてほしい
- 勤労者報酬の確保、拡充
- 交通渋滞の緩和、解消
- 公民館活動をなくす
- 産業誘致、働く場の確保、若者の働き場所
- 子育て世代が子育てに専念しつつ働ける就業環境整備、子供に合わせた時短、パート就業など増えると良い
- 収入アップできる経営環境を作る
- 障がい者の就労支援の充実化
- 大手企業の優良老人ホームやデイサービス施設を誘致すると雇用が増加する

- 地元農産物の販促
- 朝夕の渋滞が減るよう、労働者の居住地域を考慮した都市計画
- 賃金向上
- 通勤時間の道路混雑改善
- 通勤渋滞の解消
- 働き先（職場）の確保
- 働く場が少ない（職種によって）
- 働く場所を増やして、最低賃金を上げる。
- 農業の季節労働者を住まわせるための公共の宿泊施設
- 防犯カメラの設置
- 目標が具体的でない

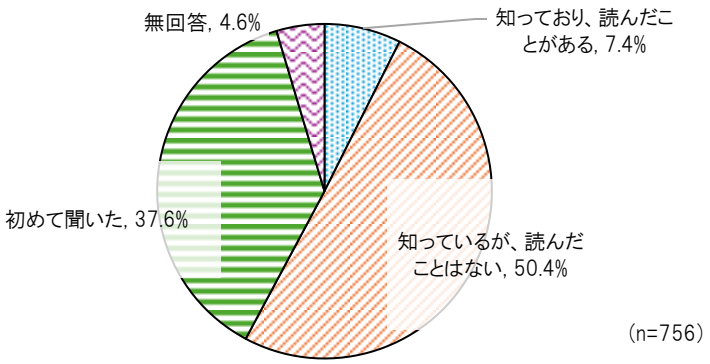
（11）地域ブランドについて

問27. 小説『安曇野』を知っていますか。（1つに○）

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

- 小説『安曇野』の認知度については、「知っているが、読んだことはない」が 5 割超となっている。

図表 88 小説『安曇野』の認知度

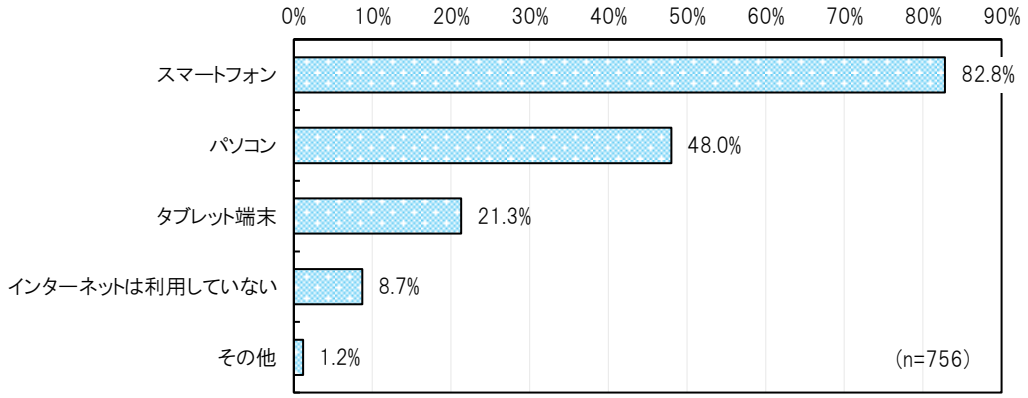


（12）デジタル社会・行政サービスについて

問28.　インターネットを利用する際に、どのような機器を利用していますか。（〇はいくつでも）

- インターネット利用時の利用機器については、「スマートフォン」が 82.8%と最も高く、次いで「パソコン」（48.0%）、「タブレット端末」（21.3%）と続いている。

図表 89 インターネット利用機器

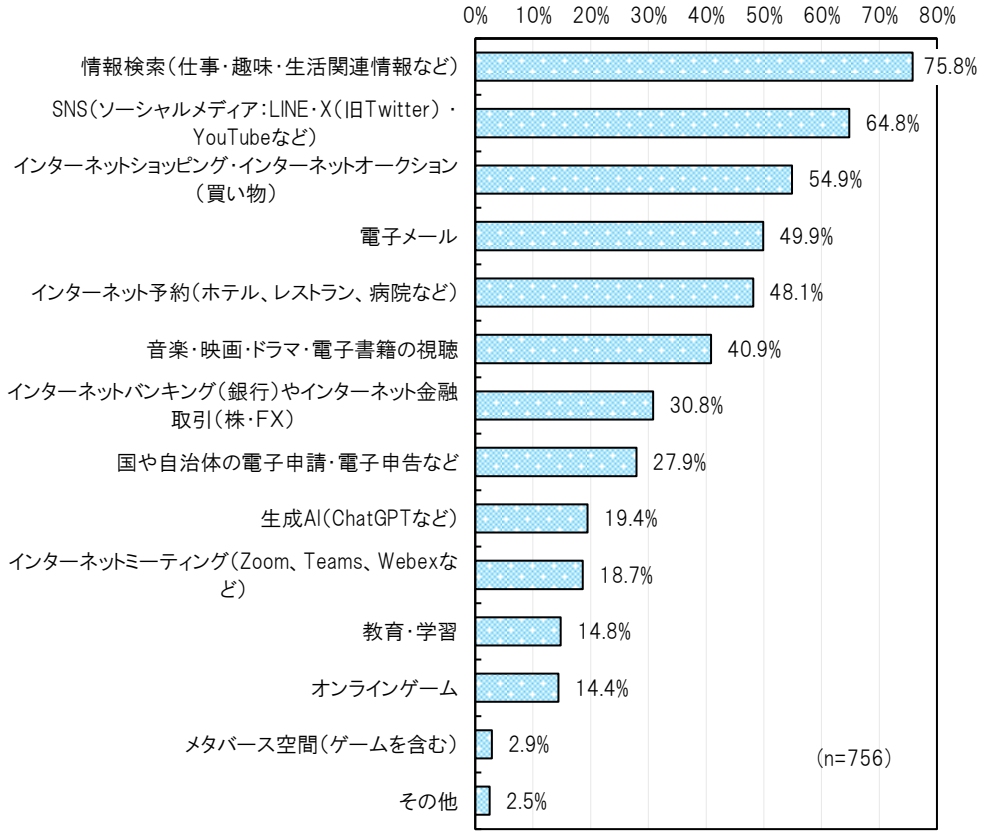


問 28　インターネット利用機器　その他の内容

- ゲーム機、スマートスピーカー、TV
- テレビ
- 使用する予定
- 全く利用していない

問29.　インターネット(スマートフォンやパソコンなど)をどのような用途で利用していますか(したことがありますか)。(○はいくつでも)

- インターネットの用途については、「情報検索(仕事・趣味・生活関連情報など)」が 75.8%と最も高く、次いで「SNS(ソーシャルメディア:LINE・X(旧 Twitter) ・YouTube など)」(64.8%)、「インターネットショッピング・インターネットオークション(買い物)」(54.9%)と続いている。



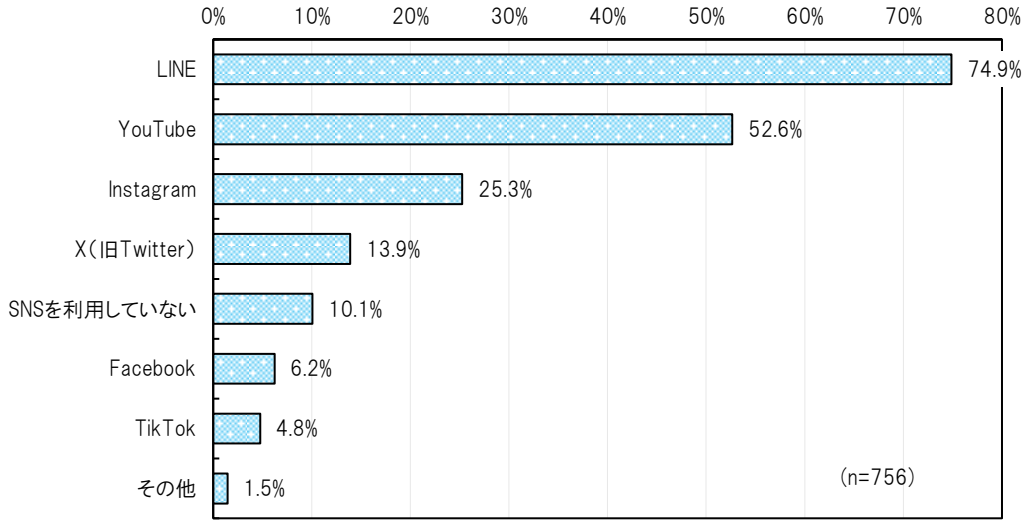
問 29　インターネットの利用用途　その他の内容

- データ保存(写真など)、スケジュールやメモなどの共有
- 何も出来ない
- 動画編集
- 利用したことがない。スマホ、パソコン経済的に購入できない
- 利用していない

問30.　あなたは、日常的にどの SNS(ソーシャルメディア)を利用していますか。利用頻度の高いものをお答えください。(○は最大3つ)

・　日常的な SNS(ソーシャルメディア)の利用頻度の高さについては、「LINE」の利用頻度が 74.9%と最も高く、次いで「YouTube」(52.6%)、「Instagram」(25.3%)と続いている。

図表 90 利用頻度の高い SNS



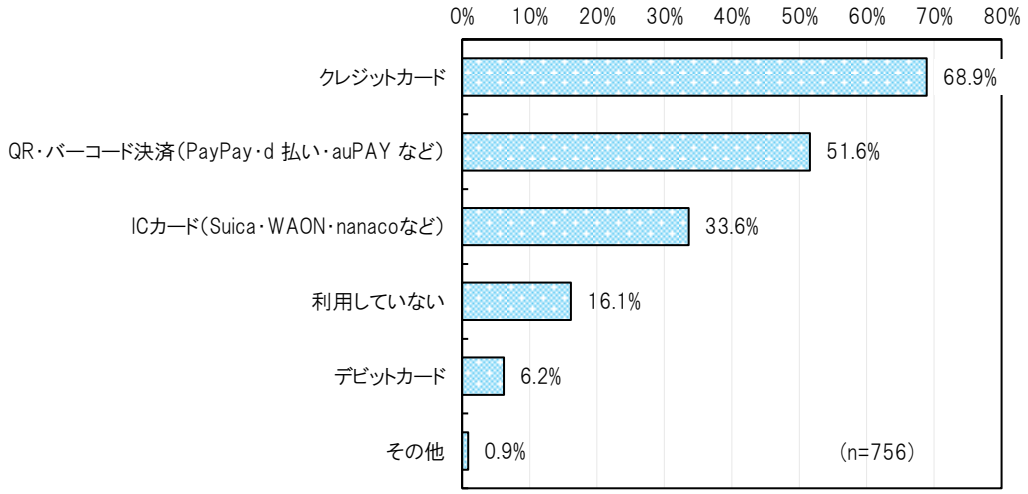
問 30　利用頻度の高い SNS　その他の内容

- discord
- swarm
- なし
- メルカリ
- 何も出来ない

問31.　あなたが現在、利用しているキャッシュレス決済について、該当するものを全てお答えください。（〇はいくつでも）

・　利用しているキャッシュレス決済では、「クレジットカード」が 68.9%で最も高く、次いで「QR コード決済（PayPay・d払い・auPAY など）」が 51.6%となっている。

図表 91　利用しているキャッシュレス決済



問 31　利用しているキャッシュレス決済　その他の内容

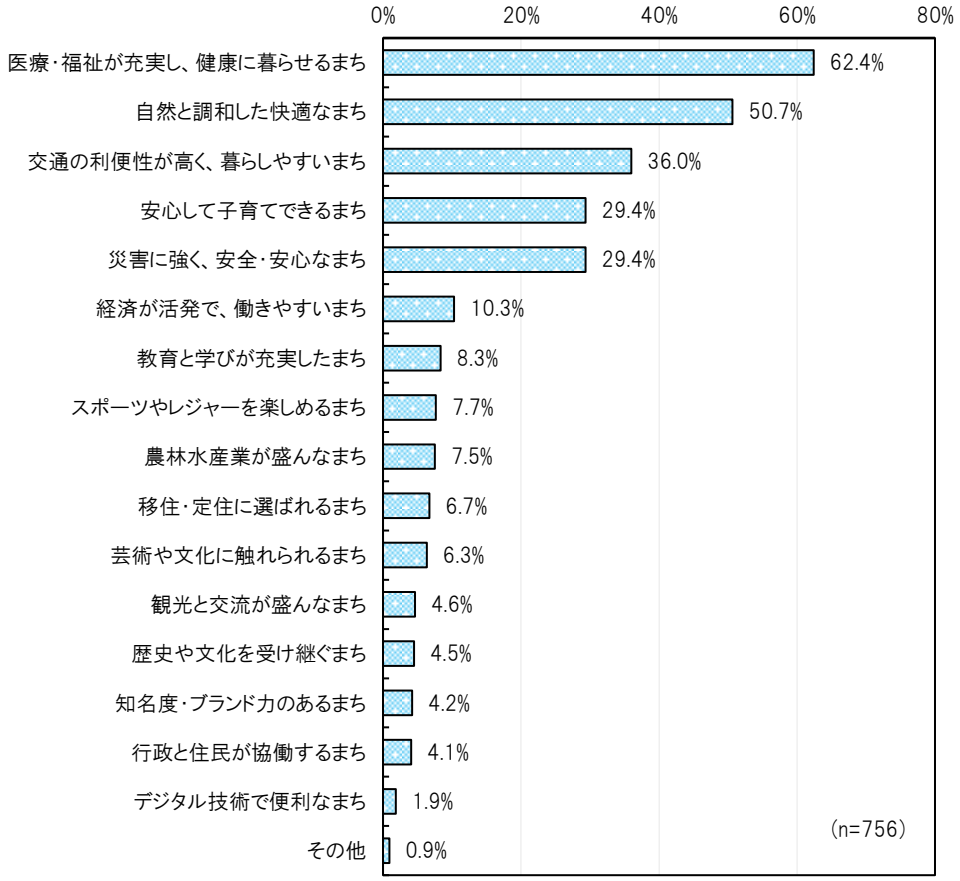
- しない
- 現金決済のみ
- 支出状況が分からないので利用したくない

（13）安曇野市の未来について

問32. 安曇野市が将来どのようなまちになってほしいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○は最大3つ）

- 「医療・福祉が充実し、健康に暮らせるまち」が最も高く、次いで「自然と調和した快適なまち」（50.7%）、「交通の利便性が高く、暮らしやすいまち」（36.0%）が続いている。

図表 92 将来どのようなまちになってほしいか



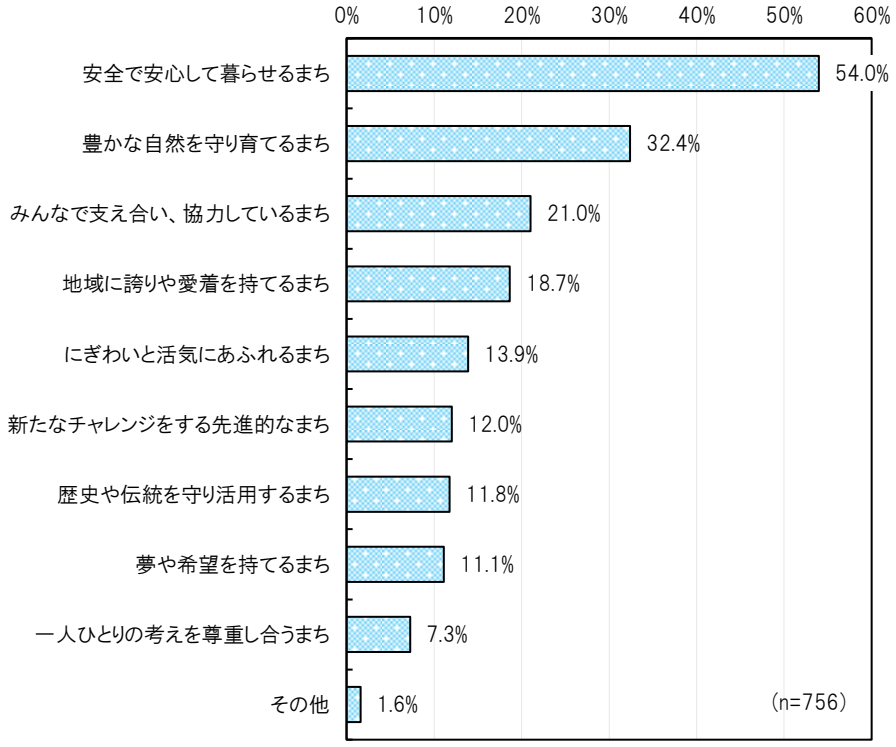
問 32 将来どのようなまちになってほしいか その他の内容

- 害獣対策の整備されたまち
- 教育がしっかりしたまち
- 金銭的不安のない住みやすい街
- 重要な施策はきちんともれなく発信してほしい
- 先住民の税金が移住者に支払われない市
- 年をとっても住みやすい町

問33. これから、まちづくりを進めていく上で、どのようなことを大切にしていくべきだと思いますか。（○は最大2つ）

・ 「安全で安心して暮らせるまち」（54.0%）が最も高く、5 割を超えている。次いで「豊かな自然を守り育てるまち」（32.4%）、「みんなで支え合い、協力しているまち」（21.0%）となっている。

図表 93 まちづくりで大切にすべきこと



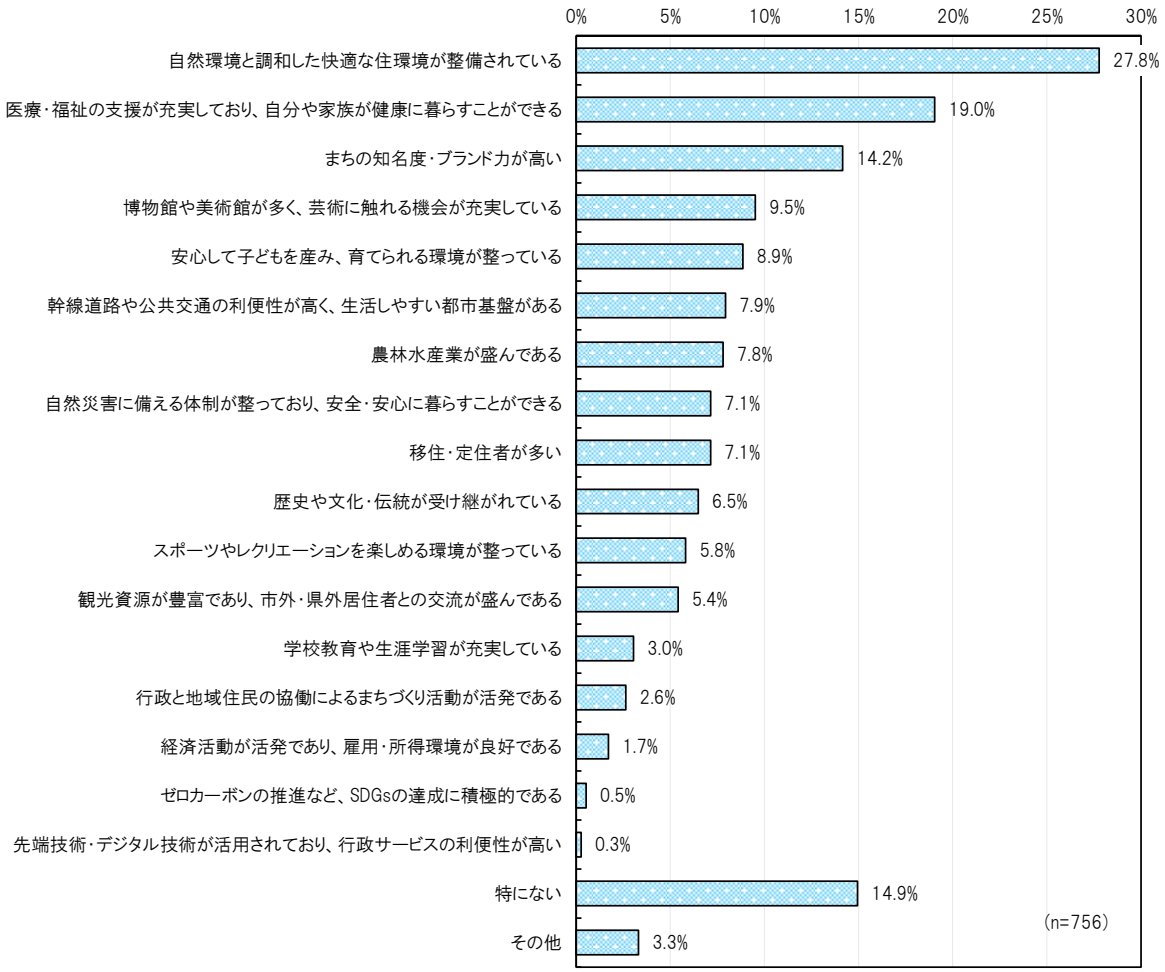
問 33 まちづくりで大切にすべきこと その他の内容

- 教育、学びを進めていく
- 交通安全、歩行者にも優しく道路の整備
- 財政の健全化
- 子育てがしやすいまち
- 子育て支援が充実した街
- 子供達が将来地元で働けて住み続けて行くことができるまち
- 市の緑化推進
- 市民を無視しない
- 先住民が暮らしやすい
- 地域間格差を無くす特定地域に資本集中している
- 美しい田園風景や景観が安曇野の良さだと思うので、保って欲しい
- 母子家庭の貧困を支えて欲しい。

問34. 安曇野市の暮らしやすい点について、【選択肢欄】からあてはまるものを3つまで選んで【回答欄】へ番号を記入ください。また、具体的な内容がありましたら、合わせて記入ください。

・ 暮らしやすい点では「自然と調和した快適な住環境が整備されている」が 27.8%で最も高く、次いで「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が快適に暮らすことができる」が 19.0%となっている。

図表 94 安曇野市の暮らしやすい点



問34 具体的な内容

※一部「問 35 安曇野市により良くなってほしい点や課題を感じている点」にて記述するのが適切と思われる意見が含まれているが、回答者の意思を尊重しそのまま掲載している。

① 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている（具体的な内容）

- アルプスが望める様に高い建物が無くて良い
- アルプスの景観を大切にビルが無い
- アルプスを背景にした田園地帯は素晴らしく、評価されている。米、リンゴ、ワサビ等の代表農産物も有り商工もバランス良く経済を支えている市は安全度も高く生活には重要なポイントである。
- ゴミの出し方が整っているので快適な住環境となっている。
- これまで都会に住んでいましたが、安曇野は自然が多く安らいでいます。
- すばらしい景色と自然
- すばらしい自然環境の中で生活できている

- ほどほど田舎でほどほど都会
- メガソーラーの規制によりきれいな山が保たれていい
- 圧倒的な山の景観が素晴らしい。それに見合うまちづくりや公園づくりをしてほしい
- 何と言っても北アルプスの眺望が気に入っており、山麓線には魅力的なショップが多く素敵な街です
- 夏場になると草が伸び放題になっている場所が多いです。
- 家から見える山がきれい
- 開放感があり、適度に自然に手入れがされていて気持ちがいい。
- 概ね、どこに住もうとも山や川が身近である
- 極端に景観を損ねる建物がなく、どこにいても田んぼと北アルプスを望める。
- 近所のどの家も自然環境が豊かで楽しそうに生活しています。
- 空気がキレイ
- 景観の良さ。誇れる点。
- 厳しい調整区域の設置により乱開発が防げている
- 公園がたくさんあり、川もきれい。
- 公園がよく整備されている
- 公園が多い
- 広い公園でたくさん身体を動かせる
- 高層ビルがなくてよい
- 高層建物がなく山川が美しい景観
- 国営アルプスあづみの公園充実
- 今のところ自然が多い
- 今の自然環境を維持してほしい。高い建物はいらない。
- 山が綺麗
- 山や川、緑がたくさんある
- 子供に良い
- 市政によるものというよりは気候と風土によるものだと思う
- 自然があふれながら、店舗などの利便性もある
- 自然がきれい
- 自然がすぐ近くにあり子供たちがのひのびと遊べる
- 自然が多く、街並や行き交う人々が土地や文化に調和している。
- 自然が多く暮らしやすい
- 自然が美しく空気が水がよい
- 自然が豊か。もっと活用しても良いと思う。
- 自然が豊かということはある意味では不便をともなうことでもある。特に農地は後継者がなく、耕作できなくなる場面が増えてくると予想され、中山間地対策が必要である。
- 自然が豊かでありながら、買い物店舗も多く、交通面でも便利
- 自然と街がちょうどいい
- 自然と町がほどよくすみやすい
- 自然もありながら、買い物するところにも困らない。
- 自然環境が整っているため過ごしやすい

- 自然環境が良い
- 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている
- 自然環境と調和しているかどうかはいまいち不明だが、住民の多くは異論ない
- 自然環境もよく商業施設も近く快適な住環境である。
- 自然環境を守りながら住宅をたてられていると思う
- 自然景観がある程度保全されている
- 自然豊かで気持ちよく暮らせている。
- 周囲が自然に囲まれ気持ちよく暮らせられる。
- 住みやすい店舗もありながら、緑豊かな景観も感じられる
- 住宅開発規制等があり、景観の良さが守られている
- 住宅地、田園、工業地帯がうまく分布している
- 身近に自然があり快適な住環境が整備されている。
- 水道水が安心して飲める住環境は素晴らしい
- 他の市町村に比べ景色がいい、水がきれい
- 他地域に比べ居住空間にゆとりがある
- 宅地化が進んでいる
- 但し最近は住宅建設が進み、田園風景が住宅地に変化進む
- 適度な田舎感がよい
- 田園風景、住環境、商店街が適度な距離にある
- 田舎の風景が保たれている
- 登山に行きやすい、登山道整備希望、全国から訪れるので駐車場充実お願い
- 農地を宅地にならないでいてすばらしい
- 白鳥と常念の見える景色がいい
- 白鳥やカモなど野鳥類が多く、日常的に観察など触れ合える。
- 畑や田んぼが多いのは、この安曇野市ではいいこと
- 風光景観
- 豊かな自然があり空気もきれい
- 北アルプスが見渡せる、自然が残る景色が良い
- 北アルプスが綺麗
- 北アルプスの見える安曇野らしさを第 1 に考えてほしい
- 北アルプスの眺めが非常にすばらしい
- 北アルプスを臨む景観が素晴らしい
- 毎日綺麗な山の景色に癒されています
- 緑が多くゆったりした住環境である。

② 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる（具体的な内容）

- 18 才まで子供医療費助成ありがたい
- こども病院があり、介護施設の数も多いほうと感じる。安心。
- デイサービス、ショートステイが充実している。
- 安曇野赤十字病院で健康診断が受けられる。他県に住んでいた時は、それぞれの受診をあちこちで受け

なければいけなかった。

- 医院、病院が多いので安心している。
- 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康で暮らすことができる
- 医療が充実していて福祉の面でお年寄りの施設がいくつもできはじめている
- 医療機関が多い
- 医療施設が充実している
- 介護施設の受け入れが乏しい
- 介護保険サービスが不十分
- 各地域に医療機関があり、地域住民が利用している
- 感染症や日々の治療において特に不便を感じたことがない。
- 休日診療があり、ありがたい
- 近くに病院かかりつけ医があり助かっている。
- 健康に暮らすことができている
- 健康診断を定期的にやってくれるので、早期に治療ができた
- 健康診断等の結果のフォロー体制
- 健診の充実と近くに相談できる医院がある
- 健診補助や介護サービスの選択肢が多い
- 検診が充実してる。
- 高校生まで医療費がかからない事がありがたい
- 高齢者や障害、病弱者への支援体制が充実しており助かっている。
- 高齢者向けの日帰り温泉割引券で入浴を楽しんでいる。市内に温浴施設が沢山あるので。
- 子どもの医療費が無料
- 子どもの医療費が無料で本当に助かっている
- 子供の医療費がかからないのは、すごく助かる
- 子供の医療費が無料になりとても助かっている。
- 子供の医療費無料が助かっている
- 子供の医療費無料とこども病院があること。子供が虫垂炎になったとき本当にサポートが充実していて助かった
- 子供病院があり助かっています
- 市の検診には助かってます。
- 市役所に包括支援センターあり、色々相談を出来安心感があります
- 施設入所の息子がおり、自立支援給付有難いです。故夫が自宅療養時介護タクシー等、助かりました。
- 自宅での介護ができて良い
- 松本市と合わせ医療機関が充実している
- 障害者のいる家庭ですが各種減免助かっております
- 障害者への福祉の支援が充実しており助かっている
- 身近な医療で困る事がない
- 赤十字病院が有る。
- 地域包括支援センターの役割がいい。
- 内科、整形外科、歯科が近くにあり助かってます。

- 日赤がある事により安心して受診出来る
- 日赤を中心に医療面は安心していられる。福祉もまずまずと思われる。民生委員の活動が不明である。もっと地域に入って身近に相談できるようにしてほしい。
- 年寄には有難い病院。医院の多さに感謝
- 病院、医院数が多く、安心して暮らすことができる
- 病院が多く助かっている
- 病院や診療所が多く安心して暮らせる
- 福祉が充実している（高齢者）
- 福祉医療は相談すれば答えてくれる
- 補助がしっかりしている
- 穂高、豊科地域との格差是正
- 包括支援センターにお世話になったことがあるから。
- 老後の医療、福祉の充実

③　安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている（具体的な内容）

- インクルーシブ遊具がある
- こども病院があることが大きい
- みんな優しい
- 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている
- 医療機関が充実している
- 一番大切な事と思います。
- 近くに学校がある
- 近所の方々との交流と協力
- 県立こども病院がある、経済的支援がある。
- 産科が充実してほしい
- 子育てが終わりましたが満足しています
- 子育てを終え、環境が良かったと実感
- 子育て環境の充実
- 子供が少ないので外で遊ぶ公園などが前よりふえた
- 子供の健診が定期的にあり、安心して育てられた。（乳児期保健師さんに話を聞いてもらえ助かりました。）
- 私共の回りの若い人達は戸建住宅で子供を 2～3 人持ち暮らしやすそう
- 自然が豊かで、都会と比較し人や車が少ないから
- 自然の豊かな所で伸びのびと子育てが出来る
- 就学前の子どもや 30、40 代を中心に転入が転出を上回っており子育て世代が転入している状況が示唆されているようなのでよろこばしく思います。私の孫も 5 才、2 才、6ヶ月の3人の子どもをがんばって育てています。安曇野市で子育てをしたいと思う世代が増えていくことを願っています。安曇野市独自の子育て支援をさらに進めていくことを希望します。
- 出産可能な病院が少ない。
- 他自治体に比べて治安が良いので安心して子どもを産み育てられる。

- 物価高で生活費も上がる中、給食費も全額ではなくても半分でも負担してもらえると助かります。
- 保育園が質、量共に充実してきているように感じる。保育士の労働環境、条件についてより向上させて欲しい。
- 補助がしっかりしている
- 遊べる場所が多い
- 予防接種の案内が都度郵送してもらえるので失念せず管理できておりありがたく、母子ものアプリで予診票を入力出来たりと助かっている。

④　スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている（具体的な内容）

- ANC アリーナなど、プロスポーツ観戦できる施設が整っている。
- ANC アリーナのように、ジムの設備がととのっているのはいいと思います。穂高の地域にもこのような設備があるとなおうれしいです。遠すぎて…
- ANC アリーナ、豊科南部公園
- あづみのハーフマラソン
- シニアの体操教室に参加しフレイル予防している
- スポーツイベントとして ANC アリーナを活用した体力測定など参加しやすい催しを開いている
- ソフトボール
- たくさんの方がスポーツを楽しんでいる
- 安曇野ハーフマラソンがあり毎年楽しみにしている
- 安曇野ハーフマラソンがとても人気がある。
- 安曇野マラソンが盛況なのが明るくてよいと思う。
- 安曇野マラソンへ毎年参加している
- 一般として施設をとるのが非常に難しい。団体優先で利用も多すぎだと思います。
- 公園がキレイな所が多い。ウォーキングしやすい。
- 公共施設が充実。民間のスポーツジムも充実している。収入の少ない私でも通える所があると良い。
- 広報あづみのでのスポーツレク等の情報を得ることができる
- 高歳者でも低額でスポーツができるようにして
- 国営アルプスあづみの公園、散歩からはじめて運動のきっかけになる
- 三郷がやっている「みんな DE スポーツ」
- 施設が充実している。
- 体育館などの施設が充実している
- 地区のレクレーションがある
- 程度の違う施設が各地に分散されていて使える
- 南部公園と拾ヶ堰のサイクリングロードが健康維持に役立っている
- 南部公園や自転車道など、ウォーキングやサイクリングがいつでも出来る。

⑤　学校教育や生涯学習が充実している（具体的な内容）

- みらいの図書館
- 安曇野市に新たに専門学校を作ってほしい
- 安曇野市の図書館、どこでも返却できるのがうれしい。

- 学校教育や生涯教育が充実し、不安が少しでも軽減された気がする。
- 教育できる環境がある
- 市内の図書館が充実している
- 市内小中学校の子供たちが落ち着いて勉学にとりくみ学校生活を送っている
- 自習がしやすい環境がある（図書館）
- 充実はしているが、手作り弁当の日がありここ最近細かい取り組みが多く楽しさを感じられず負担になっている。
- 地域やボランティアの方々が伝統文化など教えて下さり、子どもが地元の事を深く知るきっかけになっている。

⑥　歴史や文化・伝統が受け継がれている（具体的な内容）

- 一部区でしか引き継がれていない
- 開発が進むと同時になくなってしまいがちになるがまだ残す意欲を感じる
- 古里に戻る度、生まれ育った古里に会える
- 祭りが充実して楽しめる
- 祭りや三九郎などの行事が続けられている
- 自然や文化、伝統を重要視してそれらに慣れ親しむ機会を様々な形で催しがある。
- 地域内で、伝統行事を大切にしている。
- 地区等で伝統行事を守ってくれている
- 地元のことがしるされた本が沢山ある。学習する住民組織が多くある。
- 当地は文化的な臭いが有ると感じている方が（県外者）多い!折角だから文化、芸術面の充実に更に力を入れて欲しい。
- 道祖神、お祭りなどはしっかりと伝承されていると思います
- 歴史や文化･伝統が受け継がれている

⑦　博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している（具体的な内容）

- どんな小さな芸術館でももっと市としてアピール願いたい
- 安曇野市は芸術家も多く、高度な演奏家、美術展も多い
- 気楽に行ける距離にある
- 三郷には多田加助、穂高には碌山美術館　もっと全国に広めて欲しい
- 市内の児童生徒が無料で見学できる
- 施設は多いが、催事が少ない。例えば美術館の展示の催し等を充実して欲しい。

- 小さな美術館や大きな体育館などがとても多く、飽きずに楽しめる感じがあります。ただ、市や地域での維持は、大変だろうと思いますが…。
- 色々な施設があって、いい。
- 身近に美術館があり、気軽に訪れることができる。豊科公民館でのピアノリレーコンサートを楽しみにしている
- 図書館が充実していて素晴らしいです。
- 他の自治体に比べて数が多い。ギャラリー、クラフト作家が他の自治体より圧倒的に多い。
- 太田前市長より文化・芸術面にも力を入れてくださるようになり、この状況を継続して充実をはかってほしい。
- 中学校で本物の美術に触れさせてもらい貴重な体験ができたのがよかった。
- 中学生以下無料の美術館、博物館パスポートがもらえるのでうれしいです。
- 定期的に親子向けのイベント開催をしているので楽しい。
- 博物館や美術館が充実している
- 箱物は充実している。内容が不十分。
- 美術館、博物館、資料館が多数ある
- 美術館がとても多い
- 美術館が好きなので嬉しい
- 美術館が多い
- 美術館が多く、芸術に触れる機会が充実しているため、楽しい。
- 美術館が多く、市内の小中学生にパスポートを配布しているので親子で芸術に触れることができて良いと思う。
- 美術館が多く自然と感性が高まるようになった
- 美術館の数は多い
- 歩いて行ける範囲に美術館や公園、図書館があり助かっている

⑧　自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる（具体的な内容）

- そもそもリスクの少ない地域だと思います。
- プレミアム商品券ではなく、防災グッズを家族分そろえていくための補助を出してくれるとありがたい
- 区制度が充実している
- 公共施設の耐震化等も進んでいる
- 山間地域の道路の整備ができている
- 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる
- 地域が災害の少ない土地で助かっている。
- 暮らしやすさはあるが（あると思うが）、他の市町村に暮らした事がないからわからない
- 防災ひろばがちゃんと整備されている。
- 防災広場が充実している。

⑨　幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある（具体的な内容）

- あづさが停車する
- スーパーが多くありJRもあるので動きやすい

- デマンド交通で助かっている
- バス路線をもう少し増やしてほしい
- 安曇野インター、JR
- 安曇野インターに変わってから全国的にネームバリューが良くなった
- 安曇野市にはいくつもの駅があり生活環境は整っている
- 駅での離れた場所での交通のアクセスが悪い
- 各個人の住んでいる場所により差があると思います。私的には大変便利な場所で生活しているので満足している。
- 幹線道路が時々整備され安全に利用できている。
- 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある
- 県外ナンバーが多く通るが、そこまで休日混雑しない。
- 公共交通機関の利便性が高いとは思わないが、車さえあれば生活には困らずとても便利で住みやすいとは思います
- 高速 IC があり便利
- 高速道路インターが近く、商業施設もあり暮らしやすい
- 高速道路など、いま（まだ、車の運転ができる）はとても助かる
- 高速道路も通っているしオンデマンド交通も助かります
- 砂利道が多い
- 市内においてはスーパー等が全て入っているので近場で買い物がすませられるので便利
- 車で 10 分以内にスマート IC やインターがあり高速道路が利用出来る
- 車で生活する分には便利
- 車の運転ができなくなると非常に不便、隣組に入らないと情報が得られなくて公民館も利用できない
- 車社会に適合している
- 松糸道路ができる
- 田沢駅から電車で松本まで 7 分で行ける事。観光客があづみ野インターを拠点に松本、白馬、上高地、長野と観光できる事。しかしインター周辺にビジネスホテルがないのは致命的。
- 都会との行き来がしやすい環境があったら嬉しい。（新幹線など）
- 冬季通学路は雪かきができているように
- 道路が整備されていて良い。
- 道路は不便を感じないが、整備面・公共交通機関については不満

⑩　農林水産業が盛んである（具体的な内容）

- スーパーに地元生産者の野菜や果物を販売しているコーナーがあるので新鮮で良い
- リンゴ・お米等知名度が高く、良い物が生産されている。
- 安曇野産のお米は世界に自慢できる味だと思います
- 安曇野市はリンゴや稲作など農林水産業が盛んで、基盤とも思うし、とても魅力的だと感じています。
- 業としての農を継続可能な形に
- 荒廃農地を何とかすること
- 産業の継続に不安がある。
- 水が綺麗で田んぼ、畑がたくさんある

- 昔から農業が盛ん
- 先達の努力もあり、稲作、果樹がさかん
- 地元の農産物がおいしい。特に個人でできるだけ安全なものを作っている方々がいるので、助かっている。
- 地元の野菜、果物が豊富
- 地産地消が近くのスーパーで自然にできる。
- 田園風景そのまま保って欲しい。
- 農業、林業の所をもっと力を入れて欲しい
- 農業が盛んであって欲しい地域
- 農業が盛んで地元の農産物が多い
- 農作物が全てすすめられる程質が高い
- 農産物に関し全国に発信できる生産物がほしい。
- 農林水産業が盛んである（水産のみ）農林はダメ
- 米、りんご、わさび、そば
- 米、ワサビ等世界に輸出
- 米、麦、大豆、ソバ作りが多い
- 米作り、農家さんありがとう
- 野菜がおいしい
- 野菜や信州サーモン等おいしい。
- 野菜等の農産物の味、鮮度の質が高く、他県民からの評価も高い。
- 野沢菜産の農作物が充実していて美味しく安価である
- 林業には課題がありそうだが、バランスが取れている。

⑪　経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である（具体的な内容）

- 経済活動が活発であり雇用･所得環境が良好である
- 高卒、大卒の人たちが県内で就職できるよう企業の充実を計ってほしい
- 市内で適度に生活に必要な金融機関があり生活必要品が購入できる。働く場所も市内に分散して所在している。
- 通勤 20km 圏内に充分働く場所がある

⑫　観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである（具体的な内容）

- ほどよく観光が盛んで良いと思う
- もっとほしい所、友達がきたら案内する所がある
- わさび畑道祖神位しかないのでもっと楽しく遊べる町になればいいと思う
- 移住してきてよかったとよく聞く
- 過疎化している観光地にならないよう、観光客優先にならないよう注意が必要と思います。
- 観光スポットも街の魅力の一つだと思います
- 観光資源が少なく政策が見えない
- 観光資源が豊富であり、市外県外移住者との交流が盛ん
- 観光資源への公共交通が充実して居らず不便である。
- 県外からの方にも生産したものを購入してもらえる

- 市外、県外の方の方が、あるものへ感度は敏感であると思われる
- 時期は定期的であるが観光バスを見かける
- 自然という観光資源がある
- 大王わさび農場

⑬　まちの知名度・ブランド力が高い（具体的な内容）

- ただ、車のナンバーは松本に戻してほしい。
- テレビでよく、安曇野市の事を見かける
- まちの知名度、ブランド力が高い
- りんごが美味しい
- 安曇野、ワサビ、リンゴなどスイカなど他県より味が良い物が多いと思う
- 安曇野イコール良いところ、水と空気が美味しいとよく言われる。都会に無いものがたくさんあってそれが良い
- 安曇野ですぐにわかってもらえる
- 安曇野というブランド名は全国的に高い
- 安曇野と言う響きだけで、羨ましがられる
- 安曇野と答えるとほとんどの人知っている。
- 安曇野ナンバー
- 安曇野のブランドが全国的に少しずつ広がっている。
- 安曇野の知名度は高く、更に県外に発信すべき
- 安曇野の地名は全国に知られている
- 安曇野の名が全国的にメジャーである
- 安曇野の名称が日本中で知られている
- 安曇野の名前、りんご、大王わさび農場、アルプス
- 安曇野ハーフマラソンの人気が非常に高い
- 安曇野はいい所と言うイメージがある
- 安曇野は知名度･ブランド力が高く魅力的なまちだと思います。今後は地域独自の名産を加えたい
- 安曇野市というだけで憧れをされる
- 安曇野市というブランドが定着されてきているので大事にした方がいい
- 安曇野市としての知名度も上がっていると思う。白鳥など毎年来る。
- 県外からの移住も多いことから暮らしやすさが分かる気がする。
- 県外では知名度、イメージともに高い
- 県外にも知れ渡っている
- 県外に行ったとき、「あづみ野」を知っている人が多い気がする。ただし安曇野市として理解しているかは不明
- 県外の人も安曇野市を知っている
- 県外の人々の多くが安曇野のことを知っている
- 県外の方でも知っている方が多い
- 誇れる自然、農産物、晴天率。自信がもてる地域。
- 広々とした田園風景の向こうに聳える山脈、安曇野を代表する風景だと思う

- 市全体の知名度 UP
- 滋賀県から安曇野へ引っ越す際に、周囲の人誰もが「いいなぁ～!」と言いました。良い処として、安曇野は知られているのだと思いました。
- 車のナンバープレートに「安曇野」が入り誇らしい
- 水、北アルプス観光地として他県の方の認知度が高く、訪れたことが無くても安曇野の名を知っている人が多い
- 全国放送の番組で紹介されたり、安曇野ナンバーの導入で知名度の上昇を感じる
- 他県（特に都会）の人に安曇野に住んでいると言うとうらやましがられます
- 知名度がある
- 知名度が高いので認知されやすい
- 知名度が高い為大切にしていただけるような気がしています
- 知名度が高く、各種連携がし易い
- 知名度が高く商売しやすい
- 知名度が増えてきた
- 知名度を生かした産業や観光に力を入れるべき。安曇野市の発展に力を入れられるものがほしい。
- 特に北アルプス登山、里山、トレイル等の訪問者は安曇野市を良く知っていておどろく
- 農業をするにあたっての安曇野ブランドは大きい
- 文化、自然、農産物
- 北海道で「水」を買ったら「あづみ野の水」だった。東京でも「あづみ野の水」がコンビニで売っているのはうれしいが、水資源が心配
- 良いところだねと言われる機会が多い。

⑭　移住・定住者が多い（具体的な内容）

- アルプスの景色や災害からの防波堤
- ある程度 30 代の U ターン者がいるので、働き口を増やしてこの世代をより戻していきたいね
- 移住、定住者が多いことは喜ばしいことですが、常会行事等の協力性が課題な気がします
- 移住・定住者が多い
- 移住して来た人が多い地区なので住みやすい
- 移住者が増えるのはにぎやかになっていいと思う
- 移住者が多いので地域で孤立しても繋がることができる
- 移住者にもやさしくなった
- 移住者によって人口が増える事は良いと思う
- 移住者受け入れの際区や自治会への加入を積極的に進めるべきです。地域コミュニティは非常に重要です。
- 外人の定住者が多く、モラルが心配
- 外燈をもっと多くして住宅地を明るくして
- 県外出身の方が多い
- 今まで地区の子供が少なかったので役員が大変だったが最近県外から移住者が増えたなら助かった
- 災害が少ないこともあって、宅地が拡大
- 自治会に入会しなくても良い環境

- 若年層やシニアの移住者が回りにも多く活性化されていると感じる
- 就学前の子どもや 30、40 代を中心に転入が転出を上回っており子育て世代が転入している状況が示唆されているようなのでよろこばしく思います。私の孫も 5 才、2 才、6ヶ月の3人の子どもをがんばって育てています。安曇野市で子育てをしたいと思う世代が増えていくことを願っています。安曇野市独自の子育て支援をさらに進めていくことを希望します。
- 住みやすく、空気や自然と山の美しさ特にアルプスは最高のながめにかんじる
- 新しい団地の人が隣組を発足させた
- 年々大勢の人々が移住されている
- 比較的農産物の価格や借家など安い為人気がある。
- 穂高は見ただけで明るいが、明科は暗い、どんよりしていて住む気になれない（明科を拠点にしてもっと活性化を進めてください）

⑮　行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である（具体的な内容）

- 「協働のまちづくり」に基づく各々の活動はSDGsの17項目のいずれかに属する。活動団体はそのロゴの番号を提示していくとわかりやすいしSDGsへの参画意識も高まる。「協働のまちづくり」ということばは市民には遠いことばだがSDGsの17項目は世界共通の目標達成語。
- あき店舗が多いのでもう少し活気があるように
- 一般市民にも時として行政から声かけ参加依頼があればいい。
- 区の加入者の減少対策
- 行政にたずさわる人の教育

⑯　先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い（具体的な内容）

- あまりデジタル化が進むと高齢者にとってついていけない

⑰　ゼロカーボンの推進など、SDGs の達成に積極的である（具体的な内容）

- ゼロカーボン推進はこれ以上やる必要がない（理由）CO2 が地球温暖化にどの程度関係しているか不明。日本の排出量（CO2）は少ないのに中国やアメリカがやらなければ意味がないのになんで日本ががんばるのか?SDGs達成に向けた活動に反対（理由）いいことをしていると思う自己満足でないですか。
- 緑のカーテンや不要食器リサイクル活動など結果を出している

⑱　特にない（具体的な内容）

- いつでもきれいな水が使える
- もう少し充実して下さい
- もっと対象を絞って特化した施策が必要
- わかりません。勉強不足（私）です。
- 移住希望者に安曇野市のいいところはと聞かれて答えられない。
- 介護保険認定の格差。医師や主治医は介護状態だと言っているが調査ではいつも支援手を貸さないと歩くのも支度もできない。近くの人は自分で食事の支援や車の運転も出来るのに支援 2 でビックリした。我家は今度ようやく支援 2。病院の先生は何度でも見直しするようにいわれた。この格差はおかしい。（難病を患う）

- 交通網も少ないし、道も混むことがあるのでかなり住みやすいと思ったことはない
- 子育て世代に優しくない。高齢者への支援に傾倒し過ぎている。
- 他の市町村に勝っているとは思えない。
- 多方面にわたり、行政が頑張っていただいている事感謝です。よろしくお願いいたします。
- 大体満足している
- 特に暮らしやすいと感じていない為
- 暮らしにくい
- 本設問に対しして直結する選択肢がない

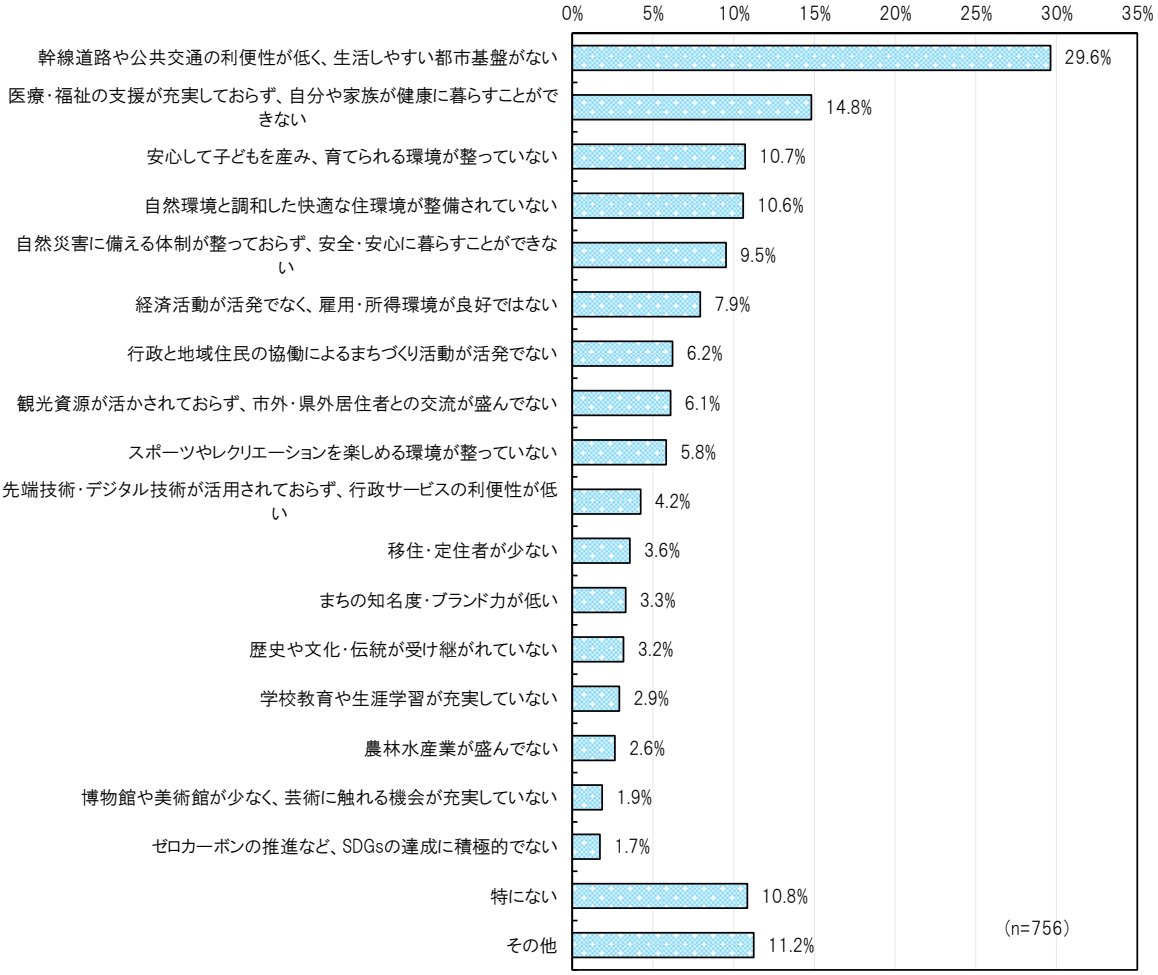
⑲　その他（具体的な内容）

- カフェやパン屋さん等たくさんあって嬉しい。
- スーパー、ホームセンターが多く生活品が手に入りやすい
- 移動手段が高すぎる。循環バス等の充実を計ってほしい。
- 夏場の気温が低く、他県より過ごしやすい
- 幹線道路特に補装が悪路であること、すぐやること
- 現在子育ても終わり介護も 10 年以上前に済んでいるので正直あまり市のお世話になっていません…（仕事が松本なので医療、買物等松本で済んでいます）
- 災害が比較的少ない
- 市役所の窓口に行けば、利用できる事はすぐ対応してもらい心強いです。
- 自然が豊かである
- 車のナンバーへのアンケートは非常に不満。やり直してほしい。絶対支持できない。クルマを買い替え出来ない
- 商業施設が増え、買い物しやすい
- 親の介護の為他県より戻り、内情をあまり知らない
- 図書館が充実している。内容をさらに充実させて欲しい。
- 水がキレイでおいしい。肌あれが少し治った。
- 生活するのに不足がない。基本的なものが揃っている地域。
- 他都市と比較して暮らしやすい要素がない
- 大きな災害や地震がなく、日々の安心安全が暮らしやすさにつながっています。
- 大型スーパーも多く、購入のための選択肢がある
- 冬は寒いが、雪は少ない方で、夏も暑いが朝夕の涼しさは自慢できる安曇野である
- 年金生活者にとって、国保税の負担は大きい。軽減対策を。
- 平均レベルに追い付いていない
- 北アルプスがきれい

問35. 安曇野市により良くなってほしい点や課題を感じている点について、【選択肢欄】からあてはまるものを3つまで選んで【回答欄】へ番号を記入ください。また、具体的な内容がありましたら、合わせて記入ください。

- より良くなってほしい点や課題を感じている点では、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が 29.6%で最も高くなっており、次いで「医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が快適に暮らすことができない」が 14.8%で続いている。

図表 95 安曇野市のより良くなってほしい点や課題を感じている点



問35 具体的な内容

※一部「問 34 安曇野市の暮らしやすい点」にて記述することが適切と思われる意見が含まれているが、回答者の意思を尊重しそのまま掲載している。

① 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない（具体的な内容）

- ありのままの自然も残してほしい
- インター周辺は生活するのに便利な施設、スーパーがあるのに、土地が宅地として活用できないため住宅が建てることができません。宅地開発をすれば移住者が増えるのではないでしょうか。
- うっとりする山並みの画像を県外者に送信したらすごい電線だねと言われました
- きれいな伏流水が農薬マイクプラスチックで汚染。なんとかしませんか。

- ごみ袋の値段が近隣の市よりはるかに高くてとても家計に負担だと感じる。
- だんだん埼玉みたいになってきた。最終的には武蔵野のように都会になってしまうのでは？
- ホタルが見られなくなったのでさみしい
- ホテルとかいろいろいらない。何もないのが安曇野の良い所だから、いろいろ作るのをがまんして、田舎の観光だけで自然を守るほうがいい。
- 圧倒的な山の景観が素晴らしい。それに見合うまちづくりをしてほしい
- 安曇野の観光が穂高地域だけを見ても下がっている
- 安曇野の田園風景が年々失われてきている。国の農業愚策に対し、地方は声を大にして米作りを行うことを訴る
- 安曇野市の歴史や文化、観光の中心である拾ヶ堰の水が汚く臭い。時に渇水時には酷く、ペットボトル等が散乱している状態を見た時には、安曇野産のお米は絶対に食べないと思った。
- 屋敷林など守っていかなければならないと思うが個人の負担が大きすぎる。
- 家畜による臭い等が風向きにより、ひどい時がある
- 家庭庭木の枝が道路はみだしで、道路が狭い見通しの悪い問題は行政が積極的に対応いただきたい。
- 河川敷の活用が全くされてなくウォーキング、遊具、植物などの設置があると各年代層の人たちが集まり健康向上、子育て助けあいがあるのではと思います。工事車輛ばかり目立つ
- 開発が無秩序
- 空き家が多い、多くても良いが、家まわりの整備、片付けができていない
- 熊や鹿、イノシシ等の被害があり、農地が荒らされ作物を育てる意欲をなくす→農地放棄→さらに荒廃がすすむ。熊は近くに出てはいないけど安心できない。
- 景観維持と住みやすい町（生活に必要な店の充実、働く場所が市内にある）の両立を考えた棲み分けた町づくり
- 景観条例が厳しすぎる。
- 建造物の制限をして欲しい
- 細い道路等の除雪がされず、シルバーにはきつい
- 細切れな宅地造成が多発しており、住環境が悪化している
- 使途不明な土地が多い。
- 自然と調和しない建物がある。
- 自然環境としてはいい条件がそろっているが、看板やのぼり旗、くずれかけた家など、景観への統一的な配慮がない。移住者向けの土地開発で土地が細分化され狭い場所に戸建住宅がひしめいている。
- 自然環境に恵まれているが最近は農地の宅地化や林野の宅地化が進み自然環境が少しずつ損なわれていると感じる。空き家の活用など既存の宅地を生かす施策を望みます。
- 自宅のはす向かいの家が住人がいなく荒れ放題になっているので火災など起きたら心配です。
- 住宅地（農地から転用されたような）が増えつづけ、空き家も多くなっている
- 住宅地と農地、混在しており調和がとれているとはよほど言いがたい
- 松枯れの伐採地に高木を植栽してほしい。ナラ枯れの恐れもあるのでケヤキが良い。伐採した松は松炭にできるよう炭ガマを作って市民が利用できるようにするなどしてビジネスにできないか。
- 人手不足のため自然環境保全ができていない。
- 生垣の剪定ゴミの処理を松本市のラーラでの様に大きなままでの、捨て方にして欲しい。
- 雪が降って積もっても除雪がなく凍って危険なので除雪をしてほしい

- 大きな会社が水（安曇野の水）をどんどんくみ上げていますが大丈夫か心配になる。これからは少し制限が必要かも
- 畜産団地と住宅地が接近しており、風向きや気候によって臭気に悩まされており、臭気対策に力を入れて欲しい。
- 田が消えてきている
- 田園がなくなり、宅地造成ばかり進み、元から住んでいる住民がゴミ出しなど不便になるばかり。
- 倒木、除雪などの早い対応をお願いしたい
- 農業をやる人が少なくなり、田畑が消え、都会的な家や商業施設が立ち始め、自然が壊れてしまっている
- 農村の野焼きで環境が悪い。対策してもらいたい。
- 農地がいろんな建物に転用されている
- 農地が点々と開発されてしまう
- 農地の乱開発が多く、保全すべき
- 必要でない高速道路を（松糸道路）作り、景観を壊している。このすばらしい自然環境を守れないだけでなく、工事費用を（借金）を若者に負担させる施策は、今からでも中止して欲しい!
- 不法投棄や、個人で家畜を飼っている方が、害のあるものを平気で放置、使用している。何度注意をしても改善しない所。
- 歩道の整備不足（特に雑草の処理）、による景観が悪い、空き家対策、空地対策
- 穂高に計画されているホテルもそうだが、新たな箱物は景観を損なう
- 無計画に開発されており景観が守られていない。
- 明科歩道区画整理を早く進めてほしい
- 木のガードレールはいらない。
- 有害鳥獣対策の充実（住環境との間を作る）
- 里山の整備は必須。松茸でなくなった。
- 里山地帯の生きるおり合いは大変です

② 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない（具体的な内容）

- 「もしものとき」に行ける医療機関がない（遠い、不便）
- あづみんの予約がしにくいと聞いているため、高齢者も不自由なく予約できるようにしてほしい。
- グループホーム等が非常に少なく障害がある人たちへの道をせまくしている
- どんな環境の方でも最後まで満足して暮らせるように。
- バランスの良い医療機関の配置
- 安曇野市にはリハビリを専門にする病院が無いということでしたので、義父が鹿教湯温泉へ入院しました。リハビリをするには、良い環境だと思う安曇野、ぜひ充実した施設を。
- 安曇野赤十字病院があるが産婦人科や脳外科など医師や体制に恵まれず他地域の病院に行かねばならない
- 安曇野日赤病院の医師がととのっていないため市外の病院をたよってしまいます
- 以前、緊急当番医（夜間急病センター）を利用した際、来いとは言われたが実際行くとなんの治療もしてもらえなかった。夜間救急をきちんと利用価値のあるものにしてほしい
- 移住地域の医療機関廃業に伴うサービス低下、開業医の高齢化が進み必要な治療が受けられるか心配

- 医療が極めて貧弱である。ほとんど松本市に行かざるを得ない。医師も質も良いとは言えない。（松本市も不十分ではあるが…）
- 医療環境の乏しさは実感。選べるだけの環境が整っていない。
- 医療施設が乏しく、危機を感じる。
- 駅前周辺の開発を市を中心にお願いします
- 介護施設の不足
- 開業医の高齢化で今後が不安
- 核となる医療機関がない。クリニックモールが欲しい。
- 休日の緊急当番医に小児科が入るようにしてほしい。今は松本市まで行っている。
- 健診の充実、各補助制度、生活病健診の補助がほしい、ガン健診、人間ドッグの補助制度、障がい
- 高齢化が進む中、病院などに通う事も困難になる地域の方も居るのではないか
- 高齢者の介護施設を充実させてほしい
- 在宅医療の充実、訪問介護、訪問診療の充実が不十分
- 子育ての中で夜間救急の時に松本市まで行かねばならず困った。
- 子供の予防接種の補助も少ない。眼科・耳鼻科も少ない。
- 市の子供が多く通う養護学校が池田にあり、この子供の存在を地域が知らない。市全体でももっと取り上げて
- 自分で運転できている間はいいのだが、免許返納後の行動範囲がかなり限られてしまうのが不安。あづみんの利便性向上を望みます。
- 自分の住んでいる地域が医者不足で心配
- 小児科、耳鼻科などが少ない
- 小児科医が少ないと感じる
- 小児科専門の病院がないため増やしてほしい。
- 松本市のマネをしているように感じる
- 障がい者の支援が充実していない
- 乗り物の無料券など一般市民にも支援があると良いのかと思います。
- 生活ゴミ（燃える物）の集積場所を増やして欲しい。
- 赤十字病院を存続してほしい
- 先端医療が出来る大きな病院
- 総合病院の受付システムの見直し
- 足が悪く、ゴミ出しが大変だが、介護保険の世話になる程でもないがボランティアさんの世話になりたい。ボランティア活動が活発になればいいと思う。
- 大きい病院が遠い
- 大きい病院が少ない
- 大人の食物アレルギーに対応できる医療機関増えてほしい
- 冬期に公園のトイレが使えず不便
- 特に障害者に対しての支援が少なすぎるので観光に力を入れず福祉に使ってほしい。（お金）
- 特に福祉関係（特に在宅高齢者）見まわりをしてほしい
- 内科は多いが耳鼻科と小児専門医がすごく少ない。子供の予防接種（インフル）への助成が少ない。医療の質の低下をまねく為なんとかしてほしい。特に耳鼻科専門医の質が悪い。

- 内科病院が多く、外科が少ないように思います。
- 日赤病院が地域中核病院となっていない
- 認知症への支援
- 年をとった時、介護など心配
- 買物がしづらい、松川、池田の方が整っている。
- 病院の数が少なく受診に困る。待ち時間も長い。
- 病気になってもかかりつけ医がみつかりにくい。
- 病児保育が可能な施設の拡充
- 福祉の支援がわかりづらい、もっと PR して下さい。（例）身寄りの少ない一人暮らしで困ったときはどこに相談すれば?ひきこもりはどこに相談すれば?
- 穂高地域に耳鼻咽喉科がすくない、眼科も少ない、市の福祉については良いです。
- 明科地域の医療機関が減少し、不便である。
- 予防接種の補助
- 予防接種や医療費

③　安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない（具体的な内容）

- 2 人以上の子どもを持つ世帯の 3 歳未満時の保育料無償化してほしい。
- ひとり親、児童扶養手当について。世帯収入で判断され、手当が停止される。同居家族の収入で助けてもらえる事は実際ない。子供のメンタル面でフルタイムの仕事からパートになる事になり、生活も厳しい。判断基準が現実的ではない。生きていけない。子どもを習い事（部活もなくなると）等どうしたらいいのでしょうか。
- みんな優しい
- もっと子育てのしやすい環境にしていくために、補助金や保育園等、公教育の充実を図ってほしい。
- 安心して産める産科が少ない
- 安心して仕事を続けられる環境が不完全
- 医療体制の充実を願いたい
- 塩尻や松本のように、子供が生まれて 50 時間くらいの保育園に無料で預けられるクーポンなどほしい
- 塩尻市の様な室内で安価で遊べる場所が欲しい
- 学童保育を充実してほしい。希望する者は全員受け入れる体制を整備してください。
- 急に子供を見てくれる場所がほしい
- 共働きの中、子供の体調不良時の一時あずかり場の充実。学校教員の専門教育。教育、育児の専門員の充実。
- 結婚してこちらに来てもお祝い金がなく、子どもを作るまでの基盤が作りにくい
- 公園の老朽化が進んでいる
- 公園遊具の整備を早くしてほしい（使用禁止のまま…）
- 産院がもう 2～3 ヶ所あると良い。一ヵ所だけだと集中してゆっくり話せない。
- 産婦人科、小児科の専門医が少ない
- 子育てする中で、保育料が高くなっており無料にしてほしい。無痛分娩を充実させてほしい。子連れでも遊べる所、食事ができる所を増やしてほしい。
- 子育てと仕事の両立ができない。

- 子育てにはお金がかかるので経済的な支援が足りていないと思う。給食費無料や児童館利用料無料など選挙の時だけ叫ぶのではなくちゃんと考えて実現してほしい。
- 子育て支援政策がどのようなものがあるか分からない
- 子育て世代への金銭的なサポートがあればいい。
- 子供を産める病院が少ない。子供を預けられる施設が少ない
- 子供を預けやすく働きやすい行政サービスを充実させたい
- 子供を預ける場所、遊ばせる場所が少ない
- 市外から越して来て、現在認定こども園に通っているが、給食が提供されない日が多く、仕事をしている保護者にとっては負担が大きい。また、3 歳児になると毎日主食持参も負担である。オムツのサブスク制度のように給食に関して導入してもらいたい。また、現在育休中であり育休退園にならずに済んだのはありがたいが、4 月から上の子が 3 歳児になるのをきっかけに 1 号認定になってしまう。支給認定も継続して利用出来るようにしていただきたい。また、近所の遊具が全て使用禁止になっている為、早め対処していただきたい。
- 児童館が需要を満たしていない。
- 自営業であっても、産休・育休保障が出るなど子育て支援を充実させてほしい
- 室内あそび場が欲しい、雨の日に困っています
- 出産の病院が少ないのでは
- 出生時のゴミ袋無料券をオムツ券に変えて欲しい
- 小学生の放課後保育施設は、もっとあっても良いと思う。
- 小児科単科の病院、クリニックが無く、受診に時間がかかることが多い。
- 松本市にあるような未就学児対象のこどもプラザのような場所があればいい。
- 赤ちゃんを連れている施設に授乳スペースがない。トイレが使いづらい。子どもをあずけられる施設が少ない。75 才まで小さい子の面倒をみないといけない（放課後児童クラブの利用要件）親や義両親と良好な関係でないと子をあずける先がない。働けない。
- 他の市では、冬に1人あたり、金券が支給されているみたいなので、子育て家庭に支給してほしい。
- 他市町村と比べて補助金や手当が少ない
- 他市町村に比べ、給付金が少ないし、物価高で食費もかかるので考えてほしい
- 他町村で早くから取り組んでいる住み着いてくれる子供を増やしてくれる若いカップルの呼び込み
- 通学路の確保　遠回りをしないといけない
- 登校に人気のない道を長時間歩かなければならない、歩いていける公園が少ない、冬の遊び場がない
- 不審者が多く、治安が心配。獣
- 不妊治療に力を入れてほしい
- 保育園を増やしてほしい
- 保育料（未満児）の無償化（せめて第二子だけでも）
- 穂高の西友近くの公園のトイレが閉鎖されておりとても不便。
- 母子家庭への援助の充実。家庭内暴力の対応を円滑にして欲しい。
- 豊科日赤での出産が出来ない、土日の公民館他の活動は、仕事している人には大きな負担です。若者が減るなか重要課題です。
- 防犯カメラの普及促進による安全・安心なまちづくり
- 未満児の保育料が無償じゃない点・子育て世代への給付金※松本市にはいずれもある

④　スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない（具体的な内容）

- AMC アリーナに柔道畳が無いため、全国規模の柔道大会が開催できないので松本市で開催されてしまい残念。
- ウォーキングコースでも車がスピードをおとさず通るので危険です。サイクリングする人がいると車で横を通る際に危険。
- サークル活動が気軽にできる体育館が少ない
- サンクラブ安曇野が営業終了してしまい、安曇野市に屋内プール施設が無くなってしまった
- プロスポーツ観戦をすることで、子供たちに体を動かす事の重要性やスポーツの素晴らしさを感じてもらいたい
- 安全かつ安心してサイクリングが楽しめる環境づくり
- 映画館や一日過ごせる施設がないため、市外へ出てしまう。
- 観客席の着いた野球場がほしい（10 万人の市だから）
- 公園の遊具が使用できないので、子供をつれて行っても泣かれて大変である。雨の日でも遊べる施設がほしい。
- 公園は芝生だけでなく日陰となる雑木林のような場所をつくってほしい。灼熱の夏でも遊べるような
- 高齢者が参加できるレクリエーションの場が知られていない。
- 参加するタイミングが少ない、興味のあるもの講座に参加しようと思ってもいっぱいになって参加できない
- 市のプールがひとつも無くなってしまった。幅広い世代で健康増進につながるプールは必要。
- 市内在住者には施設使用料は差別化を計ってもよいと思います
- 市民で楽しめる健康に関する取組みを。ウォーキングとごみ拾いを併せる等。
- 自分の実力の評価をたしかめたい場所や機会をもっと多くした方がいい
- 芝生やクロスカントリーコースなど足に負担の少ないランニングコースを整備してほしい
- 若い人が遊べる施設がほぼない。スケートボード（ANC は狭すぎる）施設を作ってほしい。こんなにスキー場が近いのに、チケット代が高すぎて全然いけない。市民割がほしい。
- 週 4 日程の頻度で泳いでいます。現状市営プールがないので松本まで出かけています。人口 10 万弱の市でプールの 1 つもないのはいかがかと思います。木曽町、小川村でもあります。
- 助成金等本来の目的以外に使われていないか。（例えば飲み会など、うわさ）市として調べてみませんか?（内々の監査はだめ）
- 身近な公民館で講座が少ない
- 誰でも平等に施設を利用しやすくして欲しい。
- 地区対抗の球技大会をもう少し増やしていろんなスポーツをやってみたい
- 買物がしづらい、松川、池田の方が整っている。
- 夜間照明のある芝生のグラウンドが増えてほしい。野球場ばかり充実している

⑤　学校教育や生涯学習が充実していない（具体的な内容）

- スポーツの課外活動がしにくくなっている
- 安曇野市だけ英語に特化した教育ができないだろうか?保育園から一貫した教育ができるようになれば、他県からの若い移住者も増えるようになり、人口減少にも歯止めがかかる。
- 学力が高くない気がして心配。教育に関心が高くない。

- 教育予算の増額、新博物館を作ってほしい
- 月謝が払えないので塾などは行かせられない。学校内で何かもう少し勉強を追加出来る環境があると良いと思う
- 現在の体制がどうなっているのかわかりませんが、自分の子供たちの時に支援級の配慮が足りないと思いました。直ぐになんとかしてもらいたくても、時間がかかりすぎです。子供はどんどん成長していくのですから、早く対応してもらいたいです。
- 高齢者サークル英語、学習、が無い
- 充実していない訳ではないが、穏やかな土地柄のため競争心が弱くなってしまっているように感じる。
- 塾に行かなくてもよい学力がつくように、学校の教育以外の勉強の場が欲しい。
- 小学校から自主学習があり、中学になるとそれが主になるのは良いとは思わない。強制的にやる宿題はある程度必要だと思う。自ら進んでできる子の方が少ない印象。
- 少子化に伴い、学校統合し教育をレベルアップする。
- 図書館の蔵書を充実して欲しい。漫画等も増やしてほしい。くつろいで読書できるスペースを作ってほしい
- 大人が学べる場所を増やしてほしい
- 中学校の部活地域移行が不透明
- 日本史を学ぶことが大切です。

⑥　歴史や文化・伝統が受け継がれていない（具体的な内容）

- コロナのこともあり地区行事が大変だからと区長、組長（となり組）などでかってに廃止にしてしまった。
- 一部しか受け継がれない
- 確かに受け継がれていないと感じる。若い人に目をむかせたい。←年配が満足していてはいけない!
- 市独自、国等からの制度があってもアピールがない。活用をうながす行動がない。神社等（山車補修等）保存費用の補助等関与がない。
- 若い人に対する歴史・文化への興味のわく発信の場をもうけてはどうか。
- 若者参加が見込めず継承出来ない地域行事がある
- 深刻な担い手不足
- 地域に子供が居ない
- 地域に若い人が少なくなり、伝統的な行事もできなくなっていくと思われる。地域の活性化に力を貸してほしい。
- 地域の行事が減り、大きな行事だけが残るがそれも参加者が減っている。
- 地域の祭りなど、若い人が外に出てしまい継承する人もどんどん減り、開催が危ぶまれる
- 地域の祭りの規模が小さくなってる
- 伝統を受け継いで行ってほしい。子ども達に。
- 伝統行事への参加者減で続けられない
- 年寄りの知恵をもっと広めることが必須
- 文化の後継者がいない
- 北アルプスの山並みと農村風景こそが安曇野だと思いますが白壁の土蔵や屋敷林が消えゆくのは残念です

⑦　博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない（具体的な内容）

- 松本市、塩尻市のように芸術を観る場所がない
- 新しい博物館の設置。現状、他にひけをとらない企画が行われている。それに見合った容れ物を。
- 数は多いが展示品の割に入場料が高い印象。
- 多くの美術館があるが、利用されていないように感じる。
- 大きなホールと芸術祭があってほしい
- 博物館、美術館は多いですが、皆楽しんで触れるイベントがあると良いと思います。
- 博物館はできるのか気になる
- 美術館で特別展が増えれば県外からも人が訪れるのでは。
- 美術館等は、他の自治体より多いが、美術館が集まった大きなイベントがなさすぎ（特に大町の芸術祭期間中）とか他県から多くの芸術ずきが集まってきているのに。
- 立派な箱はあるのに有効に活用されていないと思います。

⑧　自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない（具体的な内容）

- テント代わりになるので、川に氾濫危険地域では車での避難想定はどうでしょうか。
- ハザードマップがまっ赤の地区に住んでいます。災害がおきないかと心配です。
- 各地域ごとの避難所等の拠点整備が遅れている
- 各地区の公民館の整備が整っておらず、災害時避難所としての役割をはたせていない。
- 区では、災害に備えるため、防災倉庫の設置や備品の購入を始めています。市から購入の半額助成がありますが、予算規模の小さな区では負担が大き過ぎ。防災倉庫や、簡易トイレ、担架、AED、石油ストーブ、シュラフ、簡易テント等基本的なものは全額助成にすべきではないでしょうか。予算規模の大きな区が有利。予算に余裕のある区が有利。
- 公民館が避難所となっているが、木造で 1 部屋が広く、耐震性に問題がありそうに見えるが、市は OK としている。対策してもらいたい。
- 黒沢川の洪水が心配（工事をしているのは知っていますが、どの程度洪水が減るのか知りたい）
- 災害時の区の備えが心配
- 災害発生時の初動対応等地域情報が不明確である
- 自然災害は少ないが、議論は必要
- 除雪（エンカル）をまいてほしい。スタッドレスでも、大きい車は、登りづらいです。成相のデリシアの立体道路が、すべって、のぼらない事を 2 回見ました。渋滞していました。
- 少しの雪や寒波で交通マヒ、ちゃんとエンカルまいたり除雪しましょう！
- 浸水地域とわかっているが早めに避難できればいいが、浸水してしまってからだと逃げ場がない
- 前川の内水氾濫が心配だ
- 大地震があったときは多くの建物の倒壊がありそう
- 地球温暖化に伴う気候変動に対応する体制を整えてほしい
- 避難所がどのように整備されているのかの情報がない。トイレ、ベット、パーテーションの有無などわからない
- 日頃から災害避難場所の明確な指示
- 避難場所の整備
- 備蓄の保管場所がよく分かっていない

- 防災スピーカーが聞こえない、聞こえづらい。

⑨　幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない（具体的な内容）

- JR 駅への利用手段が車がないとタクシー利用となり老後不便です
- あづみんの利用料を一律 65 歳以上は、100 円にしてほしい。それが無理ならせめて70歳以上の方は 100 円にしてほしいです
- あづみんを、休日や時間帯を長く運行してほしい（免許返納）で困る方が増えています。至急お願いします。
- この先、車が運転できなくなったら、公的交通が充実していたらありがたい。
- これからますます高齢化していくみ、移動問題は大変です
- せっかくいくつもの駅があるのに、周辺整備が行われていないため、JR の利用率が上がっていない。利用率が上がれば、便数も増える相乗効果も期待でき、交通渋滞も緩和される。
- そろそろ運転免許返上も視野に入る年齢になりました。それでも買物や催物に出掛ける足として「あづみん」を期待しています。時間帯により定時運行など利便性の向上を図って欲しい。
- デマンド交通で早い時間はいつもいっぱいで予約ができない。デマンドの車両をもっとふやしてほしい。
- バスが充実してない
- バスの利用方法が不明
- まだ国道や線路で渋滞が発生してしまう難しい問題
- もう少しバス（穂高内を走る）を増やすなどをして高齢者の助けになればいいと思う→シニアカーが車道を走ると危険
- もう少し利便性のある道路を増やしてほしい
- 安曇野の中でも主要な場所にしか駅がなく、通勤通学に不便
- 医者へいくのにどうしても車が必要となる。高齢になった場合心配。
- 一ノ沢登山口など林道の整備を進めてほしいです
- 右折帯の設置、歩道の設置
- 駅から遠く、自動車の運転ができなくなった後が心配。（市外の病院への通勤等）
- 駅まで遠く本数が少ない。地元民のための路線バスもない、観光にも車必須で不便すぎる。
- 駅周辺（豊科・穂高等）の開発、凍結道路に対する雪氷対策、東西道路の整備
- 幹線道路が狭く、渋滞している。
- 幹線道路だけでなく、町道も整備してくれないと生活しにくい
- 幹線道路でも路面が荒れているところがあり、目が届くようになるとよい。
- 幹線道路に関しては、整備されていない道路が多い。歩道が特に。交通量の多い道路の歩道は、もう少し整っていてほしい。太田市長の急逝、中山市長による新体制…あわただしい中での衆院選、携わる皆様、本当にご苦労さまです。今後に期待し、応援、協力させていただきます。
- 幹線道路も丁字路に突き当たる。「あづみん」は使いづらく、いつでも使え普通のバスなどの公共交通が必要。
- 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市の基盤がない。電車の本数が少ない。
- 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない（市内を回るバスが有ればと思う）
- 幹線道路他市に比べて非常に悪い、すぐにやるべき
- 基本的に車が無いと何も出来ない。デマンド交通は予約がめんどくさそう

- 狭い生活道にミラーや歩道が少なく怖い。物理的に拡張不可能なところも多いだろうから難しいが。
- 近い将来車を手放した時、今ののる一とでは不安
- 現在は自家用車を運転しているが、出来ない時の気楽に使える公共交通（バスなど）充実が望まれます。
- 交通の便が悪すぎる
- 交通の利便性が悪い。バス、電車のインフラが足りない。
- 交通の利便性が低く、車がないと生活しにくい
- 交通手段の充実
- 交通量の多さがストレス、観光時期
- 公共交通があまり整っておらず、もし自分が高齢になって車の免許を返納した後、日々の生活が安心して送れるか不安。
- 公共交通が整っておらず、車の運転ができなくなると住み続けることができない。
- 公共交通が不便で、結局車がないと生活ができない。
- 公共交通のバスをもっと利用し安くした方がいい
- 公共交通の利便性、特に老人対策
- 公共交通の利便性がわるい。高齢になるにつれて駅まででにくい。バスが少ない。定期巡回バスがない。
- 公共交通の利便性が低い、もっと自由に利用したい、免許返納後が心配
- 公共交通の利便性が低く、車がないと生活できない。免許返納に不安がある。
- 公共交通機関(電車やバス)
- 公共交通機関が充実してないので、車が必須
- 公共交通機関をより充実してほしい
- 高齢になり車の運転ができなくなったら買い物などが不便な地区なので困る。格安のバスやタクシーなど
- 高齢になり免許返納した場合移動手段がなく生活に不便を感じる。高齢者の生活基盤の充実を希望します。
- 高齢化率上昇し続けている状況より、交通の利便性は重要だと思います。近所の道を見ても車社会の道であり、弱者のための道路整備をして欲しい。高齢者、子ども、環境面を考えた自転車道など、他自治体と比べ特化した政策をぜひ行って欲しい。
- 高齢者が（車を運転出来ない）もっと気軽に利用出来る様サポートしてくれる人が欲しい!
- 高齢者など、交通の利便性が悪い
- 高齢者の移動手段の充実
- 高齢者の免許証返納を進めてほしい。公共交通の利便性を高めてほしい→又は高齢者が”あづみん”等に切り替えやすいよう、何か考えてほしい
- 高齢者への配慮（交通手段）がもっとほしい
- 国道、県道、市道共に、「交差点に右折専用車線」があまりにもなさすぎる！
- 最寄駅から遠い
- 山麓地域では限界集落になりつつありいずれ集落は消滅する。その兆候ははっきり見えている。
- 産業団地が出来て、狭い道路の交通量が増えて、危ない。生活道路でもあるので、幅など広げていただきたい。
- 市内の公共交通網を充実させてほしい（高齢者の為に）
- 市役所へのアクセスが悪い
- 自宅の団地内を抜け道にされているので車が速度を落とさず台数も多くとても危ないです。渋滞を避ける

ためとは思いますが通学路にもなっている住宅地を使われるのは辞めて欲しいです。周りの道路への利便性を考えて欲しいです。

- 自転車道が少なく、また歩道が狭すぎて危険に思います。
- 自動車が無くては暮らせない地域が少なくない
- 車がないと出かけられない
- 車がないと不便で免許反応後の生活が大変不安です
- 車が主すぎる。もう少し公共交通の利便性が上がれば、若者が動きやすく、集まるようになると思う。
- 車の運転できなくなった時の不安
- 車の運転免許を返納した時の交通手段がない
- 車の免許を返納した後の交通手段が乏しい。あづみん以外の手段がほしい。また、シニアカー購入時の補助金があるといい。
- 車をもっていない年配者などの移動手段の充実（あづみんなど）
- 車移動が出来なくなった時の移動手段が少ない
- 車社会の為、冬の除雪や歩行者の安全等心配な事が多い。
- 車道と歩道の間のブロックが長くて、駐車場などに侵入する時、怖い。
- 重柳の交差点が慢性的に渋滞しておりとても不便。
- 新幹線があれば更に移住者も増え、活気ある街になる
- 新幹線など止まれば高いとの繋がりがあり、観光客も増える…増えすぎても困る事もある…
- 人がくるように、交通機関がほしい。松本空港の行先充実など
- 人がまばらで車社会から抜けられない。買物も松本市のほうが便利。
- 足がない老人はどう生きていくのですか?
- 大糸線の本数が少ない。
- 宅地開発が先行し、道路事情が追い付いてない
- 地域も高齢者が多く、独居も多いです。買い物や通院の”足”が自家用車にたよっている現状が不安です。デマンドもありますが、やや物足りないです。
- 地区内の交通手段がない。定期バスは必要（地区内の）。高齢者が動けない。明科駅から穂高駅のバスの運行は必要（観光上）
- 地元商店の充実
- 朝、夕の混雑を無くすためバイパスを作る、車道と自転車道の区別が必要。市内のバスの活用、あずみんがあるが年寄りは使いにくいとの話をきく
- 朝の通勤時間塩カルを撒いてほしいです。通勤しにくい。
- 通院、買い物が（高齢者）行ける様なシステム
- 通学路に歩道がない。何年も前から計画されているようだが、10 年経ってもまだ出来ていない
- 鉄道の周遊価格があったらよいと思います。
- 電車が日中1時間に1本しかなく、バスもわかりにくく感じ、車がないと暮らしにくいと感じるため公共交通機関を充実させてほしい。
- 電車で行ける場所が少なく、車がないと出かけられない。
- 電車の本数が少ないこと、駅が自宅から遠いこと
- 電車の本数が少ないのに、車両の数も少ない
- 電車の本数を増やして欲しい。

- 電車時刻のつなぎがとてもよくない
- 都市基盤である公共交通及び道水路の拡巾等の拡充
- 冬の雪の時は除雪も遅く困る。道も狭い所が多い。
- 凍結道路等によるエンカル散布の休勢不備が今年度は多い
- 東京までの時間がかかる。11 にかかわります。
- 東西を結ぶ公共交通がほぼないこと
- 道がせまく、車が通れない
- 道が悪く、観光産業に影響があるのでは？
- 道路がせまい
- 道路が渋滞しているにも関わらず、片側 2 車線の道路もない。
- 道路の開発も景観を大切に
- 道路は入くんでおり、警察が隠れて取り締まっている。整備した方がよい。接続性も悪い。
- 道路は不便を感じないが、公共交通の利便性は皆無。高齢者の免許反応や登下校のためにもなんとかしてほしい
- 道路は良いが公共交通は不足と感じる。運転をしなくなったら生活できないと思う
- 道路整備の補強をお願いします
- 道路整備や道路拡張進まない
- 二次交通（オンデマンドの更なる充実）を希望する
- 年齢がすぎた人への気配りや、買物をするにも店が少なく都合としてほしい高齢者への気配り
- 農道と国道に車が集中し過ぎて不便。松本へ出る橋が少なくて混雑。
- 舗装の劣化が激しい。大型トラックの通行が急増している。
- 歩道がなく、自転車、歩く人々が常に危険にさらされている
- 歩道が無かったり、片側だけの幹線道路もあるので整備を
- 免許を返納したあとの交通手段が不便
- 免許証返納後の不安、買い物、病院への足が無い。交通手段の充実
- 免許返納後の交通手段
- 目的地に行くまで数ヶ所寄っていく利便性が悪いと利用者からきいた。それはそれとして仕方ないことではあるが…
- 老後車がないと住む事ができず、離れるしかない現状
- 老後車の運転が出来なくなった時自由に外出できる公共交通を充実させて欲しい

⑩　農林水産業が盛んでない（具体的な内容）

- 10-15 年前に比べると農作業等があまり行われていない
- ドローンによる空中散布で蜜蜂が死んでいる。
- 以前より知名度が低くなっている気がする。わさびにたよらず、他のブランドに力を入れる。
- 公共交通の利便性が良くなればもっと暮らしやくなる
- 小規模農家、兼業農家対策・支援がない
- 水路の水もれがあり田が水びたし
- 盛んであってほしいが、もう少し活気がほしい
- 鳥獣害対策をやっていただきたい。荒廃農地対策も充実していただきたい。

- 農家への支援（費用面、後継者の育成）が弱い、もっと充実を！
- 農家以外の人のせんぜ畑を推進し、体を動かし自分の食糧をつくる人が増えたら健康的。特に若い人
- 農業従事者が減少、高齢化している。行政の支援が必要。
- 農林水産業が盛んでない。
- 目立つ耕作放棄地が荒れ放題なのを何とかできないものか？

⑪　経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない（具体的な内容）

- 「住みやすそう」というイメージだけで実は低所得者層が多い
- WI-FI 使用場所増えて欲しい
- シルバーの労働時間月間 80H 以内の撤廃してほしい
- フェス・コンサート等で市外からの収入を増やせるようにしては。
- もう少し大きな企業が長野に来て欲しい
- もっと雇用が増えてくれればと思う
- もっと働く場所があったら良い
- 安曇野の強みが介護サービスになっているが収入は少ないので他職種を伸ばした方が良い
- 安曇野市での地域住民に還元がない
- 企業誘致、観光施設誘致が出来ていない、市の行政サービスは税金です。お金がないと始まりません。最重要課題です。
- 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
- 経済活動は重要であるが、そこに拘る必要性があるのか疑問。緑のある自然と調和された安曇野が大好きです。この素敵な景観を大きな軸として発展していって欲しい。それによって、自ずと人が集まる地域になると信じてます。
- 経済活動を豊かに出来るスペシャリストを招いて欲しい
- 個人の店舗等小規模のものは多いが大きな企業が少ない。求人も接客業や製造業ばかり。企業誘致に力を入れる事も考えて欲しい。
- 雇用、所得環境の充実化
- 工業団地の整備で企業誘致を図ってほしい
- 高齢になってもこの街で働いていけるか不安。現役世代は（特に独身者は）この点をシビアに見ている。
- 最低賃金をもっとあげてほしい。（物価高対策）
- 市外で働く人が多いと思う。市内に雇用がないかと。
- 所得税は改善されても主婦の 130 万円以上の所得で社会保険への加入で生活が厳しくなっているので 130 万円以下に働き控えとしているのが現状です。
- 障害者の雇用企業が少ない
- 職業の選択肢が限られる
- 製造業のさらなる誘致による雇用環境整備
- 全市民にクーポン券などで物価高なので平等に配布してほしい。
- 低賃金の中小企業や非正規が多く、働く選択肢が少ない。エリアも松本市になってしまう。
- 東信と比較して、製造会社（あらゆる業種）が少なく雇用が少ないと思う（交通不備）
- 働き口がないから若い人が都会から戻ってこない。稼げる農業法人を
- 農業の振興に商工業の振興がほしい。穂高駅前に店がほしい。ホテルがほしい。

- 豊科駅前の開発、窓口として魅力ある街づくり
- 魅力的な就職先が無く、どんどん若者が流出している
- 余裕のある生活が送れる所得が得られる場所、事業所が少ない。

⑫　観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない（具体的な内容）

- アートヒルズ撤退後の建物の再利用を考えてはどうか？
- いい場所がたくさんあるが、うまく活かされていない気がする
- オブジェを南部公園に設置するそうですが、地域住民がフォトスポットとして常に発信するかは疑問です。発信するのは観光客ではないでしょうか…?私的には北アルプスが目の前に広がる安曇野インター出口から先にフォトスポットを作るか、アルプスと安曇野が一望できる絶景スポット長峰山展望台に設置する方が効果的だと思います。
- すばらしい安曇野の良さがもっとアピールされても良いのではないか?と思う。
- もうすこし観光資源がほしい
- もっとアピールしても良い
- 安曇野、主に豊科、穂高、三郷などの観光の PR をしたらいいのではないか。若者が都会にあこがれてそっちで住んでしまっている。
- 安曇野市の観光資源はなにか、よく検討して欲しい。
- 駅前がさびれすぎ
- 観光にもっと力を注いで欲しい
- 観光にもっと力を入れるべき、寒い時期は特に
- 観光客等宿泊施設の老朽化等が考えられる
- 観光従事者がもっと増えて欲しい
- 近くの他市町村に比べ、サービスの充実を感じられない
- 犬の散歩にオススメのエリア・公園が欲しいです
- 山岳観光の充実を行ってほしい。
- 山岳観光を活かせるよう、駐車場やバス等の整備をしてほしい
- 自然の景観が宝物なので、それらを生かした安心できる集客の場の提供。ゆったり景観を楽しめるベンチやトイレ、山道の整備、ウォーキングコースの充実化
- 自然の美しさ等ポテンシャルは計り知れないので、訪れたいと思うようなお店や居場所をもう少し増やすとよい
- 早春賦の公園のコンクリートの椅子直して（1台）、早春賦祭りの駐車場の有効化
- 知人をわさび農場と長峰山の雲海を見に案内した時長峰山からの雲海を見た知人が人生で一番の景色だと感動していました。その時他の見学者は数名しかいませんでした。これは宝の持ち腐れだと思いました。
- 長野県を観光目的なら安曇野は通りすぎちゃいそう
- 白馬のとおり道になっている。縦貫道が出来たら、安曇野による人がいるのか疑問。わさびのイメージは強いが、その他の資源が少ない。
- 穂高温泉郷は今寂れている。もったいない。元の賑わいになるようにアピールというか有名人に宣伝など企画

⑬　まちの知名度・ブランド力が低い（具体的な内容）

- もっとブランド品を増やした方が（玉葱以外）いいと思う
- もっと有名になって欲しい
- 安曇野市の楽しい「CM」映像があると良いな（ブランド力は有ると思います）
- 以前より知名度が低くなっている気がする。わさびにたよらず、他のブランドに力を入れる。
- 観光客を誘致するのは良いが、地元店の対応が追いついていない。まず、受け入れ先の強化、案内が必要だと考える。
- 限られている数しかブランドがない
- 少しずつ浸透してきているが、目玉となる作物等がない
- 東京の友人に安曇野と言うと意外と知らない人が多い
- 魅力がたくさんあるのに決まった観光地食べ物しかメディアにでない。誰も知らない物を発信してほしい。
- 名は知られているがネット上での拡散力が弱い。

⑭　移住・定住者が少ない（具体的な内容）

- インター周辺は生活するのに便利な施設、スーパーがあるのに、土地が宅地として活用できないため住宅が建てることができません。宅地開発をすれば移住者が増えるのではないでしょうか。
- 安曇野の魅力をもっと情報発信してほしい
- 移住、定住は自由だが、先住者の生活スタイルを変えるのは違うと思う。他社から意見されて今までの風習が無くなるのは悲しい。理解してもらいたい。
- 移住・定住者が少ない
- 移住者が多すぎて、安曇野地域の考え方・価値観になじもうとするのではなく、都会のやり方・考え方を「これが正しい」と先住市民に押しつけてくることが本当に多い。互いに尊重しあえる関係を作れたら良いのですが、そのようにいかない移住者がとても多く困っています!移住者はもう来ないで欲しいです。
- 移住者は一定数いるが、地元生まれの若年層は県外や他市に流出している。
- 外国人増加に伴う治安悪化が心配される昨今慎重な対応をお願いしたい
- 近隣の市町村に比べて移住者が少ない
- 空き家がとにかく多い
- 空き家が多く移住しやすくない
- 空き家を家を必要としている市民に利用してもらえる制度。（住まいに困っている）貧困者、高齢者への住居支援の充実。
- 県外移住者が増えている現状。現住民との関係性強化
- 高齢化が進む中、子育てに選ばれる地域を目指してほしい
- 高齢化になっており、自分世代が少なく負担が多くなってきている。仕事もあり地域活動が難しい。
- 耕作放棄地を増やすだけの景観条例を見直し、行政主導で住宅を増やす環境を整えて欲しい。鳥獣被害で耕作もできない無価値に等しい土地に道を作ることで、安曇野が好きな移住者を呼び込めるなら、土地所有者も感謝し喜んで協力するものと考えます。
- 知人がインターから 1 キロ以内で土地を探しましたが、あっても数件しかも 300 ㎡以上で建築費込みで 5 千万円以上必要と言われ断念しました。飲食店や大規模店は乱立しているのに小さな住宅すら建てられないのはなぜ。
- 働き口がないから若い人が都会から戻ってこない。稼げる農業法人を

- 買物がしずらい、松川、池田の方が整っている。
- 明科地域の人口減少が心配だ
- 来る者は拒まず、去る者は追わずの理念で。

⑮　行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない（具体的な内容）

- ゴミの捨て方が周知されていないためか、だめゴミが捨てられ、回収業者は持っていきません。町内会に入っていない人たちも多く、回覧板や役員の活動だけでは大変すぎます。行政との協働、行政側から地域市民へのゴミの捨て方指導や方法周知が必要だと考えます。
- よくわからない
- 移住する際に地域に入りにくい環境。地区や隣組の仕組みが不透明
- 一人暮らしの老人等の安全確認
- 各地区区長の負担が大きく、区長他役員の選出極めて困難。各地区住民の一番の悩み事に付き、役割・待遇の配慮を切に願う。
- 干からびていて機能していない水路が多々有る。
- 空き家が多い、積極的に支援して資源化を！
- 景観条例とかで自分の土地を利用できない、軽井沢を見本と聞くがどこが軽井沢になったか税金の無駄、先住民をだいじにする市政、自分の土地を自由に使える市政、提出書類が他の市より少ない市政
- 交付金や補助金を出すだけでなく職員が地域の中へ入って来て欲しい。一緒に汗をかいて欲しい。
- 行政は、移住者に対して、もっとここでの生活の仕方をしっかり説明すべき!すべて地域にまかせきりではないかと思う。
- 行政側の働きかけを知らない。
- 今後人口減少、社会の縮小が進むと予想される。地域の力が弱まることから行政が地域に入り、きめ細かく対策してほしい。
- 山間部の裾野荒地に出回る猿対策
- 自治会に積極的に参加する人に報酬があるべき
- 新しい住宅地が開発されるが道路の整備や区への対応などが追い付いていない
- 地域で活動できる人が減少していき活動が制限せざるをえない
- 地域の入区に対し行政は無関心・積極的であってほしい
- 地域住民もへってきていると思う。もっと安曇野市に来てほしい。
- 地区の活動もままならなくなっている地域住民の現状をもっと把握し仕組みを改善するべき
- 昼間まちにいるのはシニア世代ばかり。駅前はきれいになったが、人がいない、何とかならないものか。
- 農村意識が強く、新転入者が少ない
- 廃墟化した空き家、店舗がかなり目につく
- 穂高納涼祭の音頭、サンバの交流の方法

⑯　先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い（具体的な内容）

- Ⅴ チューバーやメタバースなど半端に手を出して結果に結びついていない。流行りだからと手を出す傾向にある
- あづみんが気持ちよく利用できるように。予約なしでも
- アピールが無ければ、活用のしようがない。

- チャットbotの活用など、行政サービスの窓口の対応に対してデジタル技術を活用してほしい。
- 具体的な案は出せないがこの文章のように明確な安曇野では他とはこんなに進んでいますが皆無
- 公共料金支払いのキャッシュレス化
- 行政指導がやや他の自治体と比較し遅れている感があるのが残念。市職員の先進教育、訓練や派遣等で行政力を高めて欲しい!全国の先進市町村の利絵を習うのも良い!市民に呼びかけ市民の持っている力を活用することを願う。
- 高齢者にも優しい行政であってください
- 障害福祉の資料が毎年毎年同じものを何通も手書きで書かなければいけない。公共あづみのWi-Fiも少ない
- 食品をバスなどでまわる移動販売、高齢者への気配りを期待し店が近くにない都合、安曇野市はバス希望（松本のように100円バスとか）
- 他の市に比べ、サービス提供が遅い。
- 多くの住民にIT教育が必要。
- 電子申込、ホームページなど、わかりにくく操作もしにくくて不便でしかない。この設問が三つまでなのも不満
- 保育に関する申請のデジタル化
- 防災無線が聞こえない、スマホで簡単に確認できるように
- 面倒くさい手続きの効率化と、申請などが遅い
- 欲しい情報が探しにくい

⑰　ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない（具体的な内容）

- 15とも関連します。SDGs環境問題に市としてどのように取り組み、住民としてどのように協力すべきか、よく見えてこない気がします。広報「あづみ野」、LINE、ホームページでの広報以外に何かアイディアはないものでしょうか。市議会を傍聴すればよいのでしょうが、気軽に市政を知る方法があればうれしいです。
- 2024年度安曇野市は内閣府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定された。2030年までに17の国際目標を達成するためにも市全体で「SDGs」の意識をもっと高めていく運動をおこしていくと良いと思います。市としてSDGsへの強い意識を示して下さった前太田市長は市の発行物への「SDGsのロゴ・アイコンの表示」に積極的に示して下さいました。活動団体だけではなく市民1人1人も日常の生活の中で自分にできるSDGsを意識していけるあづみの市民に!ハチドリのひとしづくの如くに。活動している諸団体のチラシにロゴNoを入れ表示していくことも。
- 意味わからず、私は80才代です
- 再生可能エネルギー（自然エネルギー）導入への補助
- 地球温暖化は深刻だ。リサイクルの推進、むだな消費はしない等 SDGsをもっと啓蒙すべきだ。市はもっともっと働きかけを行って欲しい。
- 特定層へのEV補助金はムダと思います。そうした予算は10年でゴミになる車につけるのではなくケヤキとか高木を植えて100年200年の資産にして残す方が良い。工業製品は市場原理に任せるべきです。

⑱　特にない（具体的な内容）

- 急激な変化は望まない。
- 現状でよい

- 今のところ不便を感じていない。
- 町の所々にもう少しベンチをおいてほしい。
- 特にない、満足している

⑲　その他（具体的な内容）

- 〈農業の振興〉①安曇野のイメージは豊かな自然、田園風景がありますが、その農村風景維持が大変です。あぜ草刈りをしない田んぼが増えています。高齢であぜ草刈りが出来ない場合は「軽度生活援助事業」で雪かきや家周りの手入れで市から補助がある様になぜ草刈りも適用できないでしょうか。②所属している地域営農組合は、毎年赤字で、このままでは負債をかかえたまま、解散も出来ません。→市と農協とタイアップして営農組合の支援を希望。
- ①上下水道の整備、改修は今からかなりな程度で行わないとそのうち手がつけられなくなるのではないか?②町なかに空き家が多い。住んでいるのは老人ばかり。なんとかならないか?
- IT 推進
- あずみんはあるが老後の足となるものが心配
- イベント会場があると嬉しい
- おひとり様高齢者の声を聞いてほしい
- この用紙、無駄じゃありませんか?効率悪くありませんか?満足度、重要度だと知らない事もあるので、解りづらいです。もっと簡略化した方が答える方も楽です。
- ゴミ収集所が少ない（自宅から遠くて苦労してます）
- サイクリングロード安曇野を一周出来る様に。観光ポストを入れ、光城山、長峰山を一体的に管理（整備、補修等管理が大事）
- ぜひ安曇野市の特産として、アケビを盛んにして。好きだし他に無いし。
- デジタル化が進むが、老人にとってはとても追いつけず、理解できず、使えない。老人にも親切にしてもらいたい。人と人とのつながりを深める対策をお願いしたい。
- デマンド交通の利用について。乗合エリアを広げてほしい、豊科東方面
- のら猫など保護した猫などの補助金など、安曇野市はないと思うので、市民と同じで安曇野市で暮らしている生き物なので取り入れて欲しい。他の地域の方が発展していると思う（現在も捨て猫育っています）
- もっと観光に力を入れてほしい。自転車だけでは冬は無理でしょう。年間を通して観光客を受け入れる対策を考えてほしい。路線バスがあるといい。
- 安心して若者同士が知り合えるイベント等を行ってほしい
- 安曇野ナンバーありきの検討委員会は不満。経済的余裕があれば引っ越したい。松本ナンバーなら住み続けたい

- 安曇野市の活性化を図るには先ず企業誘致が大切だと思います。働く所が増えれば若い人も増えると思います。若い人が増えれば子供も増えると思います。人が増えれば市全体に活性化すると思います。安曇野市民はセコイように感じる。住人を説得するには大変だと思うが、優秀な市職員の努力でプラスの方向へ導いてほしいと思います。何か物足りなく歯がゆい思いをしています。（アンケート内容に対して理解に苦労をした所がありました。）
- 安曇野市明科地域は、人口減少が非常に進んでいます
- 安曇野市役所の待合のイスが汚くがっかりした。市役所は行政の顔、いろいろな人が来るので注目する必要有。夏場の歩道の整備、雑草で歩きにくい。
- 移住に力を入れるのは良いが、自然を破壊せずにバランスを取って欲しい。
- 映画館がない
- 何をするのにもやることが遅い、スピード感をもってやってほしい。質問が多すぎです。読むだけで大変
- 学校の PTA 一律廃止、地区役員等のあり方の見直し。やりたくない人が大多数の中で、存続する意義がみいだせない。
- 教育環境と学びの場を増やす、増やしてほしい。（英語、中国語、IT、工場、農業、災害、経済など全ての分野でエースが生まれる、育つまちへ。みんなが学びにすすむ町にしてほしい）
- 教員住宅の空き家の件、何かに利用できませんか？
- 空き家がたくさんあってもったいない。
- 空き家問題への取り組み。積雪時の雪かきの充実。可能な限りいろいろな道をかいてほしい。
- 空農地の利用方法を考えてほしい。
- 景観は山脈だけで結構です。街は高層住宅を増やし人口も増やす事が重要である。他にも山ほど言いたい事ある
- 現状維持で満足せず、将来に向けた種まきをして欲しい
- 公共施設、上下水道等の老朽化問題。早急な取り組みで安心安全で住み良い暮らしにもつながると思います。
- 公共施設や学校の空き教室などが有効活用される対策がない。
- 公立の学校に日本語を「読めない、書けない、話せない」外国人の子どもが入ってきている。これはよくない。
- 高齢化で、空き家、耕作できない農地が増えていると感じます。（明日は我が身ですが、、、）
- 高齢者のデジタル技術を学ぶ場を身近にし、携帯やスーパーのレジでの支払い等で戸惑わない様にして欲しい。セルフレジで困っている人を良く見かけるので。お金の事だと手助けするのを躊躇してしまう。
- 高齢者の異動手段があづみんでは不十分。地元タクシー会社と協力し、タクシーチケットの補助制度の充実や介護タクシーの充実。運転免許返納した高齢者への異動手段への補助。
- 高齢者の移動手段が自家用車であることがほとんどで、危険!公的な移動（定期的に通るバスのようなもの）手段が欲しい。

- 今回のアンケートに答えるに当り感じたことを一言申しあげます。これだけの設問を考えるということはある程度課題が何であるか判っておられるのではないか。アンケートそのものにあまり必要性を感じない。大衆迎合主義におちいらないよう全うな与論(public opinion)を汲みとってほしい。(与論の形成は議員活動の大きな使命でもあるが)市の政策形成には疲労頭脳を集めることが肝要。市内外の有識者、専門家、経営者、学者等による政策合議体の設置を提案する。一時的な sentimental emotion にとらわれないよう注意して下さい。(s.e とは世論という与論と異質なもの。)
- 今回の回答では「現状どちらともいえない」が多かった。市として、医療、教育など実際には取り組んでいると思うが、具体的に市民に伝わっていない(自分が理解できていないだけかもしれない)
- 子供がいないので分かりません
- 市のごみ袋が高い、アパートなど必要ない人たちとの差が激しい
- 市民アンケートはむずかしかった。
- 市役所職員の対応が昔と違って事務的すぎる。
- 自然環境の良い中、犬の散歩をする人も増え、フンや小便を道端にし、片付けない人がいます。市の条例を作り、環境を良くしてもらいたい。小中学校の通学路が狭いところで、スピードを出している車が多々います。速度標を着けて頂きたい。又、子供達の通学マナーも悪いです。大きな木の有る公園の回りの家は、秋の落葉に迷惑しています。大きな木の伐採と整備をお願いします。
- 自宅の目にある田んぼからトラクター等から土がついたまま道路に出てそのまま放置されているので、水を入れている時、あふれていることが多々あり、道路がぬれておりますので、改善していただきたい。
- 若い世代が集まるような場所がない。出生率が上がるような地域になって欲しい
- 若年世代の県外流出を防ぐ措置が必要
- 商店街でシャッターを閉めている所が多く、活発でないため寂しい。豊科筑の成相～新田の R147 の道路を広げて安心して歩けるようにしてほしい。
- 松本ナンバーが良いので選択制に。
- 松本山雅へのホームタウン(支援)は終わりにして欲しい
- 水道水が青くなることに対応してもらえない
- 生活道路整備、宅地樹木の整備されていなく視界不良、道幅縮小など通学路を含め安全が保てない
- 雪かきをしてほしい。道路の除雪がされず、次の日カチコチになっていて危ない。
- 雪が降ると道路がすべりやすいのですぐにエンカルをまいてほしいです！！
- 全住民で何が困っているかをペーパーレスでアンケートをとった方が良い。それに応じた対策をとっていって欲しい。
- 素晴らしい安曇野をもっと知ってもらいたい。観光発信が弱い。駅周辺がやる気がない。
- 他市町村と比べて安曇野市職員のレベルが低く感じることが多々あります。なぜなのだろう。このようなアンケートをとるより先に職員の研修を充実させてはどうだろうか。
- 多様性がなく、皆同じでないといけないような風潮がある。地区に入っていない人はそうじの出不足金などがなく不公平である。地区に入っている良さを感じない。入ってないと悪口を言われると言われて入っているが、お金ばかりとられて入っていない人との差別化がないのでなんのために入っているかわからない
- 太陽光パネルは、今問題になっている通りで、不要。
- 地域活動の担い手に偏りが有り、立ち行かなくなる心配が有る
- 中山間地の課題にはあまり力を入れてくださってないように感じます。
- 町会の役員の押し付け合い

- 長野市へのアクセスの良さや長峰山、龍門淵などがある明科地域の活性化することで観光客を増やせないか
- 伝統、文化、芸術に固執し過ぎている。クリスマス、ハロウィンなどの盛り上がりが寂しい。
- 働き方が多様化（夜勤などの変則勤務、単身赴任など）している中で自治会の役員などへの圧が強すぎたり、参加できない行事への集金が不満。
- 道路がガタガタ過ぎて、とても観光地とはいえない、主要道路沿いに、トレーラーの会社を誘致しすぎ。朝の通勤時に迷惑かけられている。猫の放し飼いによるふん尿被害。
- 道路の補修について。幹線道路は、工事の内容が違うのか、何回も同じ所を工事しているようにみえるが、一歩脇道に入ると、上下水道等の工事後のガタガタになった道路が、いつもでもそのままでいつになったら舗装し直すのだろうと通るたびに思います。地区の人からばかりでなく、役所の人もふだん通っていて、気がついたら申請して、直すことができるようになるといいと思います。
- 道路渋滞の解消
- 独居高齢者の相談窓口を充実させて下さい。よろしくお願いします。
- 農産物、田、畑への動物被害が多くなって来ている。作れない状態に。
- 農地、宅地などの括りがいらない
- 農地が住宅地に変えられていくこと。家だらけの町になっている。
- 農地の埋め立てによる景観の悪化がひどい
- 農薬問題にとりくんでもらいたい。農薬農業、松枯れ散布軽減など
- 必要な自治会活動もあるけど無くしてもいい役員活動は廃止して欲しい。今の時代に合わせて負担を減らしてくれたらうれしい。
- 歩道がないところが多すぎる
- 穂高南小学校周辺の信号機の設置（日吉神社側の十字路と学校北西側（プール側））交通安全教室にも利用できると思う。
- 豊科あたりの田畑の荒れが気になります。水、田畑、北アルプス、これが安曇野だと思っております。
- 毎年の健診の申し込みの仕方を工夫してもらいたい。ハガキでは、わかりづらくその時々で申し込みをするのは忘れてしまったり、働いている人には、大変だと思う。土日とかもとり入れてもらえればうれしい。温泉の入場料など、市民にはもう少し安く入れるようにサービスしてもらいたい。せっかく温泉がたくさんあるのに…市民優待券など…
- 野外、屋内ともに、音楽関係イベント（ライブなど）を開催・誘致できる施設がない。高速な通信企画に対応する基地局等設備が整っていないため、サービスプランの地域対象外となっている。（高速なネットプランを契約できない。電波がつながりにくい。など）
- 隣接市に比べ情報が遅く残念な事があった。例えば松本ではすでに実施されていたので実施したところ（帯状疱疹）市からの補助がもらえなかった（2023 年度実施しました。高額の自費で）

参考資料

◆令和 7 年度市民意識調査票

市政全般に関する市民意識調査への協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成 30 年度から「第２次安曇野市総合計画前期基本計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進充実に取り組んで参りました。令和５年度からは「後期基本計画」がスタートしています。こうした市の事業や施策の推進に、皆様の意見や考えを反映するため、アンケート調査を実施します。

アンケートは、市内にお住まいの 18 歳以上（令和 7 年 12 月 1 日時点）の 2,000 人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和８年１月　安曇野市　政策経営課

＜ご記入にあたってのお願い＞

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和8年2月27日（金）まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- **インターネットによる回答も可能です。**詳しくは裏面をご覧ください。

<この調査のお問い合せ先>
安曇野市　政策部　政策経営課　企画担当
電話：０２６３-７１-２４０１（直通）※平日の 8:30～17:15
ＦＡＸ:０２６３-７１-５１５５
Ｅメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

【インターネットによる回答のご案内】

＜手順＞

①　アンケート回答ページにアクセスしてください。

URL: https://apply.e-tumo.jp/city-azumino-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=66925

［アクセス方法１］

右の２次元バーコードを読み取ってください。

［アクセス方法２］

安曇野市ホームページの検索欄を「ページ ID 検索」（又は記事 ID 検索）に切り替え、「0098595」と記入・検索してください。

表示されるページの上段に記載された URL にアクセスしてください。

②　案内に沿ってご回答ください。

＜ご注意点＞

・　インターネットで回答した方は、紙での回答は必要ありません。

・　インターネットによる回答は、一度限りとしてください。

1．あなたやご家族のことについて

問１． あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。（１つに○）

1．男性	2．女性	3．答えたくない・その他

(2) あなたの年齢をお答えください。（１つに○）

1．18～24 歳	2．25～29 歳	3．30～34 歳	4．35～39 歳
5．40～44 歳	6．45～49 歳	7．50～54 歳	8．55～59 歳
9．60～64 歳	10．65～69 歳	11．70～74 歳	12．75 歳以上

(3) 主に従事している職業等をお答えください。（１つに○）

1．農林水産業（専業）	2．自営業・事業主	3．勤め人（常勤）
4．勤め人（パート・アルバイト、派遣等）	5．専業主婦・主夫	6．学生
7．無職	8．その他（　　）	

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。（１つに○）

1．安曇野市	2．松本市	3．塩尻市
4．大町市	5．その他（　　）	6．通勤・通学していない

(5) お住まいの地域をお答えください。（１つに○）

1．豊科	2．穂高	3．三郷	4．堀金	5．明科

(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。（１つに○）

※ 15 歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

1．安曇野市	2．松本市	3．大町市	4．塩尻市
5．その他の県内市町村（　　）		6．東京都	7．神奈川県
8．埼玉県	9．愛知県	10．大阪府	
11．その他の道府県(　　)		12．外国（国名　　）	

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。（１つに○）

1．安曇野市以外での居住経験はない		2．松本市	3．大町市
4．塩尻市	5．その他の県内市町村（　　）		6．東京都
7．神奈川県	8．埼玉県	9．愛知県	10．大阪府
11．その他の道府県(　　)		12．外国（国名　　）	

問２． 世帯状況についてお答えください。（１つに○）

1．一人暮らし	2．夫婦で二人暮らし	3．二世代同居（親－子）
4．三世代同居（親－子－孫）	5．その他（　　）	

2. 安曇野市での暮らしについて

問３． あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。（１つに○）

１．満足している	２．どちらかといえば満足している
３．どちらともいえない	４．どちらかといえば不満である
５．不満である	６．その他（　　）

問４． あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。（１つに○）

１．ずっと住みたい
２．一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい
３．他の市町村へ移りたい
４．わからない・その他（　　）

問４で「**1. ずっと住みたい**」または「**2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい**」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの 3 つまで○)

１．生まれ育った場所で、生活に慣れているから
２．安曇野市の風土や食べ物が好きだから
３．友人がたくさんいるから
４．職場が近いから
５．持ち家があるから
６．両親や祖父母の近くで生活したいから
７．(親などから) 地元で生活するように言われているから
８．その他（　　）

問４で「**3. 他の市町村へ移りたい**」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの３つまで○)

１．都会に興味があるから	２．買い物などが不便だから
３．働きたい会社がないから	４．街に活気がないから
５．親と別々に住みたいから	６．魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから
７．公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	８．若い世代が少ないから
９．安曇野市の風土が好きではないから	10．冬の生活が大変だから
11．近所付合いや地区の役職等がわずらわしいから	12．子育てしにくい環境だから
13．職場が近くなるから	14．その他（　　）

問５． 安曇野市に愛着を感じていますか。（１つに○）

１．とても感じている	２．どちらかというと感じている
３．どちらかというと感じていない	４．感じていない

3. 安曇野市の行政に関すること

■市の全般的な施策等について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】
各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。(1つに○)

【② 今後の重要度】
各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。(1つに○)

(1)　自然環境について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　河川、山林などの自然環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3　太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4　ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問6．　あなたが、身近な山林での活動において興味があるものはなんですか。(○は最大3つ)

1．森林整備	2．薪の調達及び薪づくり	3．山菜やキノコ採り
4．ジビエ・狩猟	5．釣り	6．自然観察(生き物・植物など)
7．ウォーキング	8．木工	9．地域材の利用
10．キャンプ・レジャー	11．その他（	）

(2) 医療・福祉・人権について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 医療体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地域において、支え合える関係が築けている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 障がい者が安心して生活していける地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活に困ったときに相談できる体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 互いの個性や立場を尊重している地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問７．「子どもの権利」を知っていますか。（１つに○）

※「子どもの権利」とは、子どもの権利条約で定められた「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」といった子どもたちが持つ基本的な権利のほか、おとなと同じように、ひとりの人間として持つ様々な権利や子どもならではの権利のことです。

１．内容を知っている　　２．言葉は知っているが、内容は知らない
３．初めて聞いた

問８．　安曇野市がより健康づくりに向けた環境を整えるにあたっては、どのようなことに力を入れて取り組む必要があると思いますか。（○は最大３つ）

１．各種健診や保健相談などの充実
２．時間や金銭負担を気にせず気軽に受診ができる医療環境の整備
３．感染症などへの予防接種支援
４．健康づくりイベントの開催などによる健康増進啓発活動の推進
５．身体・知的・精神障がい児（者）への支援体制の充実
６．民間の医療施設・体制の整備・充実
７．認知症やフレイル予防の充実
８．食育の推進
９．スポーツ教室や講座による気軽に参加できる運動の推進
10．その他（　　）

問９．　安曇野市が性別を問わず活躍できるまちとなっていくために、どのようなことに力を入れて取り組む必要があると思いますか。（○は最大３つ）

１．男女共同参画の理解を深めるための学習・啓発
２．性別にかかわらず多様な選択を可能にする教育・学習
３．女性の意識やスキルを高める学習・研修
４．男性への家事、育児、介護などの講習会の実施や情報提供
５．子育てや介護を社会的に支援する環境づくり
６．誰もが格差なく、働きやすい職場環境をつくるための企業や事業主への働きかけ
７．行政職員や審議会委員などの政策決定にかかわる場における女性の積極的な登用
８．女性の役員や管理職が増えるような民間企業や団体などへの働きかけ
９．地域行事やイベントなどでの性別による役割分担の見直し
10．地域の女性リーダーの養成支援
11．男女共同参画にかかわる各種相談窓口の周知
12．あらゆる暴力・ハラスメントの根絶に向けた啓発
13．生涯を通じた男女の性差に応じた健康対策
14．その他（　　）

(3)　子育て支援について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　出産、子育てしやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問１０．出産、子育てのしやすいまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は最大３つ）

1．母子の健康を確保する妊婦・乳幼児健康診査などの充実
2．小児医療体制の充実
3．育児に関する支援・情報提供・相談などの子育て支援サービスの充実
4．保育所などの保育サービスの充実
5．遊びや交流の場の整備・充実
6．こどもの教育環境の整備・充実
7．安全・安心な道路・公園・公共施設などの整備・充実
8．仕事と子育てを両立するための環境の普及と支援
9．こどもを虐待や犯罪などから守る活動の推進
10．ひとり親家庭や障がいのあるこどもを持つ家庭への支援の充実
11．その他（　　）

(4) スポーツについて

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1 スポーツを楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 アウトドア・スポーツ（※）を楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※アウトドア・スポーツとは登山、サイクリング、カヌー、キャンプ、釣りなど屋外の自然環境にて行うスポーツを指します。

問１１．スポーツを楽しめるまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は最大３つ）

1．体育館や競技場など運動施設の整備・充実
2．一般参加可能なスポーツ大会（安曇野ハーフマラソンなど）事業の充実
3．幼児から高齢者まで参加できるスポーツ大会（地区運動会など）事業の充実
4．市内でのプロスポーツ観戦機会の充実
5．市内のスポーツ団体への活動支援
6．スポーツ体験教室の開催・充実
7．子どもや学生のスポーツ活動への支援
8．高齢者が健康維持のために行うスポーツ活動への支援
9．市内スポーツ関連情報の発信
10．地域スポーツ活動の支援を担う専門的人材の育成
11．スポーツ活動の指導者人材の確保・育成
12．スポーツボランティアに参加する機会の充実
13．地域内企業と連携したスポーツ活動の推進
14．その他（　　）

(5)　教育・学習について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　小中学校での教育が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　小中学校と地域・家庭の連携が図れている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3　年代に関わらず、学びの機会が提供されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(6)　地域の伝統について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(7) 文化・芸術について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問１２．文化･芸術を気軽に楽しめるまちづくりを進めるために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は最大３つ）

1．ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
2．文化芸術の創作や準備、活動ができる施設の充実
3．公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
4．公演、展覧会、芸術祭などのチケット料金・入場料に対する補助
5．市内の芸術家や文化団体の活動の支援
6．地域の芸能や祭りなどの継承・保存
7．郷土料理などの地域の食文化の継承・保存、体験機会の充実
8．歴史的な建造物や文化芸術の継承・保存
9．文化芸術に親しむためのワークショップや体験教室の開催
10. 子どもや学生が文化芸術に親しむ機会の充実
11. 文化・芸術関連の情報発信
12. 文化施設の活性化や文化芸術活動の支援を担う専門的人材の育成
13. 文化・芸術活動の指導を行う人材の確保・育成
14. その他（　　）

(8) 防災・防犯について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1 地域において、地震や台風などへの備えができている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 交通安全の取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問１３． 地震が発生したと想定した場合に、以下の（１）～（２）についてお答えください。

（１）自宅（建物）は大きな被害がなく、建物内への避難ができる場合、どこに避難しますか？（○は１つ）

１．自宅建物内	２．自宅建物外（庭先、車、ビニールハウスなど）
３．指定緊急避難場所（近隣の地区公民館など）	４．指定避難所（市が開設する避難所）
５．市外（親戚の家など）	６．その他（　　）

（２）自宅（建物）に大きな被害があり、建物内への避難ができない場合、どこに避難しますか？（○は１つ）

１．自宅建物外（庭先、車、ビニールハウスなど）	２．指定緊急避難場所（近隣の地区公民館など）
３．指定避難所（市が開設する避難所）	４．市外（親戚の家など）
５．その他（　　）	

問１４． 自宅は、防災マップの浸水想定区域に含まれていますか。（○は１つ）

１．含まれている	２．含まれていない	３．わからない

問１５． 問１４．で「１．含まれている」と回答した方のみご回答ください。
浸水害が発生した際はどこに避難しますか。（○は１つ）

１．自宅建物内２階以上	２．指定緊急避難場所（近隣の地区公民館など）
３．指定避難所（市が開設する避難所）	４．市外（親戚の家など）
５．その他（　　）	

問１６．　避難所への避難に対して不安に思うことはどのようなことですか。（○はいくつでも）

１．プライバシーの確保	２．多様性（性別・国籍・障がいの有無など）への配慮
３．トイレに関すること	４．ペットに関すること
５．特にない	６．その他（　　）

問１７．区や自主防災会、安曇野市が主催する防災訓練にどの程度参加されていますか。（○は１つ）

１．毎回参加している	２．時々参加している	３．参加したことがある
４．防災訓練があることは知っているが参加したことはない		
５．防災訓練があることを知らなかった		
６．その他（　　）		

問１８．もし災害が発生した際には、近所の人との助け合いができると思いますか。（○は１つ）

１．はい	２．いいえ	３．どちらともいえない

問１９．次の物品について、災害時の家庭内備蓄はどの程度されていますか。（A～D の項目ごとに○は１つ）

	1～2 日分	2～3 日分	3～4 日分	5 日分以上	用意していない
（例）　A　食料	1	2	③	4	5
A　食料	1	2	3	4	5
B　飲料水※1	1	2	3	4	5
C　携帯トイレ※2	1	2	3	4	5
D　在宅避難に必要な装備（テントや発電機、蓄電池など）	1	2	3	4	5

※1　飲料水は１人あたり１日３Ｌで計算してください。
※2　携帯トイレは１人あたり１日５回分で計算してください。

問２０．今後、次の物品で備蓄を進める予定の物品はありますか。（○はいくつでも）

１．食料	２．飲料水	３．携帯トイレ
４．在宅避難に必要な装備（テントや発電機、蓄電池など）		
５．特にない	６．その他（　　）	

(9) 都市基盤について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい景観が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 緑化の保全、普及が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 公園、緑地の整備・維持管理がされている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 国道、県道などの幹線道路が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 生活道路である市道が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 公共交通網が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 安全でおいしい水が利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２１． 水道管及び水道施設の老朽化に伴う更新について、あなたの考えに近いものはどれですか。（○は１つ）

1．費用をかけても順次、修理・更新工事をしていくべきである
2．収入に併せて、できる範囲で修理・更新工事をしていけばよい
3．破管や漏水などが確認できた時点で、随時修理をおこなえばよい
4．その他（ ）

(10)　農林水産業について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２２．あなたは日頃、地元産農産物を購入しますか。（○は１つ）

1．積極的に購入する	2．どちらかと言えば購入する
3．意識して購入することはない	4．その他（　　）

問２３．あなたが農産物を購入する際、重視していることはなんですか。（○は最大３つ）

1．価格	2．見た目	3．食味・香り
4．安全・安心	5．鮮度	6．地元（安曇野市）産
7．生産者情報	8．栽培方法	9．旬や季節性
10．ブランド性（産地・品名など）		11．その他（　　）

問２４．安曇野市の農村らしさを生かしたまちづくりを進めるために、あなたが必要だと思うことはなんですか。（○は最大３つ）

1．農村風景や景観の維持	2．住民同士の協力体制の強化
3．農地や道路の整備	4．移住の促進
5．農家と非農家の交流促進	6．都市住民との関係強化
7．栽培方法を学ぶ場	8．食農教育の推進
9．家庭菜園の普及	10．市民農園の拡充
11．伝統食の講習会	12．地域への愛着の醸成
13．特にない	14．その他（　　）

問２５．問２４．に関連して、あなた自身が取り組みたいことはなんですか。（○はいくつでも）

1．自宅周りの景観配慮	2．地域の落ち葉拾い（屋敷林など）
3．草刈り、水路清掃などへの参加	4．農地の有効活用（荒廃農地にしない）
5．家庭菜園の実施の拡大	6．市民農園の利用
7．都市住民との交流（来訪者に農村の良さを伝える）	
8．地元の農産物の購入	9．短期の農作業アルバイト
10．外来種を安易に放さない	11．行事食、郷土料理を家庭で作る
12．農ある暮らしを SNS で発信する	13．その他（　　）

(11)　経済活動について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　市内に個性的で魅力的なお店が増えている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　工業・製造業が盛んな地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3　働きやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２６．安曇野市がより働きやすい地域になるために、どのようなことに力を入れべきだと思いますか。（〇は最大３つ）

1．コワーキングスペースなどの自宅以外の作業スペースの確保
2．公衆 Wi-Fi などの通信環境整備
3．子育て世代が就労時間中に安心して子どもを預けられる環境整備
4．介護と仕事の両立に向けた介護サービスの充実
5．テレワーク導入支援
6．副業・兼業の促進支援
7．女性の就労支援
8．シニアの就労支援
9．勤労者のリスキリング支援
10．その他（　　）

(12)　観光について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を〇で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　安曇野市は魅力的な観光地である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　安曇野らしい産品が生み出されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(13)　地域ブランドについて

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　全国的に「安曇野市」の地名が知られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　市外在住者に誇ることのできる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２７．小説『安曇野』を知っていますか。（１つに○）

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で 1974 年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

1. 知っており、読んだことがある	2. 知っているが、読んだことはない
3. 初めて聞いた	

(14)　移住・定住について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　移住者、定住者が多く活気のあるまちである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(15)　協働・コミュニティ活動について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　地域住民によるコミュニティ活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　NPO、ボランティア活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3　まちづくりへの市民参画が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(16)　デジタル社会・行政サービスについて

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　情報化社会に対応した基盤が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2　行政運営の効率化が図られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3　市政に関する情報が入手しやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4　広報紙「広報あづみの」が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5　市公式ホームページ、SNS が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問２８．インターネットを利用する際に、どのような機器を利用していますか。（〇はいくつでも）

１．スマートフォン	２．パソコン	３．タブレット端末
４．インターネットは利用していない	５．その他（　　）	

問２９．インターネット（スマートフォンやパソコンなど）をどのような用途で利用していますか（したことがありますか）。（〇はいくつでも）

１．SNS（ソーシャルメディア：LINE・X（旧 Twitter）・YouTube など）
２．情報検索（仕事・趣味・生活関連情報など）
３．インターネットショッピング・インターネットオークション（買い物）
４．電子メール
５．インターネット予約（ホテル、レストラン、病院など）
６．音楽・映画・ドラマ・電子書籍の視聴
７．インターネットバンキング（銀行）やインターネット金融取引（株・ＦＸ）
８．国や自治体の電子申請・電子申告など
９．インターネットミーティング（Zoom、Teams、Webex など）
10．オンラインゲーム
11．教育・学習
12．生成 AI（ChatGPT など）
13．メタバース空間（ゲームを含む）
14．その他（　　）

問３０．あなたは、日常的にどの SNS（ソーシャルメディア）を利用していますか。利用頻度の高いものをお答えください。（〇は最大３つ）

１．LINE	２．YouTube	３．Instagram	４．X（旧 Twitter）	５．Facebook
６．TikTok	７．SNS を利用していない	８．その他（　　）		

問３１．あなたが現在、利用しているキャッシュレス決済について、該当するものを全てお答えください。（〇はいくつでも）

１．クレジットカード　2．デビットカード　３．IC カード（Suica・WAON・nanaco など）
４．QR・バーコード決済（PayPay・d 払い・auPAY など）
５．利用していない　６．その他（　　）

(17)　SDG s（持続可能な開発目標）について

市の施策に対する評価（満足度・重要度）	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例）当てはまる番号を○で囲む →	(5)	4	3	2	1	5	(4)	3	2	1
1　SDGs の達成に向けて取り組んでいる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問３２．安曇野市が将来どのようなまちになってほしいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○は最大３つ）

1．自然と調和した快適なまち	2．医療・福祉が充実し、健康に暮らせるまち
3．安心して子育てできるまち	4．スポーツやレジャーを楽しめるまち
5．教育と学びが充実したまち	6．歴史や文化を受け継ぐまち
7．芸術や文化に触れられるまち	8．災害に強く、安全・安心なまち
9．交通の利便性が高く、暮らしやすいまち	10．農林水産業が盛んなまち
11．経済が活発で、働きやすいまち	12．観光と交流が盛んなまち
13．知名度・ブランド力のあるまち	14．移住・定住に選ばれるまち
15．行政と住民が協働するまち	16．デジタル技術で便利なまち
17．その他（　　）	

問３３．これから、まちづくりを進めていく上で、どのようなことを大切にしていくべきだと思いますか。（○は最大２つ）

1．新たなチャレンジをする先進的なまち	2．歴史や伝統を守り活用するまち
3．一人ひとりの考えを尊重し合うまち	4．みんなで支え合い、協力しているまち
5．地域に誇りや愛着を持てるまち	6．豊かな自然を守り育てるまち
7．にぎわいと活気にあふれるまち	8．安全で安心して暮らせるまち
9．夢や希望を持てるまち	10．その他（　　）

問３４．　安曇野市の暮らしやすい点について、【選択肢欄】からあてはまるものを３つまで選んで【回答欄】へ番号を記入ください。また、具体的な内容がありましたら、合わせて記入ください。

【回答欄】	内 容
例）３	例)子育て環境として、他自治体に比べて●●が充実しており、助かっている。

【選択肢欄】　（※あてはまる番号を３つまで選んで、上の「回答欄」へお願いします）

1．自然環境と調和した快適な住環境が整備されている
2．医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる
3．安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている
4．スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている
5．学校教育や生涯学習が充実している
6．歴史や文化・伝統が受け継がれている
7．博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している
8．自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる
9．幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある
10．農林水産業が盛んである
11．経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である
12．観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである
13．まちの知名度・ブランド力が高い
14．移住・定住者が多い
15．行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である
16．先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い
17．ゼロカーボンの推進など、SDGs の達成に積極的である
18．特にない
19．その他

問３５．安曇野市により良くなってほしい点や課題を感じている点について、【選択肢欄】からあてはまるものを３つまで選んで【回答欄】へ番号を記入ください。また、具体的な内容がありましたら、合わせて記入ください。

【回答欄】	内 容
例）３	例)子育てする中で●●が困っており、■■を充実させてほしい。

【選択肢欄】　（※あてはまる番号を３つまで選んで、上の「回答欄」へお願いします）

1．自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2．医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない
3．安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4．スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5．学校教育や生涯学習が充実していない
6．歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7．博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8．自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない
9．幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10．農林水産業が盛んでない
11．経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12．観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13．まちの知名度・ブランド力が低い
14．移住・定住者が少ない
15．行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16．先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17．ゼロカーボンの推進など、SDGs の達成に積極的でない
18．特にない
19．その他

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和8年2月27日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
（インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただかなくて結構です。）